

栗東市人権問題に関する市民意識調査

報告書

令和7年 12 月

栗 東 市

目 次

I	調査概要	1
1.	調査目的	1
2.	調査対象	1
3.	調査期間	1
4.	調査方法	1
5.	回収状況	1
6.	調査結果の見方	1
II	調査結果	2
1.	回答者の属性	2
(1)	年齢	2
(2)	居住学区	2
(3)	栗東市での居住年数	2
2.	人権全般について	3
(1)	世の中のあり方や生き方についての考え	3
(2)	身の回りにある解決すべき人権問題	6
(3)	人権問題や差別に対する考え方	8
3.	部落差別問題について	19
(1)	部落差別問題に関する意識	19
(2)	部落差別問題をはじめて知った時期	32
(3)	部落差別問題をはじめて知ったきっかけ	34
(4)	現在でも部落差別があると思うか	36
(5)	部落差別が残っている原因	38
4.	さまざまな人権問題について	40
(1)	人権の尊重や侵害に関する意識	40
(2)	住宅を選ぶ際の条件	61
5.	人権侵害を受けた経験について	64
(1)	5年以内で、差別や人権侵害を受けた経験の有無	64
(2)	差別や人権侵害を受けた場面と内容	66
(3)	差別や人権侵害を受けたときの対応	70
6.	人権教育や啓発の取組に関すること	72
(1)	人権教育に対する考え方	72
(2)	広報紙の認知度	81
(3)	事業の認知度	84
(4)	人権に関わる法律や条例の認知度	89
(5)	人権問題について感じていること（自由記述）	94
III	資料（調査票）	96

I 調査概要

1. 調査目的

栗東市ではあらゆる差別や偏見をなくし、一人ひとりが尊重され誰もが参画できるまちづくりをめざしてさまざまな施策に取り組んでいます。これまでの人権に関する取組の成果と課題を踏まえ、市民の人権についての意識を把握し今後の取組の基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。

2. 調査対象

栗東市在住の18歳以上の市民3,000人
(住民基本台帳より無作為抽出、令和7年8月1日現在)

3. 調査期間

令和7年9月10日(水)～令和7年9月30日(火)

4. 調査方法

配布：郵送

回収：郵送またはWebアンケートフォームから回答

5. 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
3,000 件	1,429 件 (郵送 829 件、Web600 件)	47.6%

6. 調査結果の見方

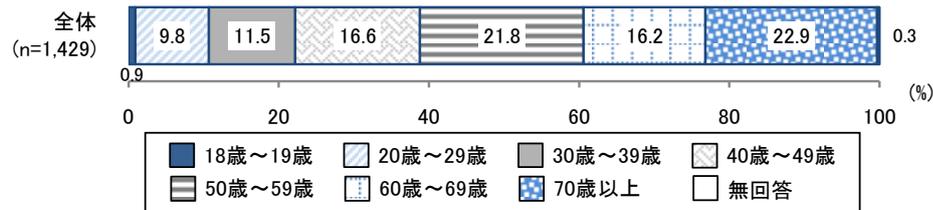
- 回答は、各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示し、小数点第2位を四捨五入しました。（比率の合計が100.0%にならない場合があります。）
- コンピュータ入力の都合上、図表において、回答選択肢の見出しを簡略化している場合があります。
- 複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 表中の は一番目に多い割合の項目を示しています。
- 前回調査とは、令和2年8月に実施した「栗東市人権・同和問題に関する住民意識調査」のことです。

II 調査結果

1. 回答者の属性

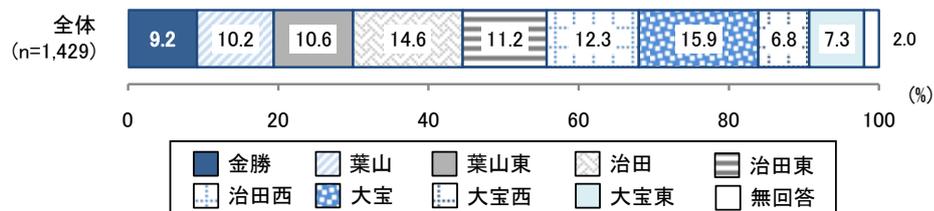
(1) 年齢

回答者の年齢は、「70歳以上」が22.9%と最も多く、次いで「50歳～59歳」が21.8%、「40歳～49歳」が16.6%となっています。



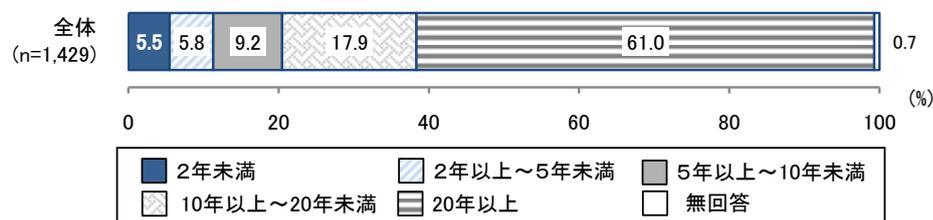
(2) 居住学区

居住学区については、「大宝」が15.9%と最も多く、次いで「治田」が14.6%、「治田西」が12.3%となっています。



(3) 栗東市での居住年数

居住年数は、「20年以上」が61.0%と最も多く、次いで「10年以上～20年未満」が17.9%、「5年以上～10年未満」が9.2%となっています。



※本調査におきましては

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせて『そう思う』

「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせて『そう思わない』

として分析しています。

2. 人権全般について

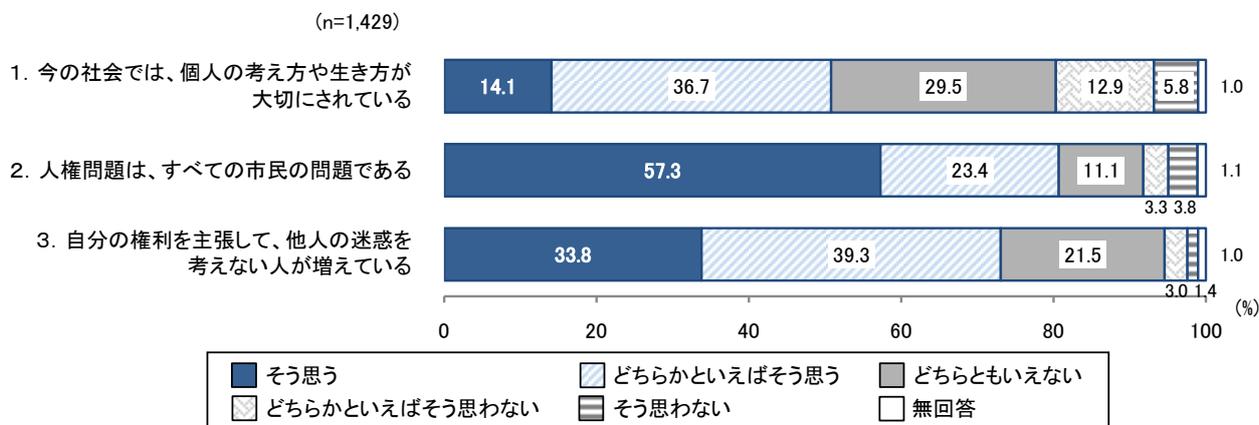
(1) 世の中のあり方や生き方についての考え

問1 世の中のあり方や人間の生き方について次のような意見があります。あなたはどのように思われますか。（それぞれ1つだけに○）

世の中のあり方や人間の生き方について、[1. 今の社会では、個人の考え方や生き方が大切にされている]は、『そう思う』が50.8%、『そう思わない』が18.7%となっています。

[2. 人権問題は、すべての市民の問題である]は『そう思う』が80.7%、『そう思わない』が7.1%となっています。

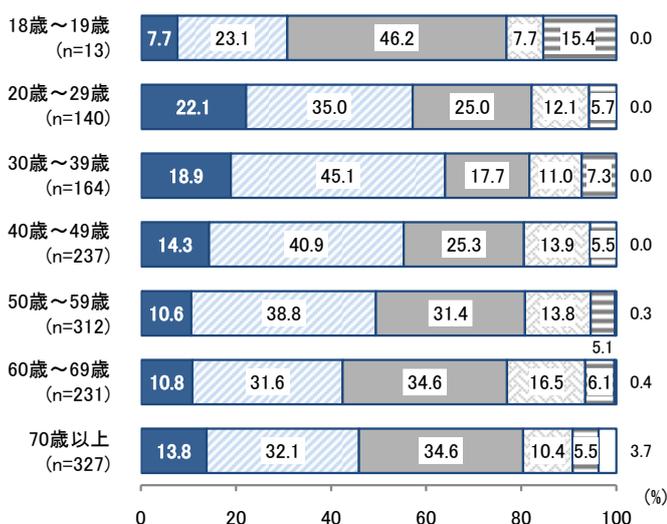
[3. 自分の権利を主張して、他人の迷惑を考えない人が増えている]は『そう思う』が73.1%、『そう思わない』が4.4%となっています。



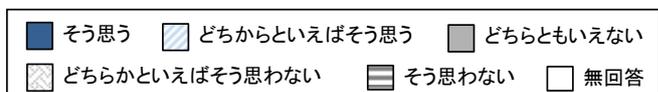
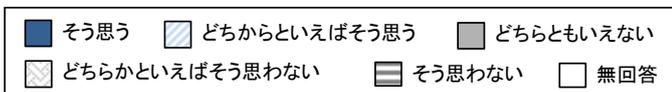
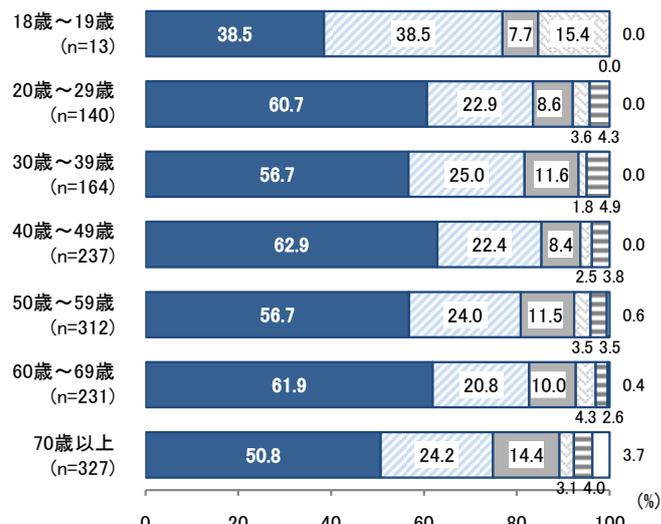
【年齢別】

年齢別でみると『そう思う』割合は、[1. 今の社会では、個人の考え方や生き方が大切にされている]では“30歳～39歳”で64.0%と最も高く、“18歳～19歳”（30.8%）との差が33.2ポイントとなっています。[2. 人権問題は、すべての市民の問題である]ではいずれの年齢も7～8割、[3. 自分の権利を主張して、他人の迷惑を考えない人が増えている]ではいずれの年齢も7割前後となっており、傾向に大きな違いはありません。

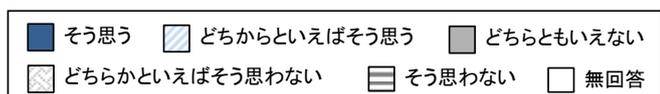
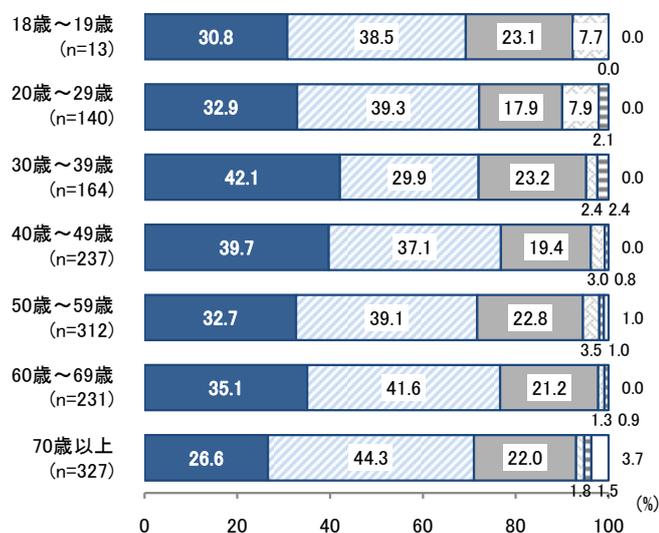
1. 今の社会では、個人の考え方や生き方が大切にされている



2. 人権問題は、すべての市民の問題である



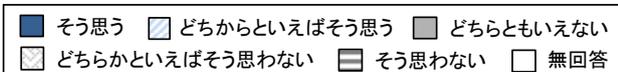
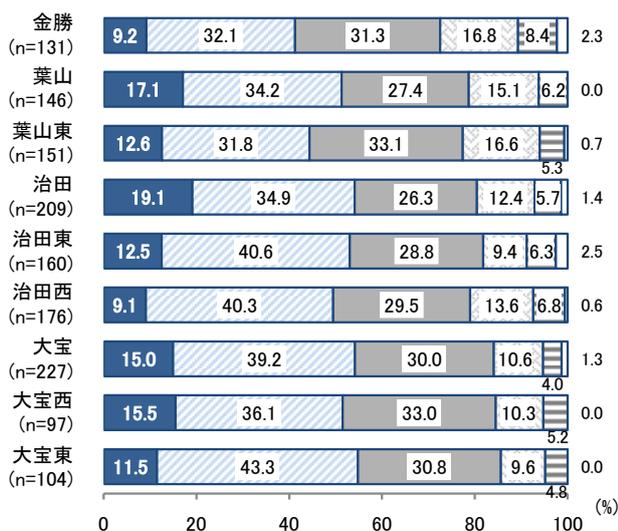
3. 自分の権利を主張して、他人の迷惑を考えない人が増えている



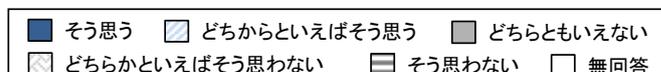
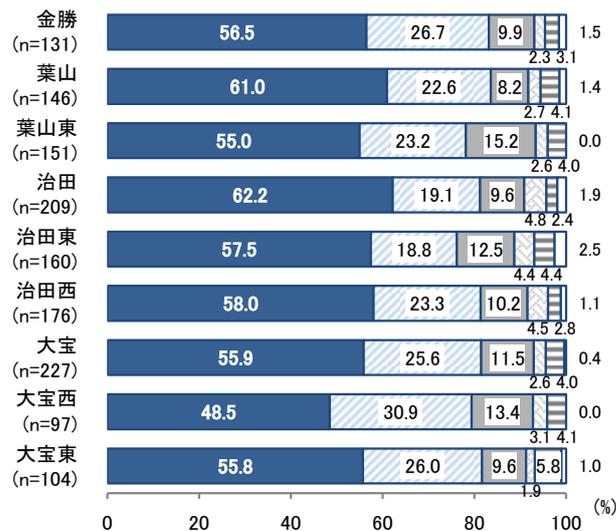
【学区別】

学区別でみると『そう思う』割合は、[1. 今の社会では、個人の考え方や生き方が大切にされている]では“大宝東”で54.8%と最も高くなっており、“治田”（54.0%）と“大宝”（54.2%）でも54%を超えています。[2. 人権問題は、すべての市民の問題である]と[3. 自分の権利を主張して、他人の惑を考えない人が増えている]は、学区による違いが『そう思う』において見られます。

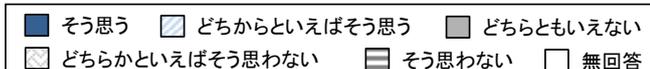
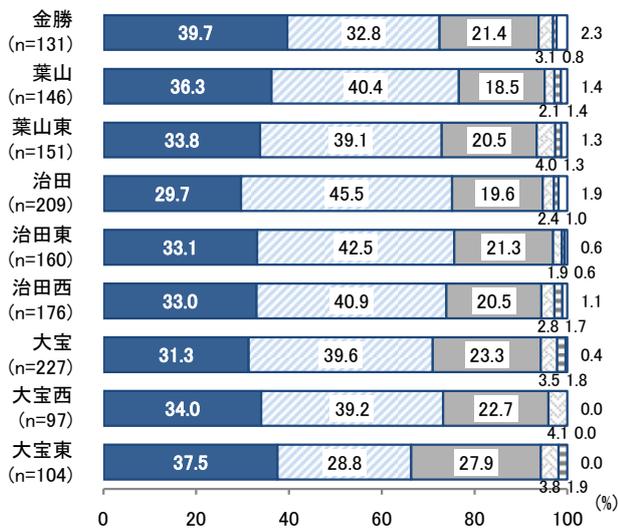
1. 今の社会では、個人の考え方や生き方が大切にされている



2. 人権問題は、すべての市民の問題である



3. 自分の権利を主張して、他人の迷惑を考えない人が増えている

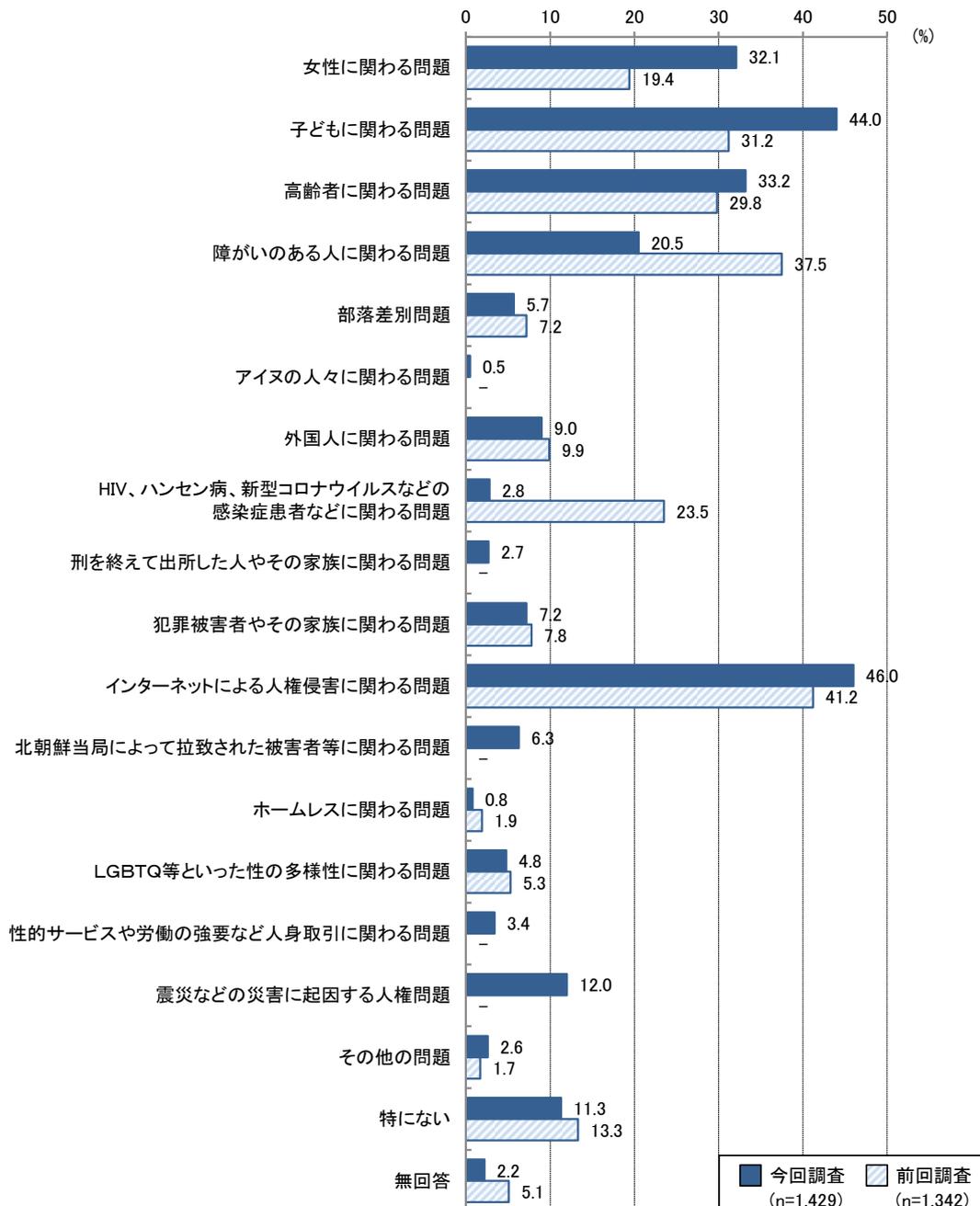


(2) 身の回りにおける解決すべき人権問題

問2 あなたの身の回りにおける解決すべき人権問題はどれですか。(あてはまるもの3つまでに○)

身の回りにおける解決すべき人権問題は、「インターネットによる人権侵害に関わる問題」が46.0%と最も多く、次いで「子どもに関わる問題」が44.0%、「高齢者に関わる問題」が33.2%となっています。

前回調査と比較すると、「女性に関わる問題」は12.7ポイント、「子どもに関わる問題」は12.8ポイント、割合が増加しています。また、「障がいのある人に関わる問題」は17.0ポイント、「HIV、ハンセン病、新型コロナウイルスなどの感染症患者などに関わる問題」は20.7ポイント減少しています。



※「アイヌの人々に関わる問題」「刑を終えて出所した人やその家族に関わる問題」「北朝鮮当局によって拉致された被害者等に関わる問題」「性的サービスや労働の強要など人身取引に関わる問題」「震災などの災害に起因する人権問題」は、前回調査にはない選択肢です。

【年齢別】 【学区別】

年齢別でみると、“18歳～29歳”と“50歳～69歳”では「インターネットによる人権侵害に関わる問題」が、“30歳～49歳”では「子どもに関わる問題」が、“70歳以上”では「高齢者に関わる問題」がそれぞれ多くなっています。

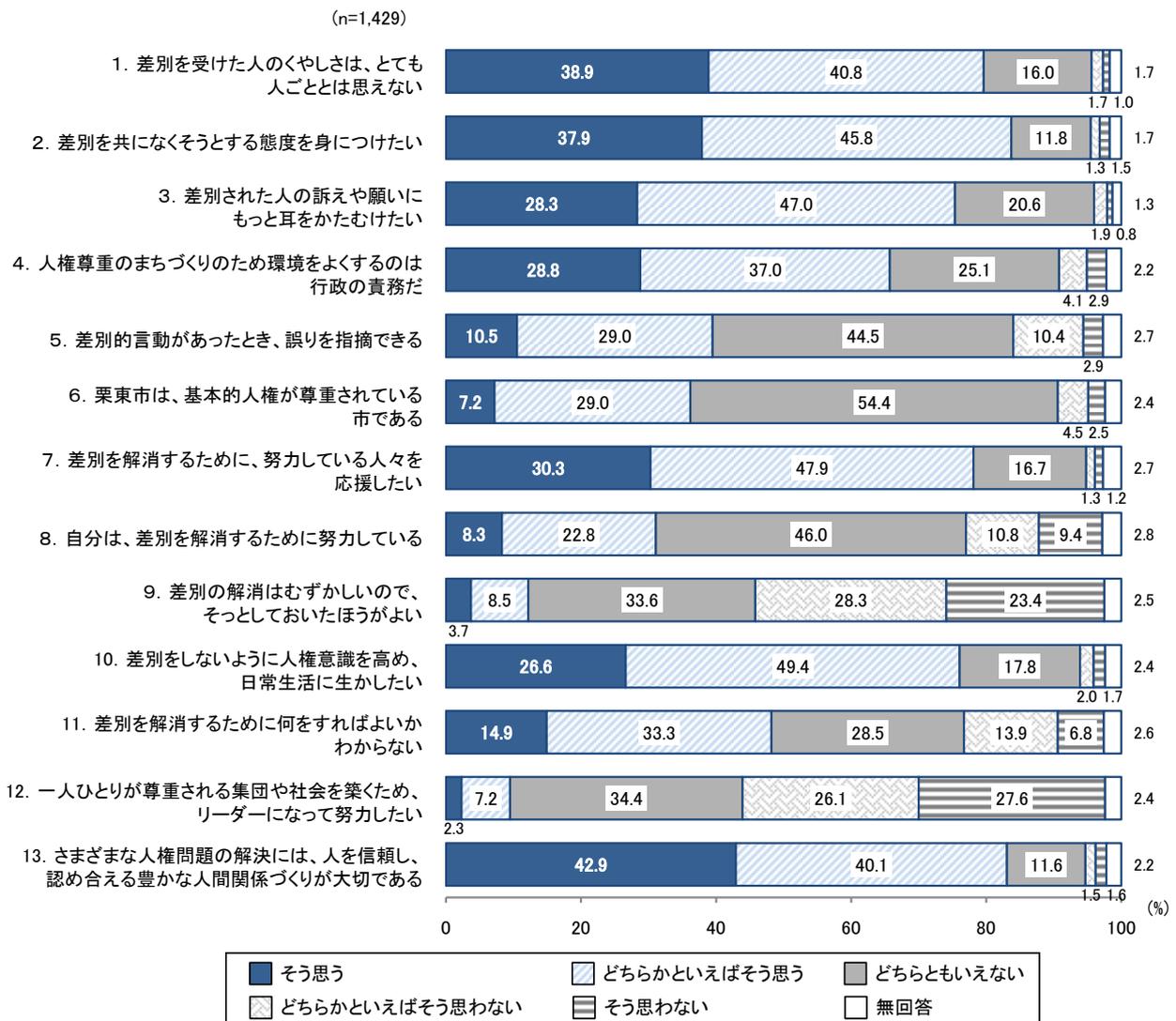
学区別でみると、“金勝”と“葉山東”と“大宝東”では「子どもに関わる問題」、それ以外の学区では「インターネットによる人権侵害に関わる問題」がそれぞれ多くなっています。

		調査数（n）	女性に関わる問題	子どもに関わる問題	高齢者に関わる問題	障がいのある人に関わる問題	部落差別に関わる問題	アイヌの人々に関わる問題	外国人に関わる問題	HIV、ハンセン病、新型コロナウイルスなどに関わる問題	刑を終えて出所した人やその家族に関わる問題	犯罪被害者やその家族に関わる問題	インターネットによる人権侵害に関わる問題	北朝鮮当局によって拉致された被害者等に関わる問題	ホームレスに関わる問題	LGBTQ等といった性の多様性に関わる問題	性的サービスや労働の強要など人身取引に関わる問題	震災などの災害に起因する人権問題	その他の問題	特になし	無回答
年齢別	18歳～19歳	13	38.5	46.2	0.0	7.7	7.7	0.0	38.5	0.0	15.4	15.4	61.5	0.0	0.0	30.8	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0
	20歳～29歳	140	33.6	46.4	15.7	13.6	2.9	1.4	16.4	2.9	2.1	10.0	50.7	4.3	1.4	12.1	9.3	12.9	2.1	9.3	2.1
	30歳～39歳	164	39.6	57.3	14.0	20.7	7.3	0.6	12.2	3.7	3.0	6.7	47.6	1.2	2.4	6.1	2.4	12.8	2.4	8.5	0.6
	40歳～49歳	237	35.4	54.0	27.0	22.4	3.4	0.0	7.2	2.5	2.5	6.3	52.7	3.4	0.0	4.6	1.3	8.4	3.0	11.0	0.8
	50歳～59歳	312	37.5	47.8	33.7	20.8	5.4	1.0	7.7	2.6	1.3	6.4	48.7	4.2	1.0	4.8	2.6	8.0	3.5	12.5	0.3
	60歳～69歳	231	30.3	36.4	45.0	25.1	6.5	0.0	10.0	1.7	2.6	8.2	51.5	8.2	1.3	3.5	3.9	14.7	3.5	8.7	0.4
	70歳以上	327	21.4	31.2	47.1	19.0	7.3	0.3	4.9	3.7	4.0	6.7	32.1	12.8	0.0	0.9	3.4	16.5	1.2	14.4	7.0
学区別	金勝	131	34.4	42.7	31.3	23.7	3.8	0.0	5.3	1.5	6.1	6.9	42.0	3.8	1.5	4.6	3.8	9.9	3.8	15.3	3.8
	葉山	146	31.5	39.0	39.7	25.3	6.2	0.7	9.6	2.7	2.7	8.9	44.5	9.6	0.7	4.1	3.4	17.8	2.7	11.6	1.4
	葉山東	151	27.8	47.0	37.7	21.9	8.6	0.7	5.3	5.3	4.0	7.3	37.7	3.3	0.7	6.0	2.0	14.6	2.0	8.6	2.6
	治田	209	27.8	46.9	28.7	20.6	6.2	0.5	10.5	2.4	2.4	8.6	47.4	6.7	2.4	3.8	2.9	13.4	2.4	8.6	2.9
	治田東	160	21.9	36.9	40.6	21.9	4.4	0.0	11.9	2.5	4.4	6.9	44.4	9.4	0.0	0.6	0.0	8.1	2.5	15.6	4.4
	治田西	176	38.1	43.8	34.7	19.3	5.7	0.0	11.4	3.4	0.6	4.5	50.6	4.0	0.0	5.1	4.5	10.2	2.3	11.4	0.6
	大宝	227	38.8	44.5	30.0	18.1	5.3	0.4	8.4	1.8	1.8	7.0	49.3	6.2	0.4	7.0	5.3	11.0	2.6	9.7	1.3
	大宝西	97	29.9	46.4	33.0	19.6	6.2	0.0	3.1	2.1	3.1	6.2	49.5	7.2	0.0	6.2	2.1	14.4	3.1	11.3	2.1
	大宝東	104	34.6	52.9	26.0	11.5	5.8	1.0	6.7	2.9	1.0	8.7	51.9	8.7	0.0	5.8	5.8	9.6	2.9	11.5	0.0

(3) 人権問題や差別に対する考え方

問3 人権問題や差別に対する意識について、あなたの考え方に近いものはどれですか。
(それぞれ1つだけに○)

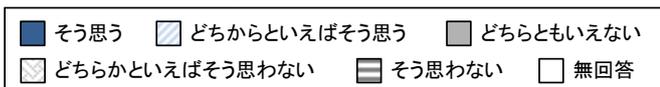
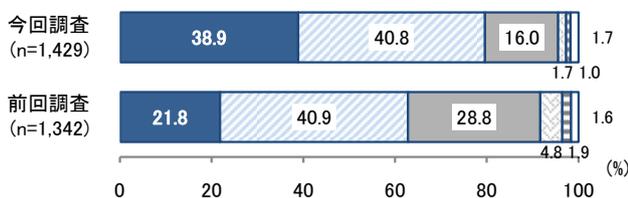
人権問題や差別に対する意識について、『そう思う』割合は、[2. 差別を共になくそうとする態度を身につけたい]が83.7%で最も高く、次いで[13. さまざまな人権問題の解決には、人を信頼し、認め合える豊かな人間関係づくりが大切である]が83.0%、[1. 差別を受けた人のくやしきは、とても人ごととは思えない]が79.7%、[7. 差別を解消するために、努力している人々を応援したい]が78.2%となっています。



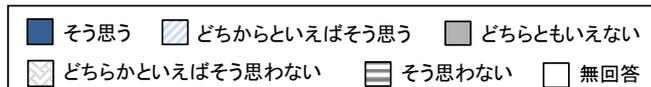
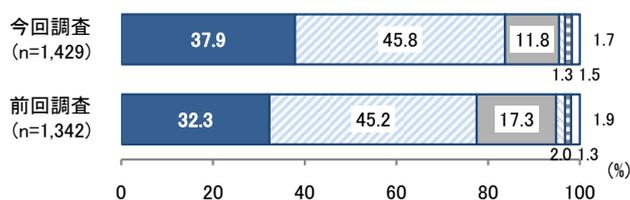
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、『そう思う』割合が10ポイント以上増加しているのは、[1. 差別を受けた人のくやしきは、とても人ごととは思えない] [3. 差別された人の訴えや願いにもっと耳をかたむけたい] [4. 人権尊重のまちづくりのため環境をよくするのは行政の責務だ]、[7. 差別を解消するために、努力している人々を応援したい] となっています。[10. 差別をしないように人権意識を高め、日常生活に生かしたい] も10ポイント近く増加しています。また [9. 差別の解消はむずかしいので、そっとしておいたほうがよい] の『そう思わない』割合は、11.5ポイント増加しています。それ以外の項目は、前回調査と傾向は大きく変わりません。

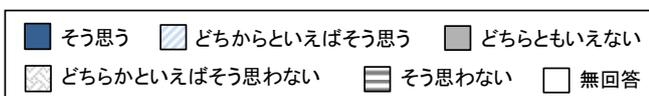
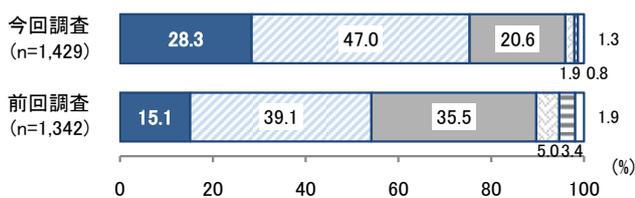
1. 差別を受けた人のくやしきは、とても人ごととは思えない



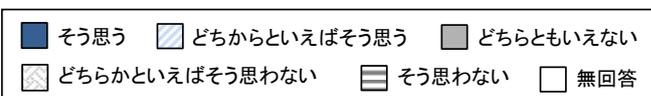
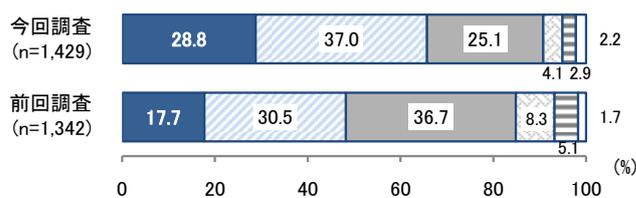
2. 差別を共になくそうとする態度を身につけたい



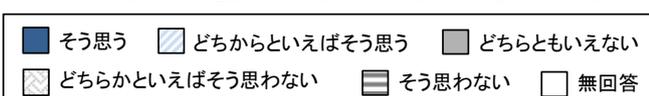
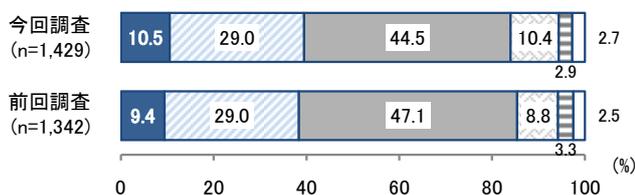
3. 差別された人の訴えや願いにもっと耳をかたむけたい



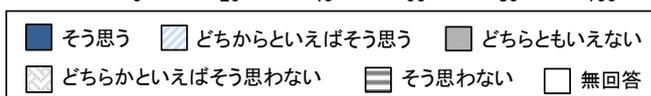
4. 人権尊重のまちづくりのため環境をよくするのは行政の責務だ



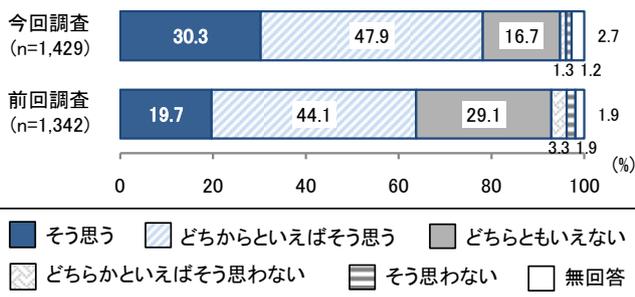
5. 差別的言動があったとき、誤りを指摘できる



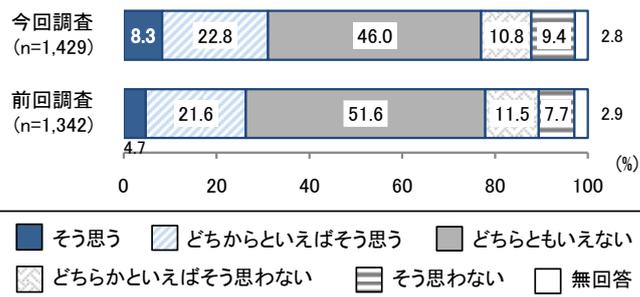
6. 栗東市は、基本的人権が尊重されている市である



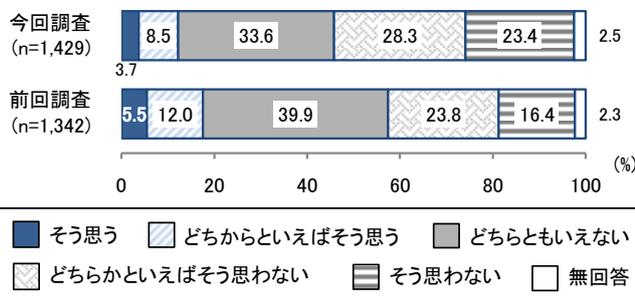
7. 差別を解消するために、努力している人々を応援したい



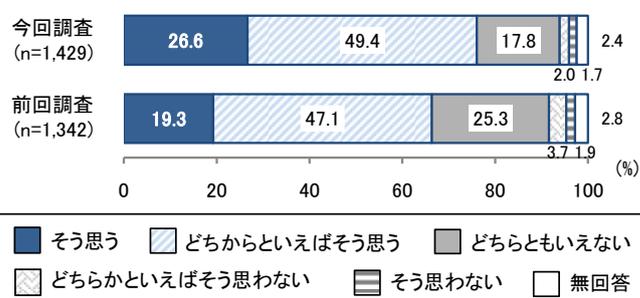
8. 自分は、差別を解消するために努力している



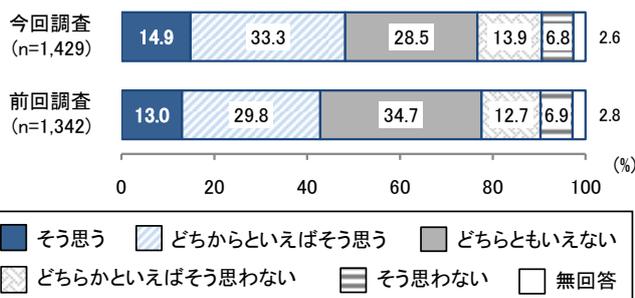
9. 差別の解消はむずかしいので、そっとしておいたほうがよい



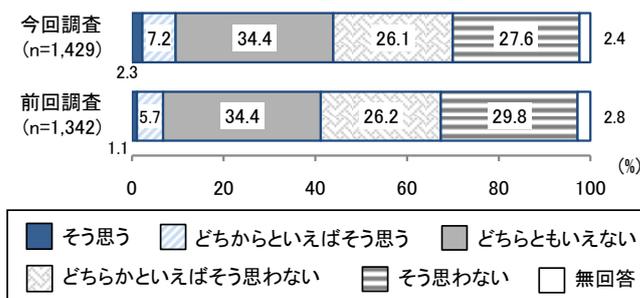
10. 差別をしないように人権意識を高め、日常生活に生かしたい



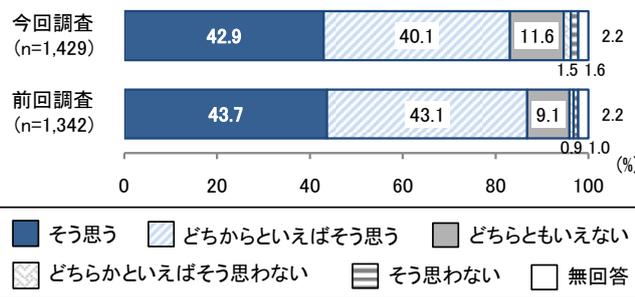
11. 差別を解消するために何をすればよいかわからない



12. 一人ひとりが尊重される集団や社会を築くため、リーダーになって努力したい



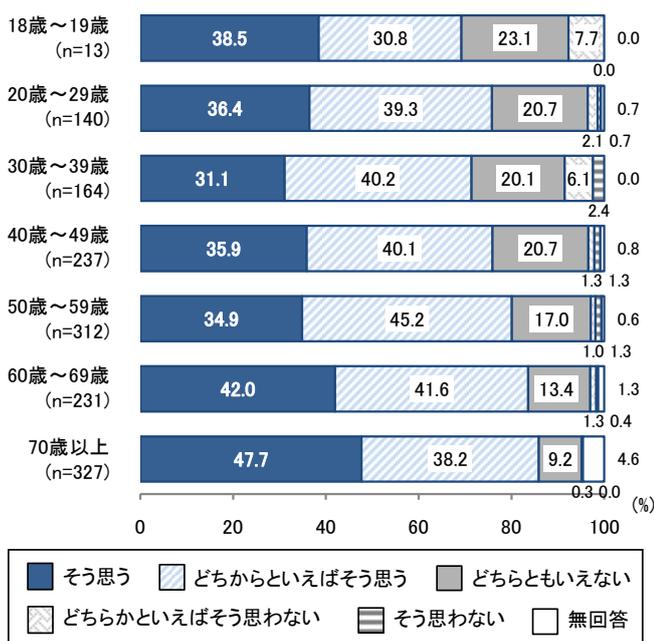
13. さまざまな人権問題の解決には、人を信頼し、認め合える豊かな人間関係づくりが大切である



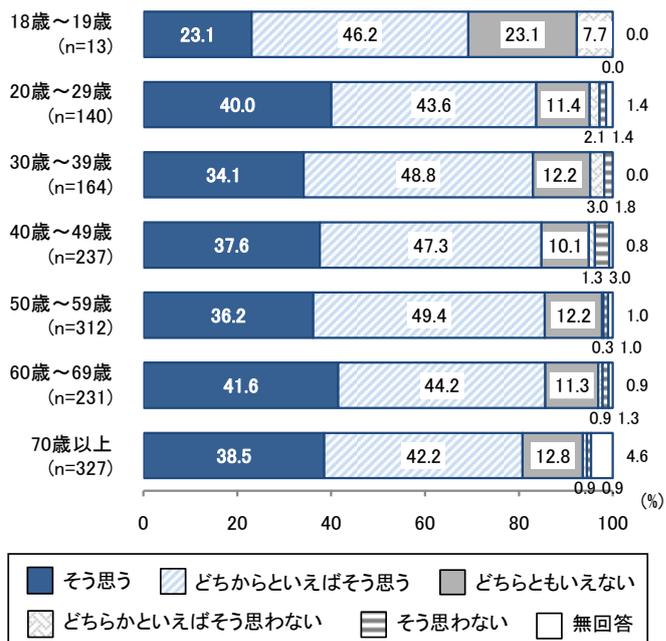
【年齢別】

年齢別でみると、『そう思う』割合は、[5. 差別的言動があったとき、誤りを指摘できる]と[7. 差別を解消するために、努力している人々を応援したい]と[11. 差別を解消するために何をすればよいかわからない]で、高齢者より若い世代のほうが高い傾向となっています。

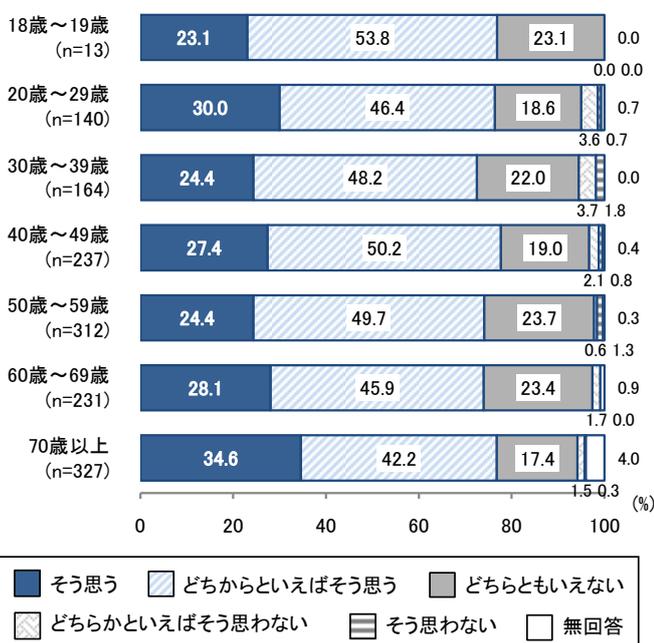
1. 差別を受けた人のくやしさは、とても人ごととは思えない



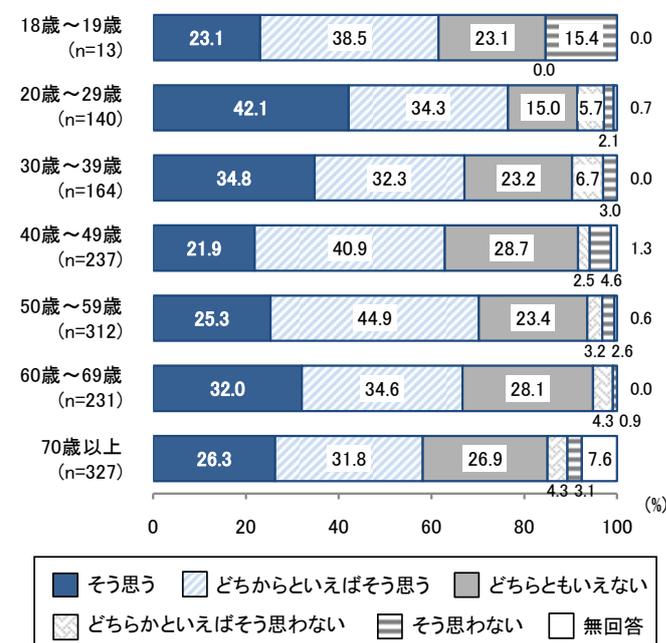
2. 差別を共になくそうとする態度を身につけたい



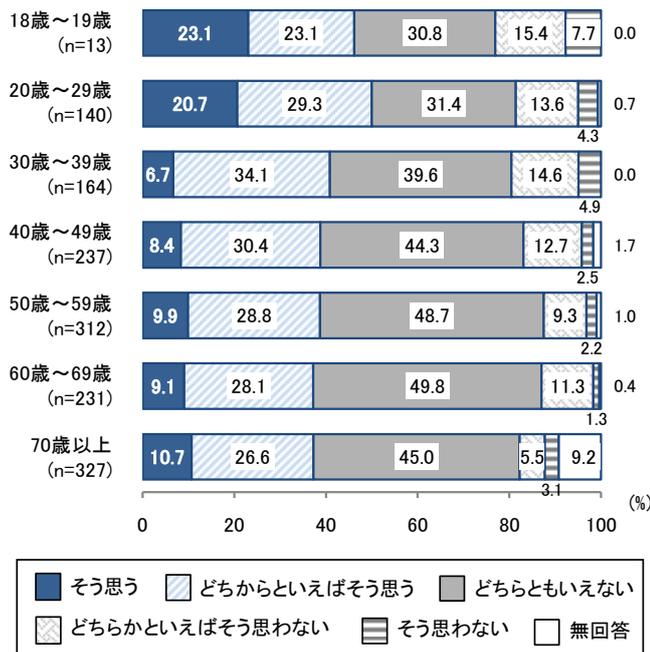
3. 差別された人の訴えや願いにもっと耳をかたむけたい



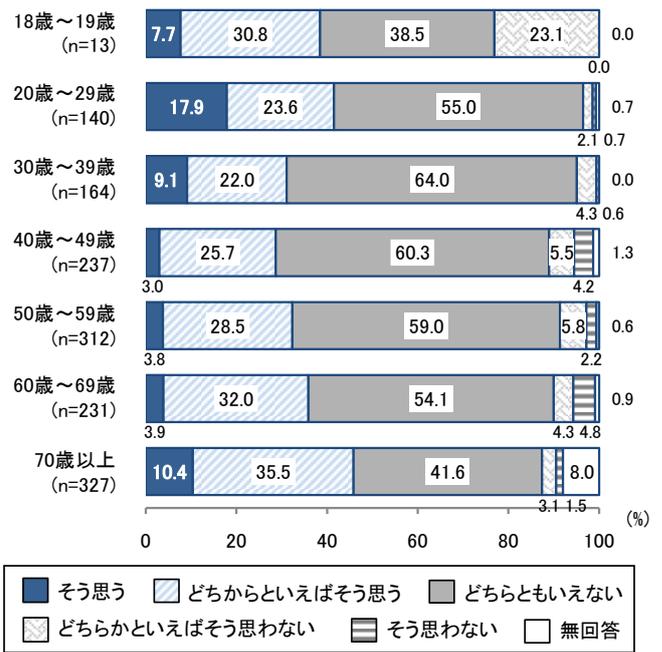
4. 人権尊重のまちづくりのため環境をよくするのは行政の責務だ



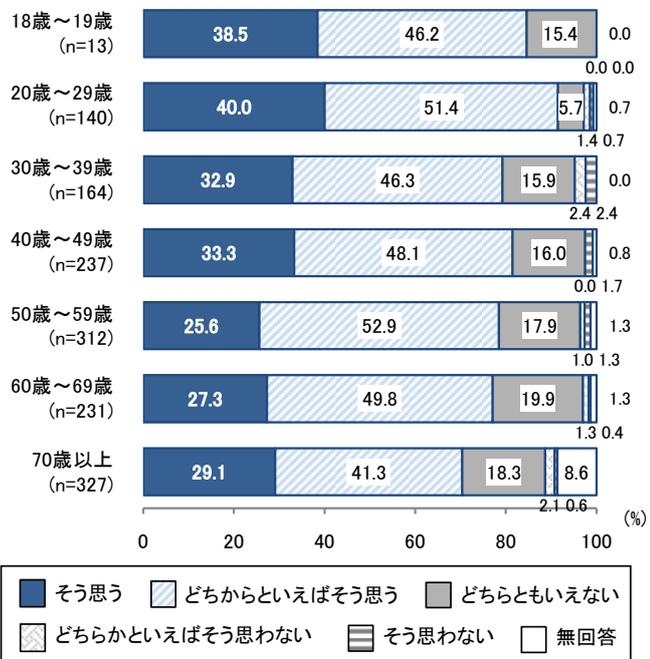
5. 差別的言動があったとき、誤りを指摘できる



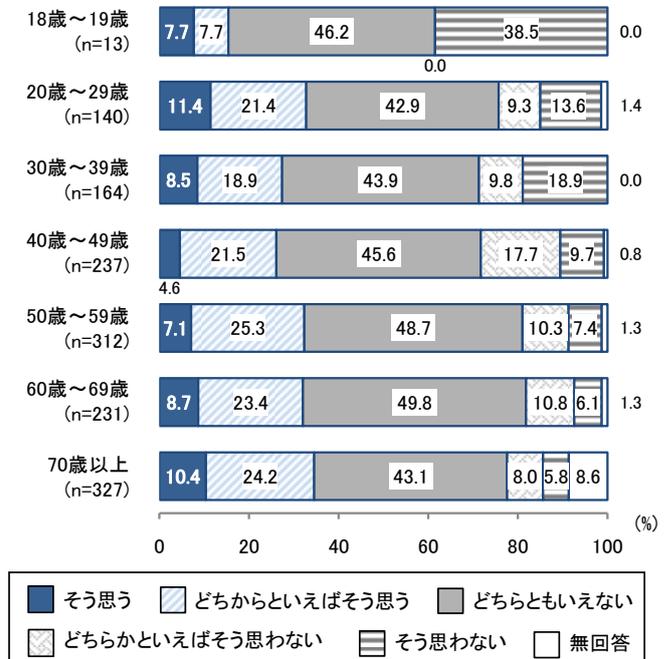
6. 栗東市は、基本的人権が尊重されている市である



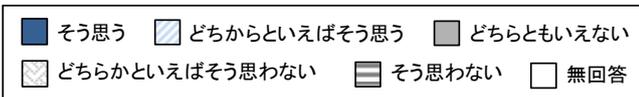
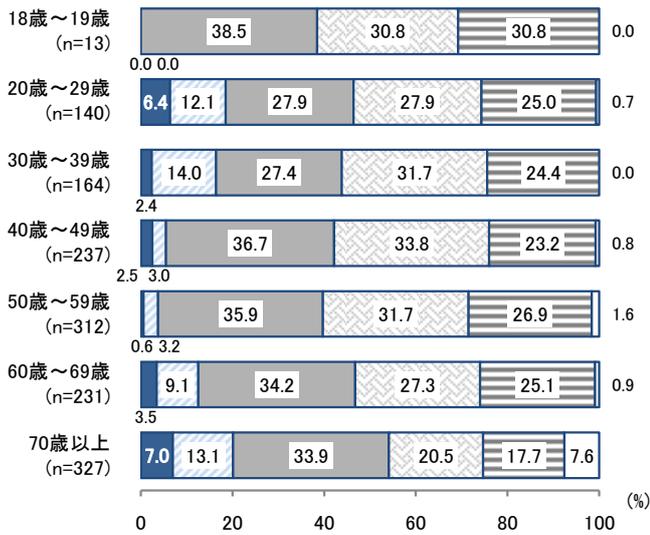
7. 差別を解消するために、努力している人々を応援したい



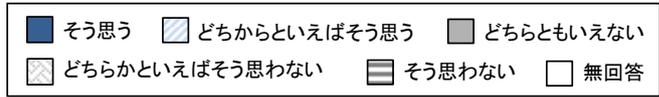
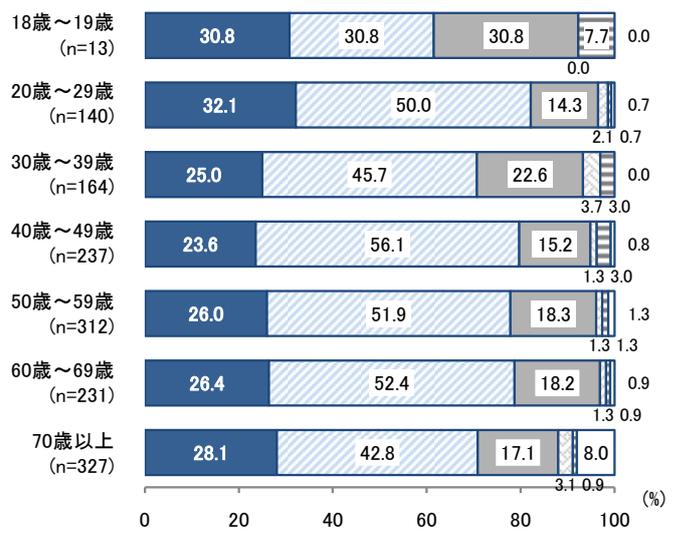
8. 自分は、差別を解消するために努力している



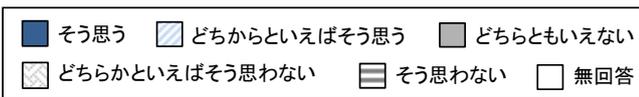
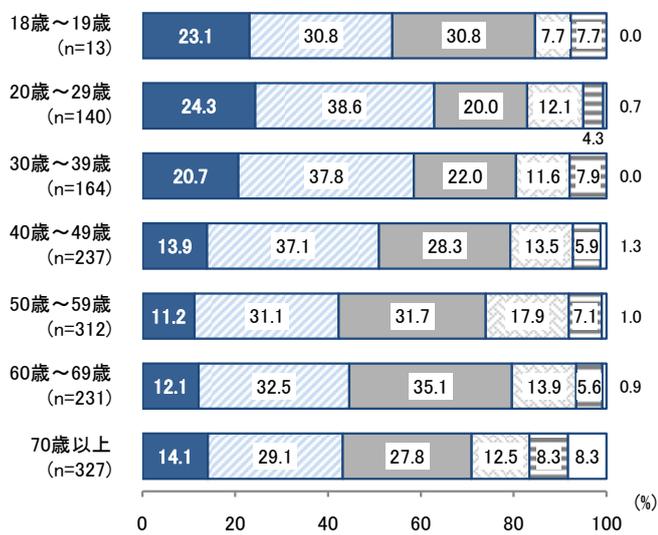
9. 差別の解消はむずかしいので、そっとしておいたほうがよい



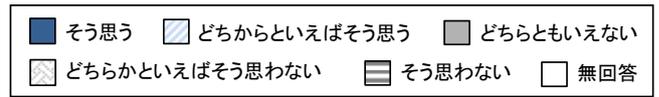
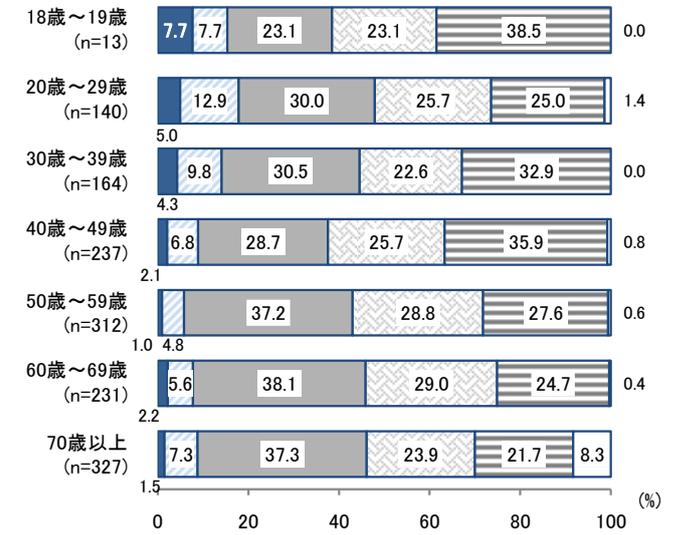
10. 差別をしないように人権意識を高め、日常生活に生かしたい



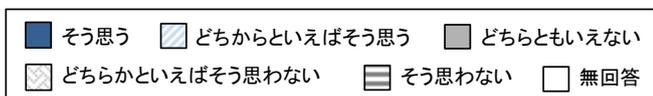
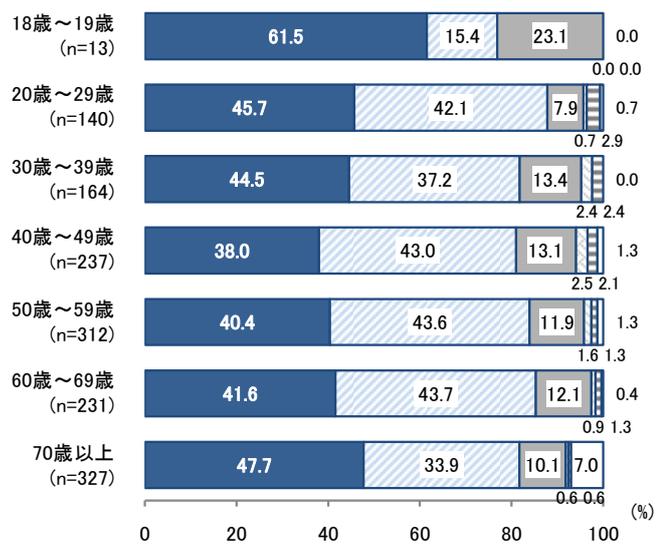
11. 差別を解消するために何をすればよいかわからない



12. 一人ひとりが尊重される集団や社会を築くため、リーダーになって努力したい



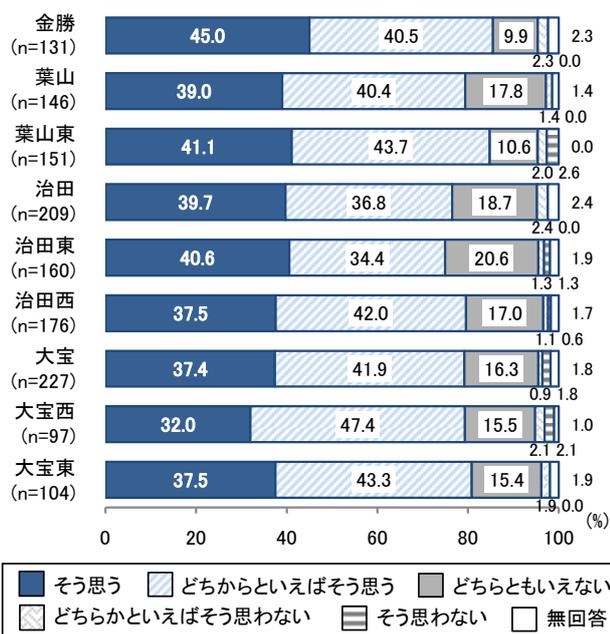
13. さまざまな人権問題の解決には、人を信頼し、認め合える豊かな人間関係づくりが大切である



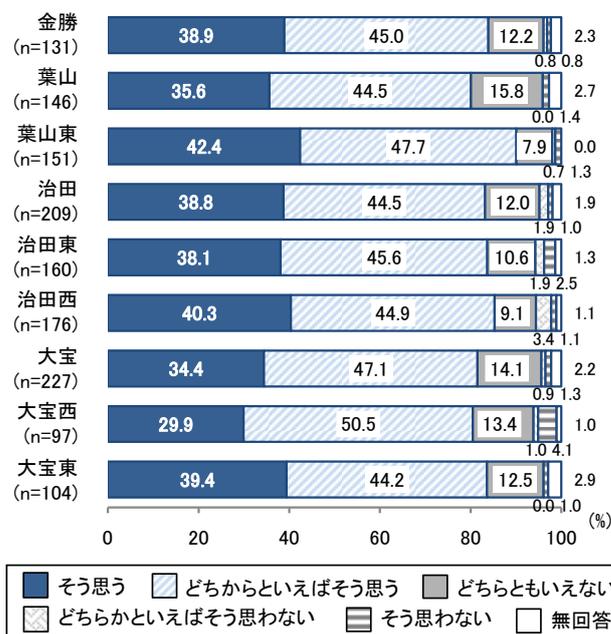
【学区別】

学区別でみると、[4. 人権尊重のまちづくりのため環境をよくするのは行政の責務だ]の『そう思う』割合は、“大宝東”で77.8%と最も高く、“大宝西”(53.6%)との差が24.2ポイントになっています。また[6. 栗東市は、基本的人権が尊重されている市である]の『そう思う』割合は、“大宝東”で51.0%と最も高く、“治田”(27.7%)との差が23.3ポイントになっています。

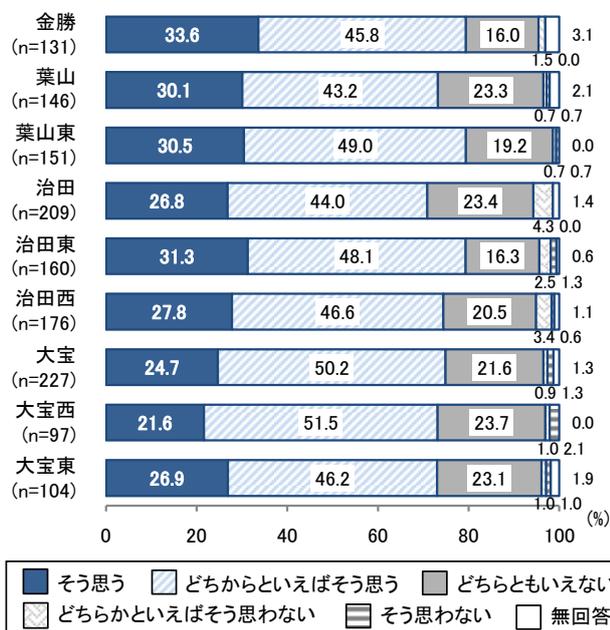
1. 差別を受けた人のくやしさは、とても人ごととは思えない



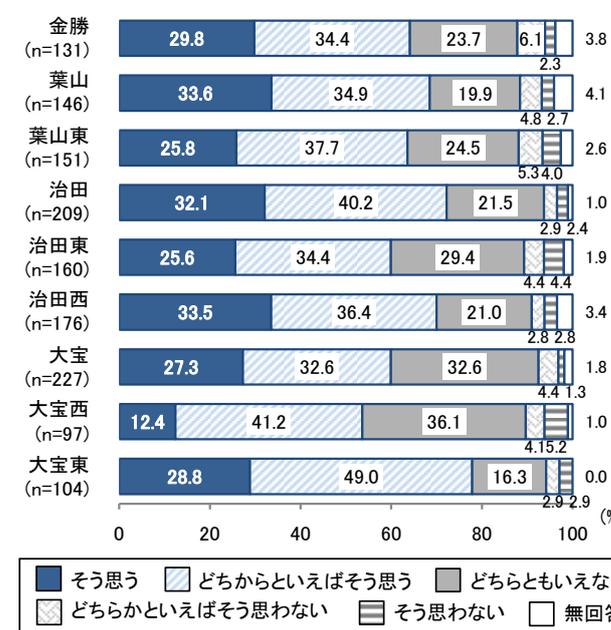
2. 差別を共になくそうとする態度を身につけたい



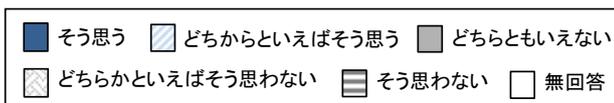
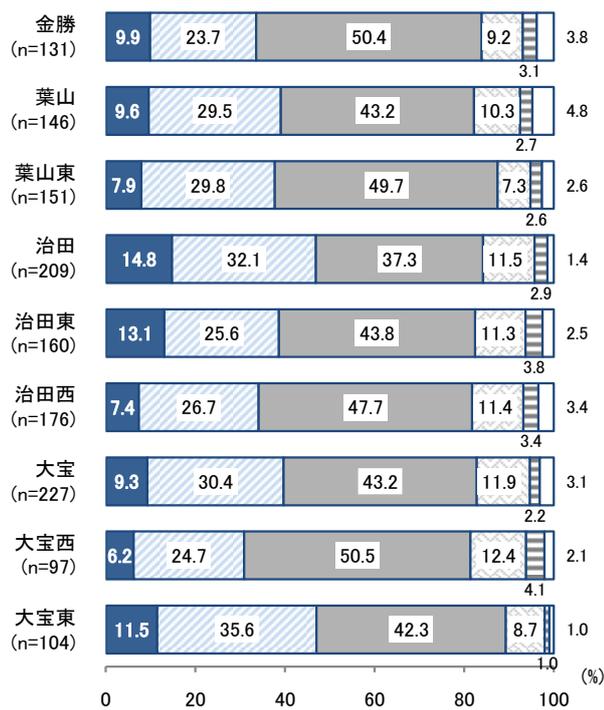
3. 差別された人の訴えや願いにもっと耳をかたむけたい



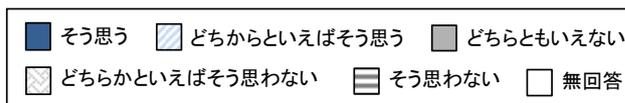
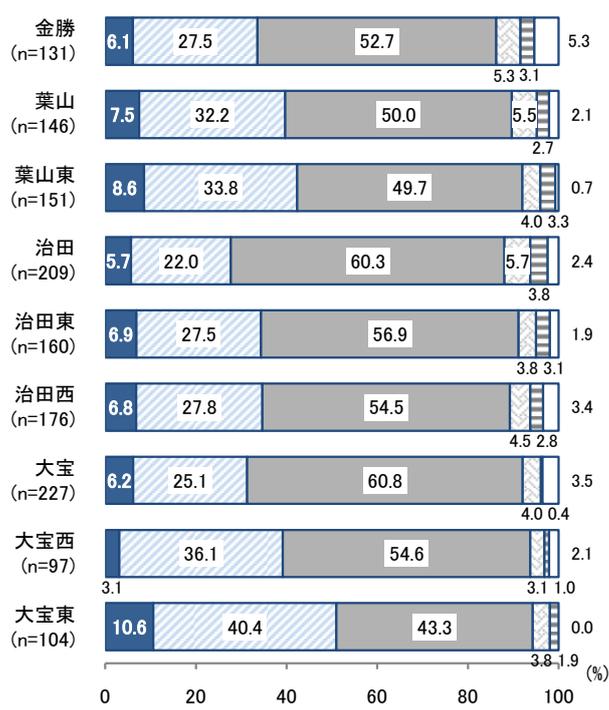
4. 人権尊重のまちづくりのため環境をよくするのは行政の責務だ



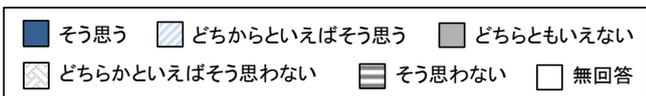
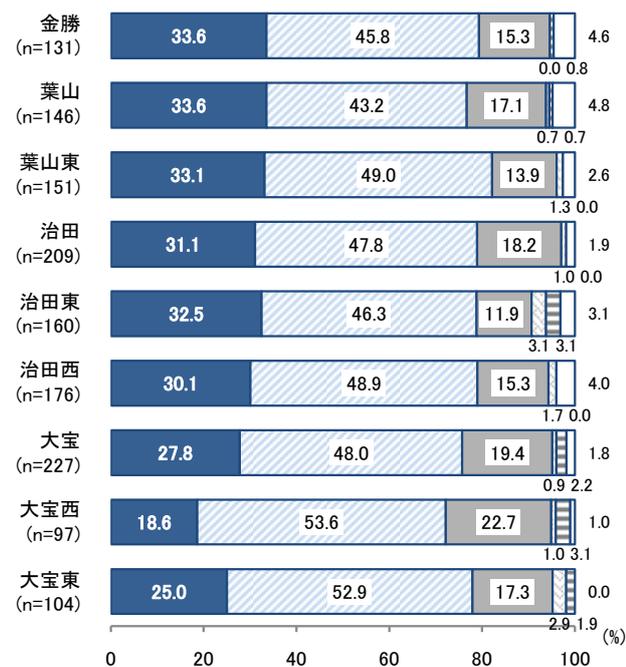
5. 差別的言動があったとき、誤りを指摘できる



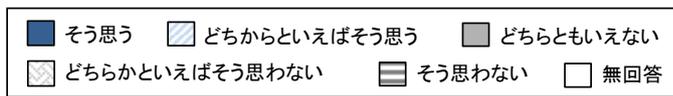
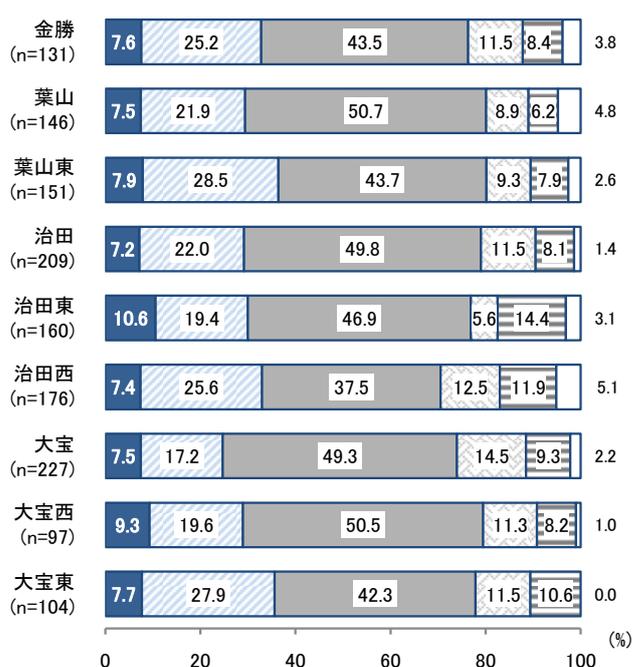
6. 栗東市は、基本的人権が尊重されている市である



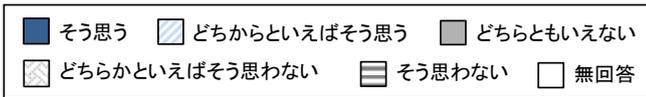
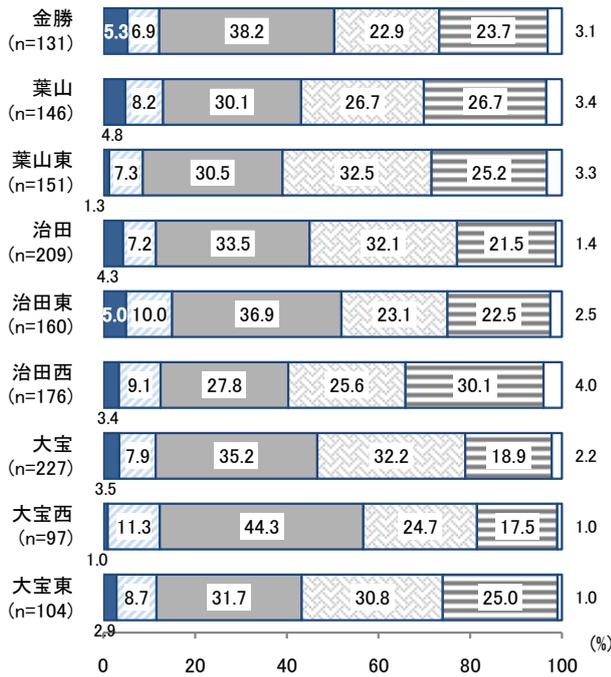
7. 差別を解消するために、努力している人々を応援したい



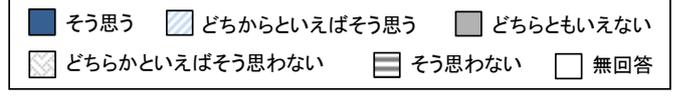
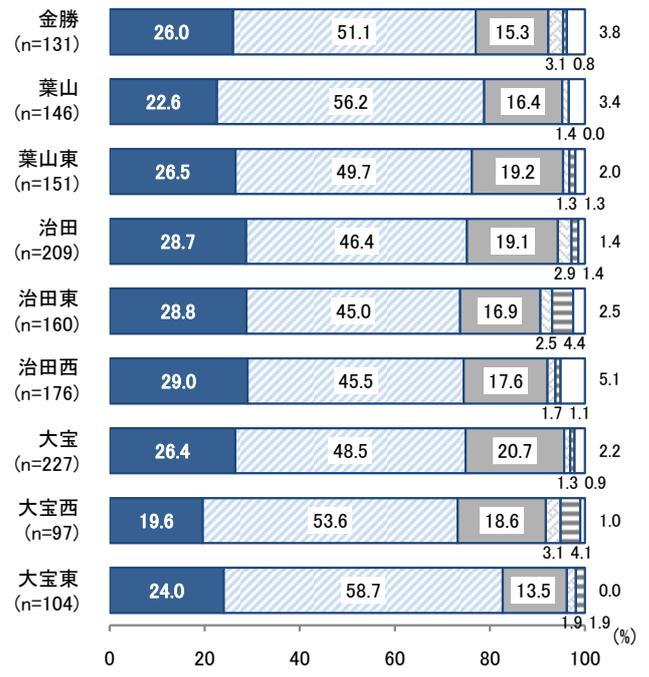
8. 自分は、差別を解消するために努力している



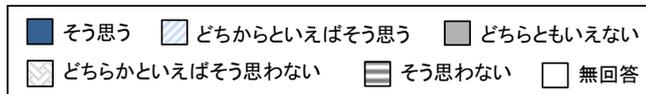
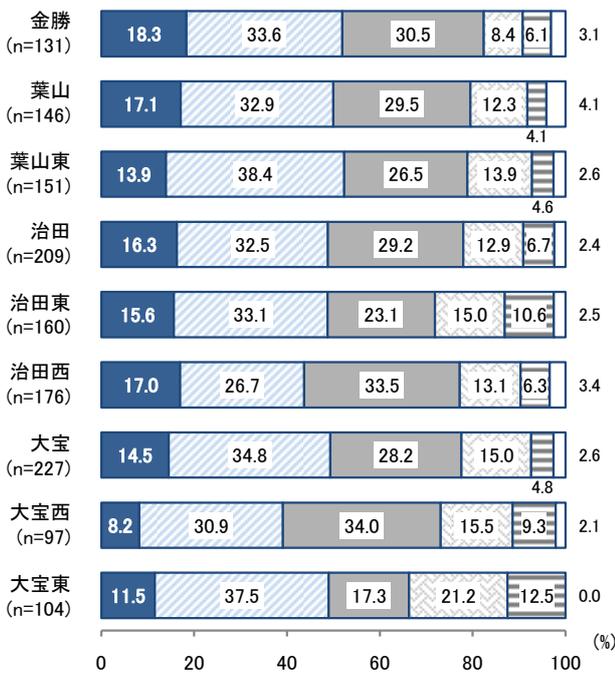
9. 差別の解消はむずかしいので、そっとしておいたほうがよい



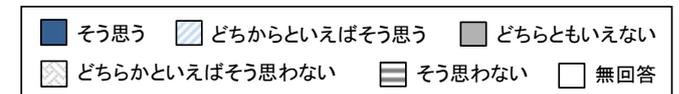
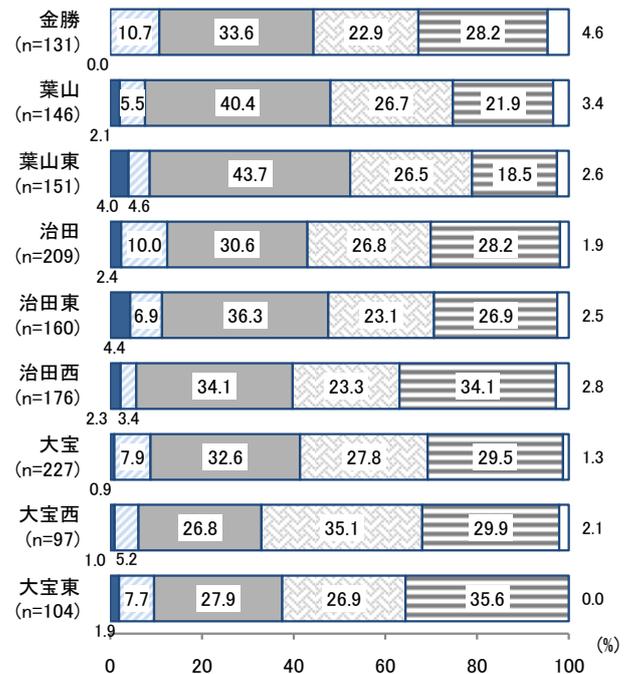
10. 差別をしないように人権意識を高め、日常生活に生かしたい



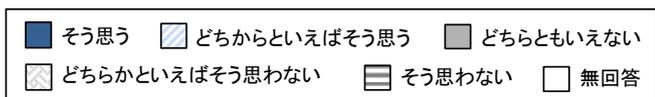
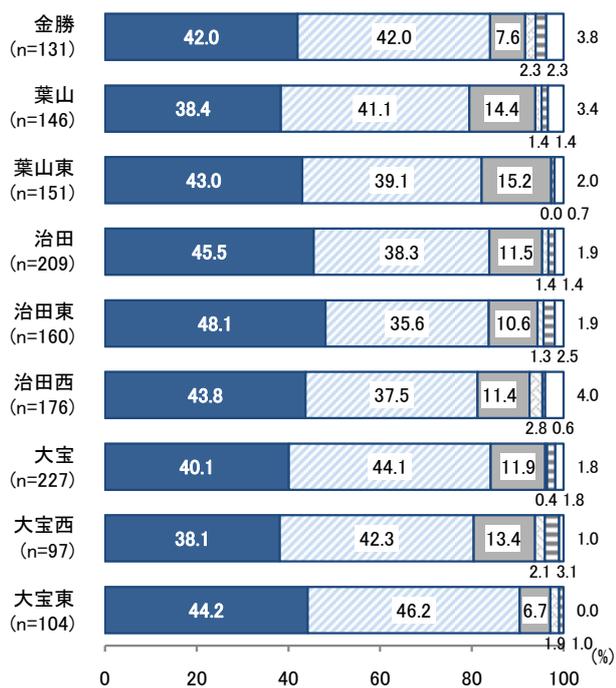
11. 差別を解消するために何をすればよいかわからない



12. 一人ひとりが尊重される集団や社会を築くため、リーダーになって努力したい



13. さまざまな人権問題の解決には、人を信頼し、認め合える豊かな人間関係づくりが大切である



3. 部落差別問題について

(1) 部落差別問題に関する意識

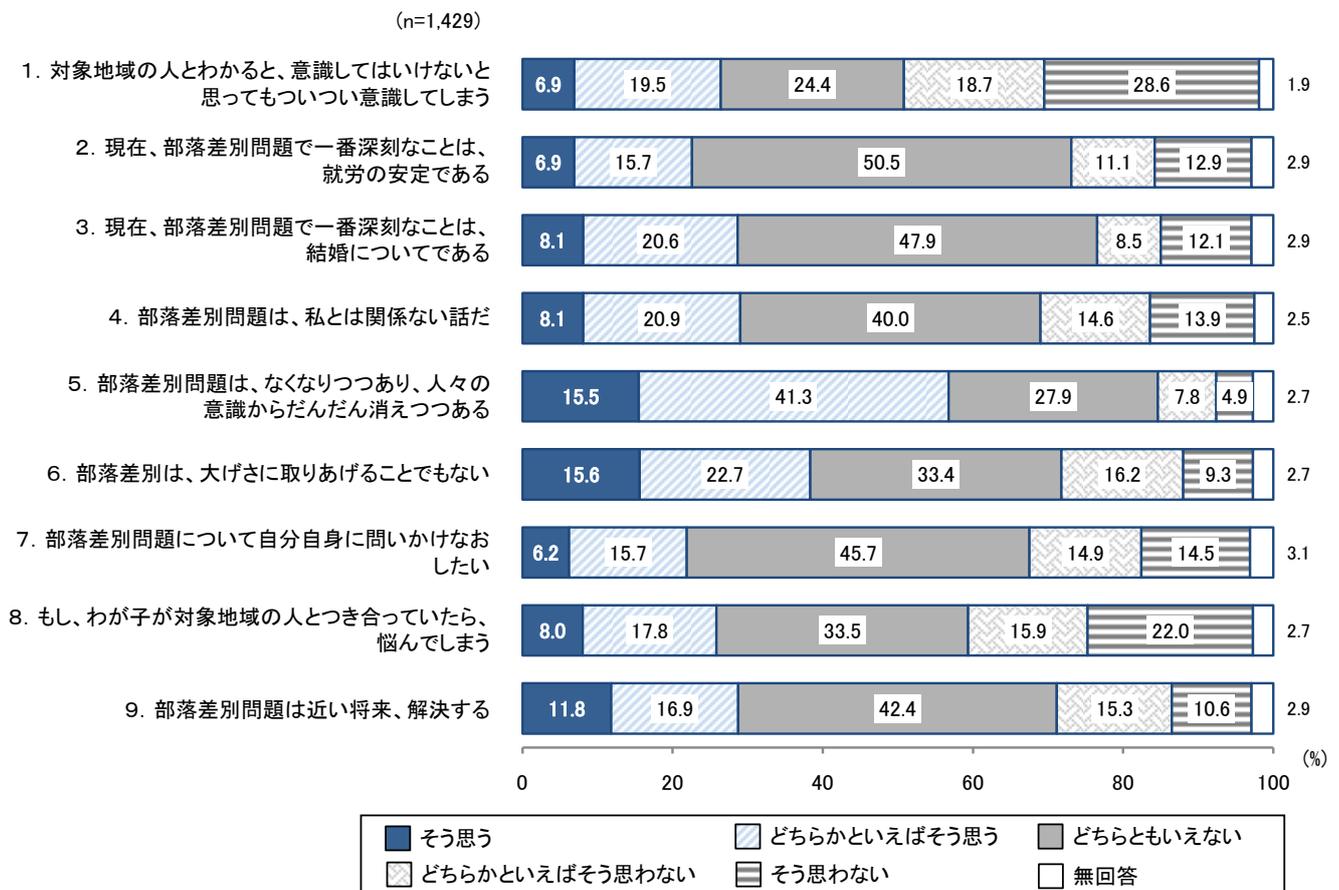
問4 部落差別問題に関する意識について、あなたはどのように思われますか。（それぞれ1つだけに○）

■ 部落差別問題に対する考え

部落差別問題に対する考えについて、『そう思わない』より『そう思う』割合のほうが高いのは、[3. 現在、部落差別問題で一番深刻なことは、結婚についてである] (28.7%)、[5. 部落差別問題は、なくなりつつあり、人々の意識からだんだん消えつつある] (56.8%)、[6. 部落差別は、大げさに取りあげることでもない] (38.3%) となっています。

『そう思わない』割合のほうが高いのは、[1. 対象地域の人とわかると、意識してはいけないと思ってもついつい意識してしまう] (47.3%)、[7. 部落差別問題について自分自身に問いかけなおしたい] (29.4%)、[8. もし、わが子が対象地域の人とつき合っていたら、悩んでしまう] (37.9%) となっています。

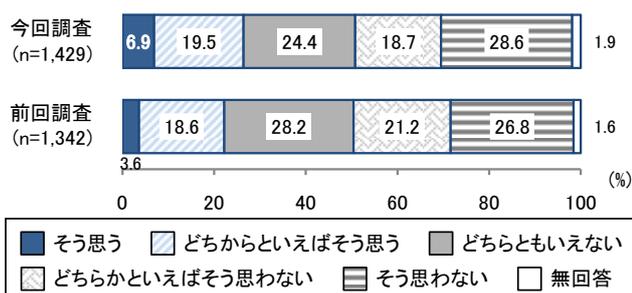
[4. 部落差別問題は、私とは関係ない話だ] と [9. 部落差別問題は近い将来、解決する] は『そう思う』と『そう思わない』がほぼ同じ割合となっています。



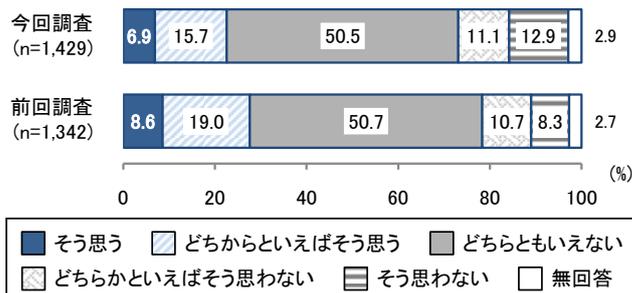
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、『そう思う』割合は、[4. 部落差別問題は、私とは関係ない話だ]で7.5ポイント増加しています。また[7. 部落差別問題について自分自身に問いかけなおしたい]では10.5ポイント減少しています。それ以外の項目は、前回調査と傾向は大きく変わっていません。

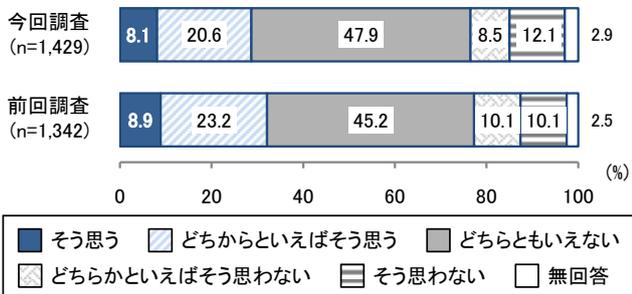
1. 対象地域の人とわかると、意識してはいけないと思ってもついつい意識してしまう



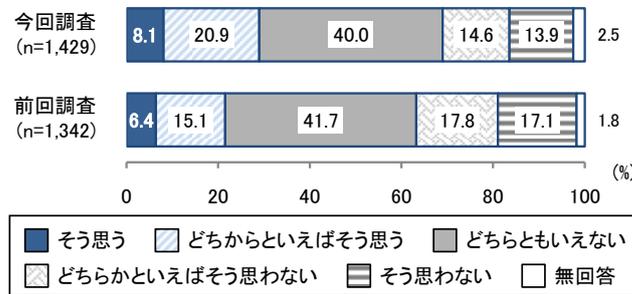
2. 現在、部落差別問題で一番深刻なことは、就労の安定である



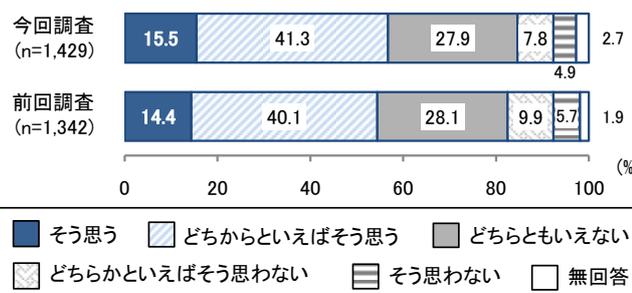
3. 現在、部落差別問題で一番深刻なことは、結婚についてである



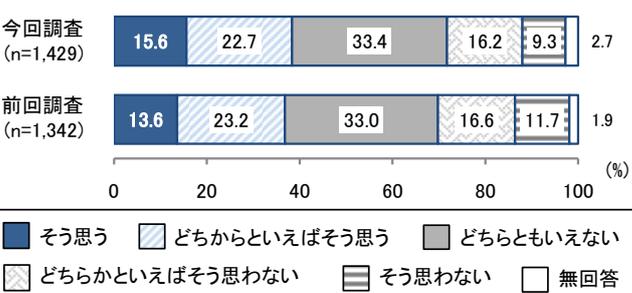
4. 部落差別問題は、私とは関係ない話だ



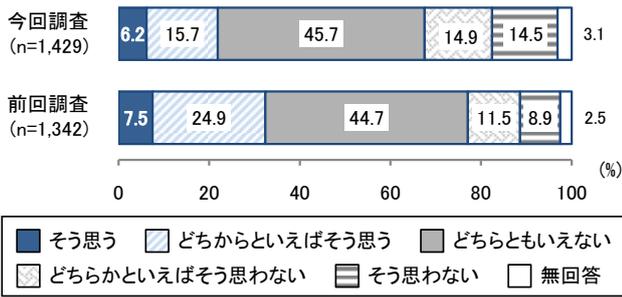
5. 部落差別問題は、なくなりつつあり、人々の意識からだんだん消えつつある



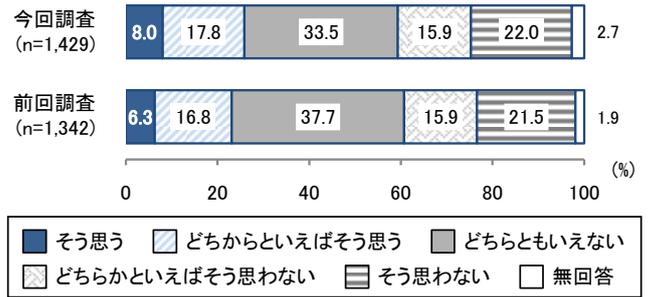
6. 部落差別は、大げさに取りあげることもない



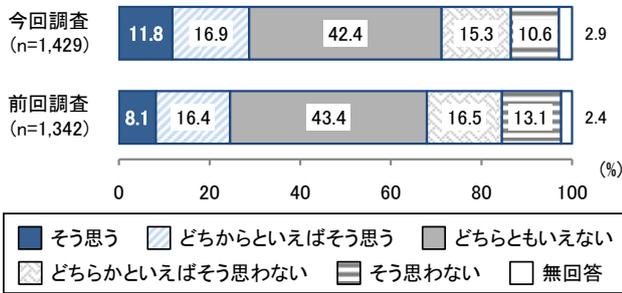
7. 部落差別問題について自分自身に問いかけなおしたい



8. もし、わが子が対象地域の人とつき合っていたら、悩んでしまう



9. 部落差別問題は近い将来、解決する

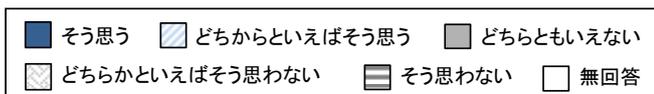
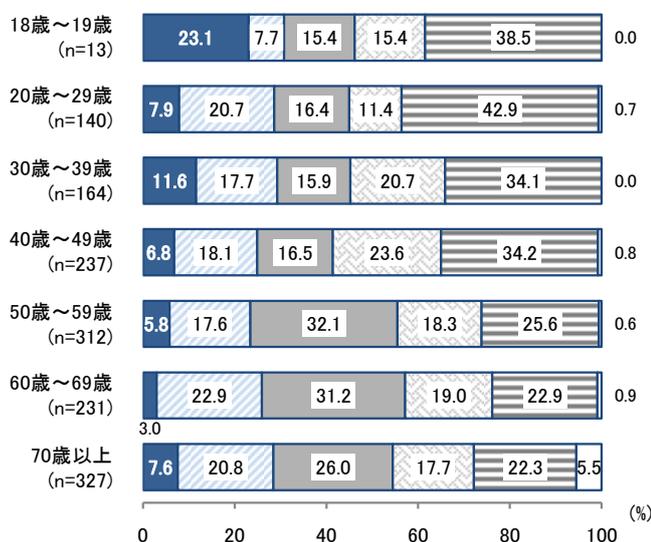


【年齢別】

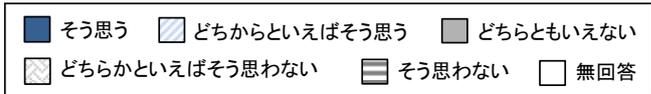
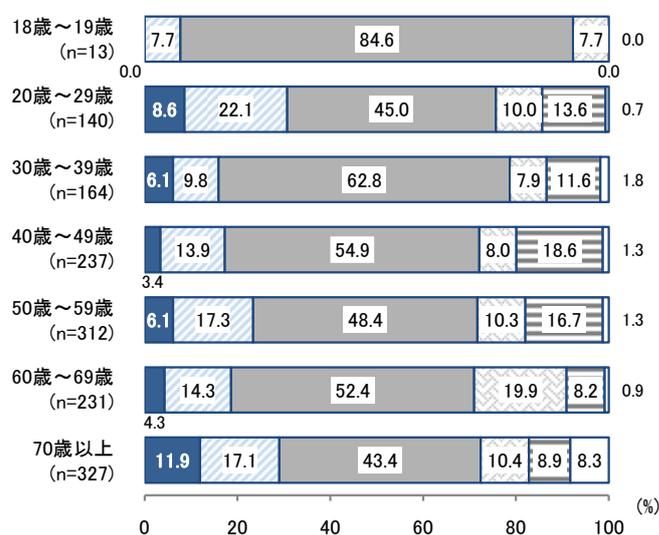
年齢別でみると、[4. 部落差別問題は、私とは関係ない話だ]は49歳以下では『そう思わない』より『そう思う』割合のほうが高く、50歳以上では『そう思わない』割合のほうが高くなっています。また[5. 部落差別問題は、なくなりつつあり、人々の意識からだんだん消えつつある]の『そう思う』割合は、“18歳～19歳”で69.3%、“20歳～29歳”で63.6%と、“50歳～59歳”(51.0%)との差が10ポイント以上となっています。

[8. もし、わが子が対象地域の人とつき合っていたら、悩んでしまう]の『そう思わない』割合は、“20～29歳”で56.4%と最も高く、“70歳以上”(24.4%)との差が32.0ポイントとなっています。

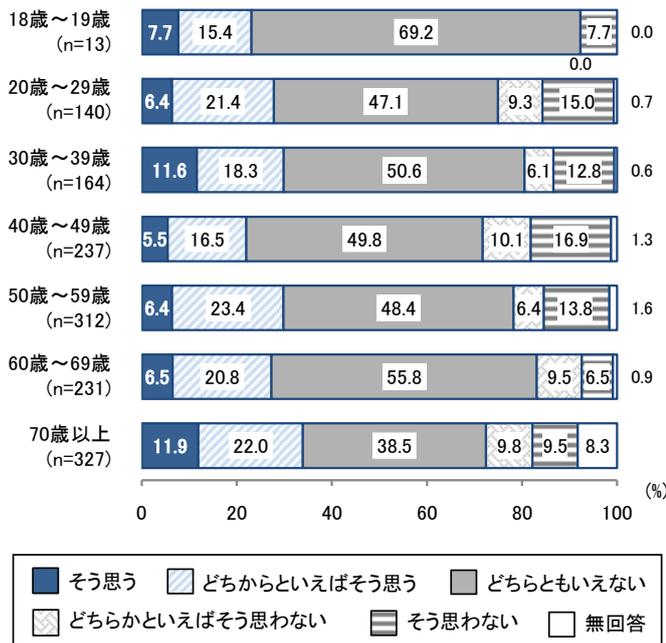
1. 対象地域の人とわかると、意識してはいけないと思ってもついつい意識してしまう



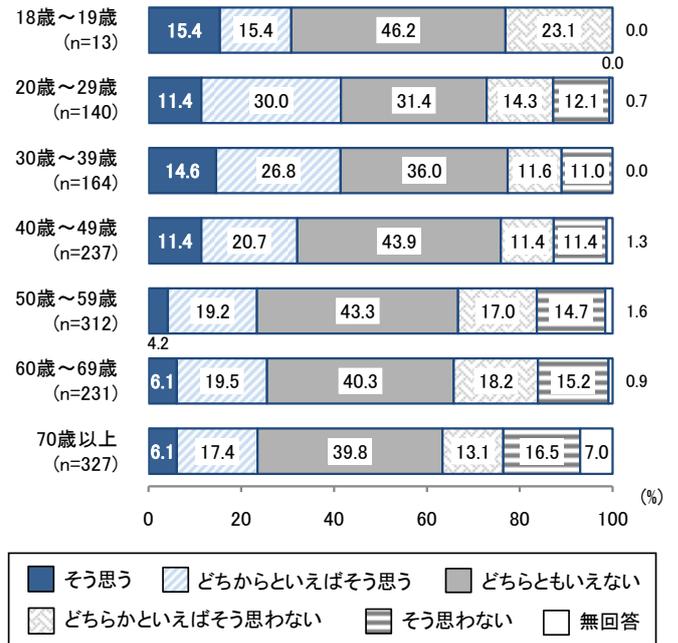
2. 現在、部落差別問題で一番深刻なことは、就労の安定である



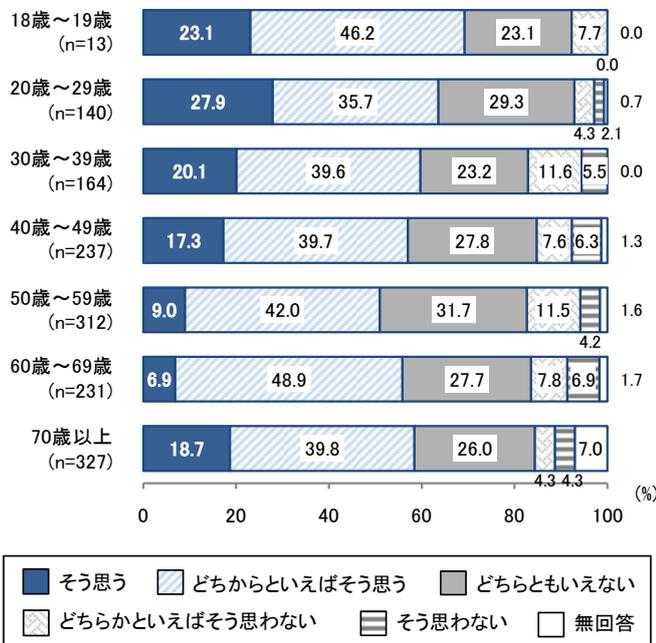
3. 現在、部落差別問題で一番深刻なことは、結婚についてである



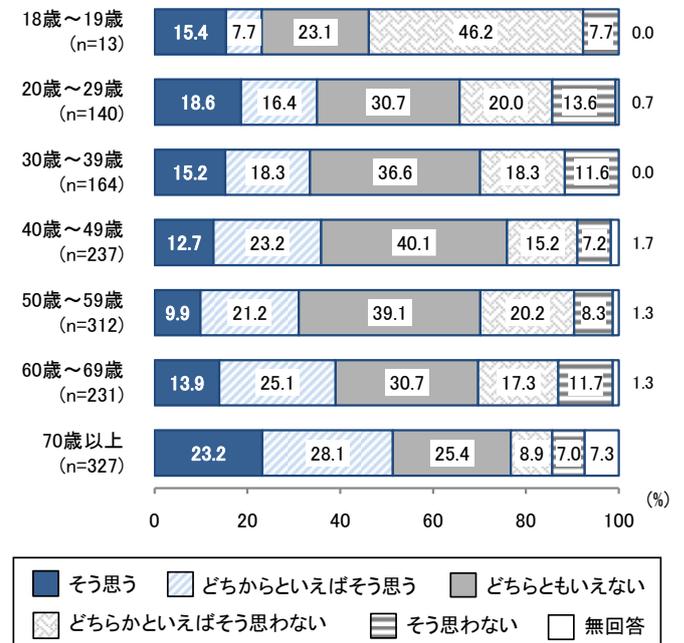
4. 部落差別問題は、私とは関係ない話だ



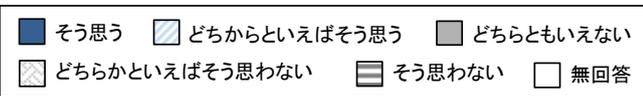
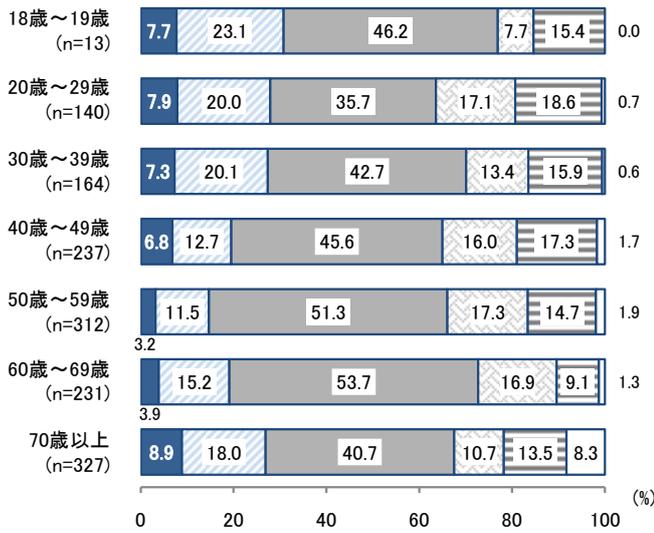
5. 部落差別問題は、なくなりつつあり、人々の意識からだんだん消えつつある



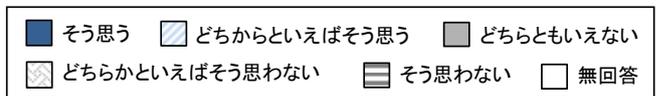
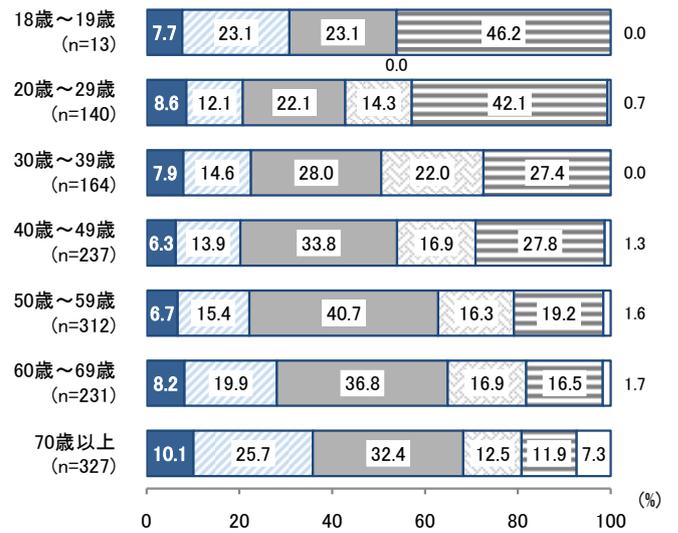
6. 部落差別は、大げさに取りあげることもない



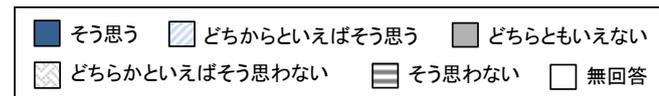
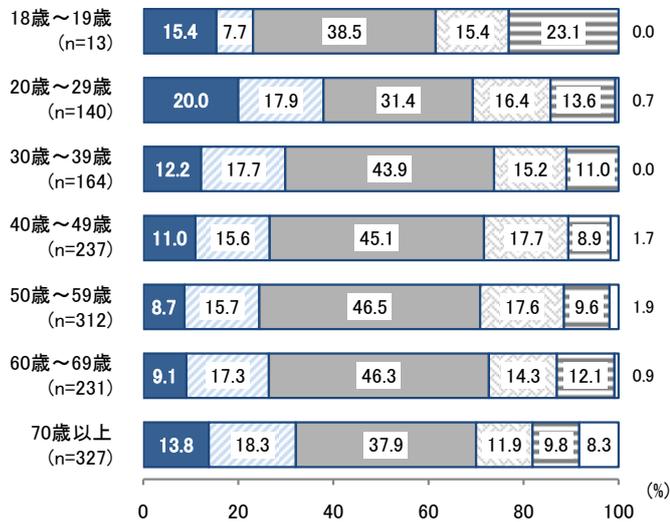
7. 部落差別問題について自分自身に問いかけなおしたい



8. もし、わが子が対象地域の人とつき合っていたら、悩んでしまう



9. 部落差別問題は近い将来、解決する



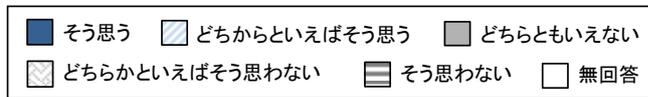
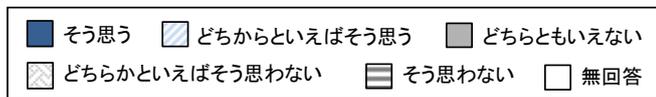
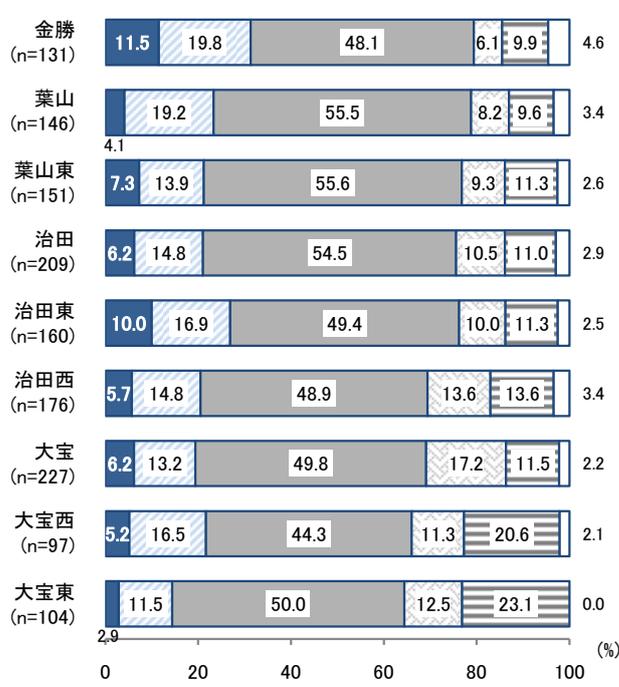
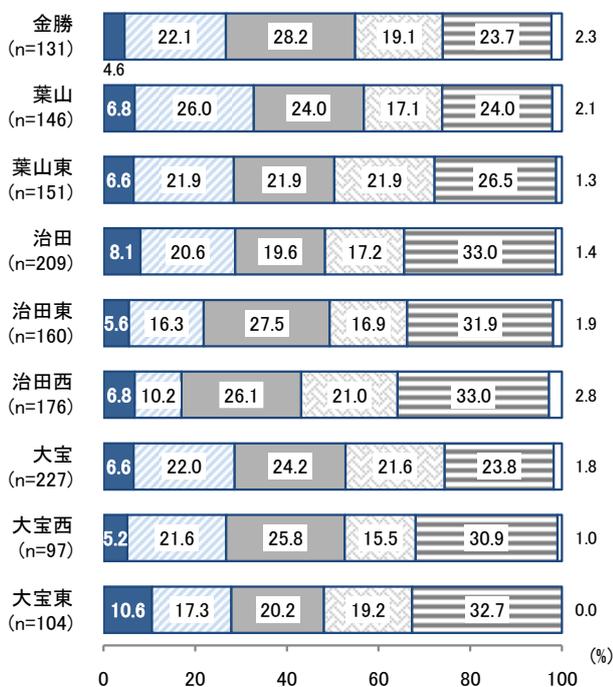
【学区別】

学区別でみると、[5. 部落差別問題は、なくなりつつあり、人々の意識からだんだん消えつつある]の『そう思う』割合は、“大宝東”66.4%と最も高く、“葉山”(49.3%)との差が17.1ポイントとなっています。また[6. 部落差別は、大げさに取りあげることでもない]の『そう思う』割合は、“大宝西”で47.4%と最も高く、“葉山東”(27.8%)と19.6ポイントの差となっています。

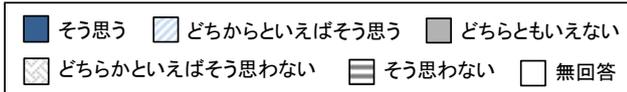
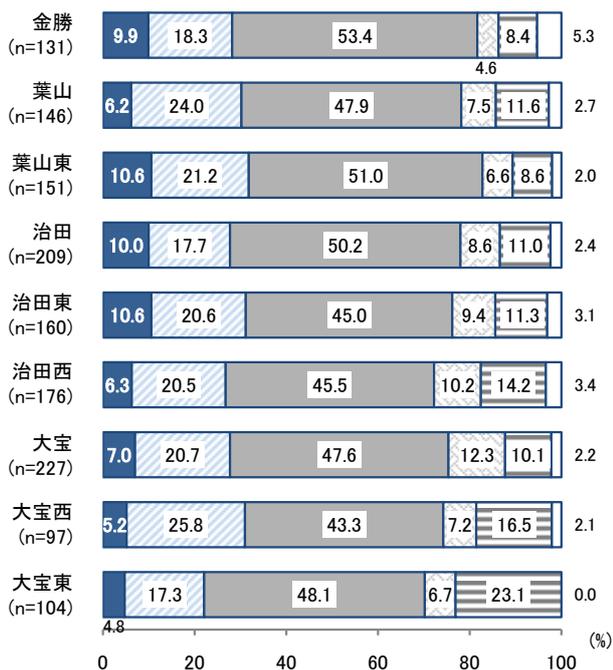
[8. もし、わが子が対象地域の人とつき合っていたら、悩んでしまう]は、“葉山東”では『そう思わない』より『そう思う』割合のほうが高く、それ以外の学区では『そう思わない』のほうが高くなっています。

1. 対象地域の人とわかると、意識してはいけないと思ってもついつい意識してしまう

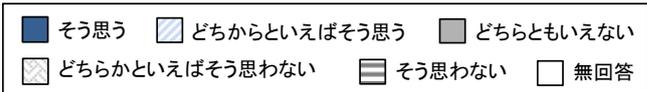
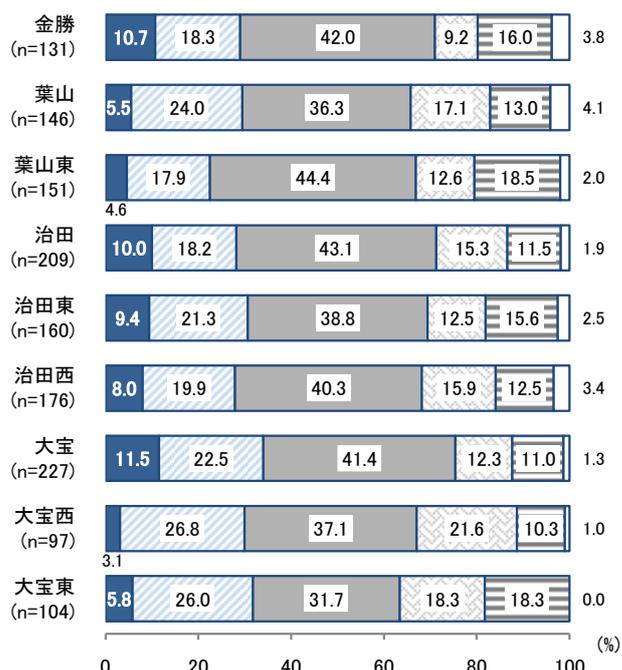
2. 現在、部落差別問題で一番深刻なことは、就労の安定である



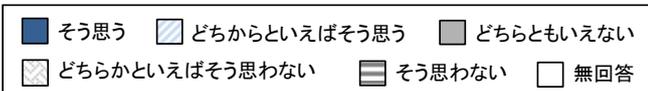
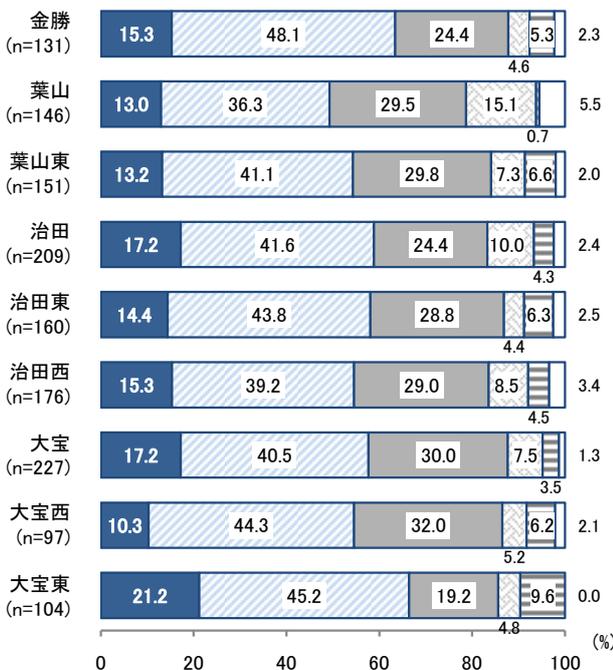
3. 現在、部落差別問題で一番深刻なことは、結婚についてである



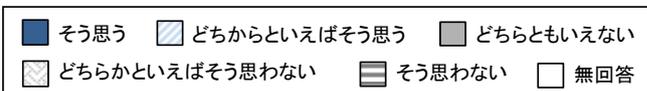
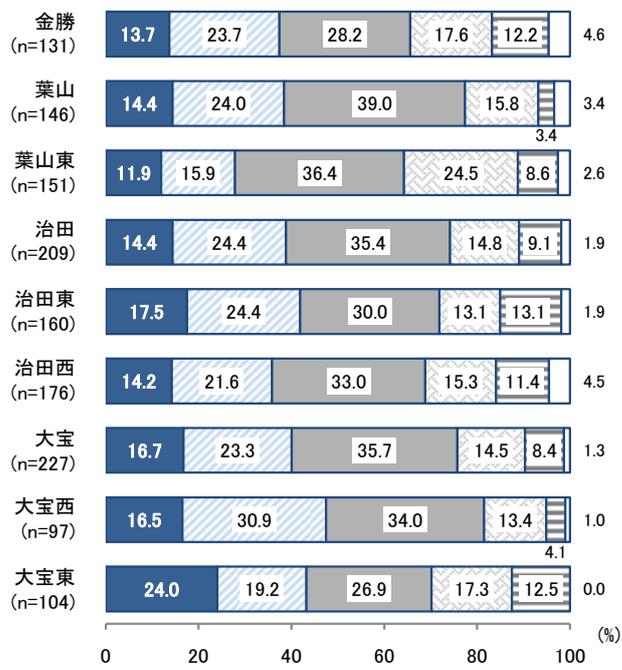
4. 部落差別問題は、私とは関係ない話だ



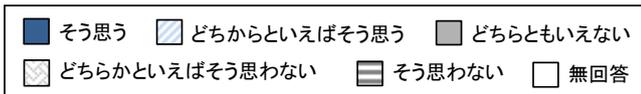
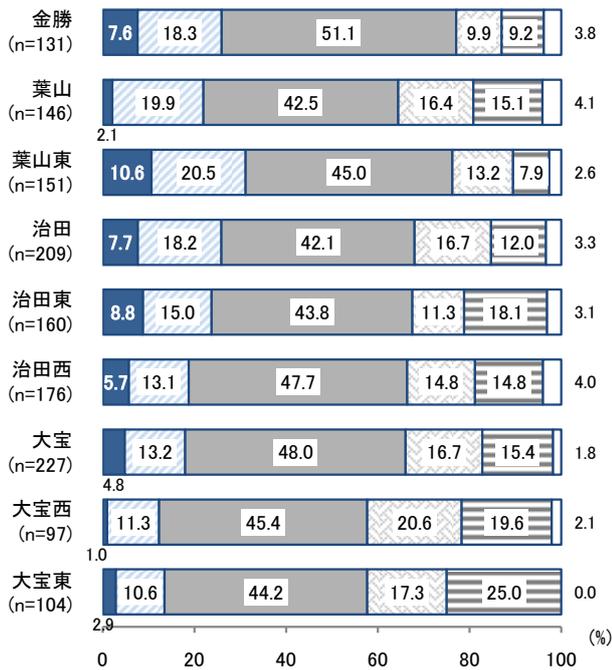
5. 部落差別問題は、なくなりつつあり、人々の意識からだんだん消えつつある



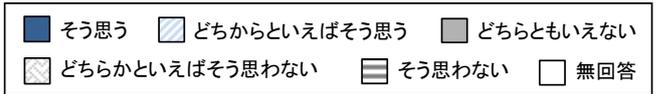
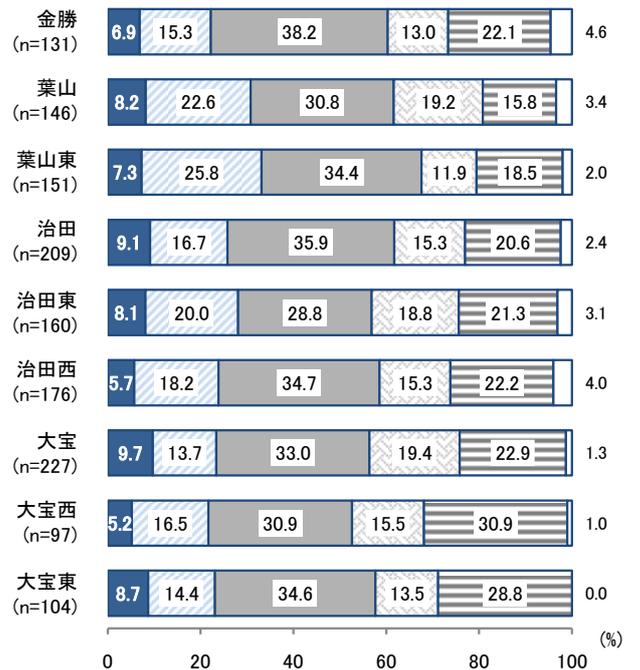
6. 部落差別は、大げさに取りあげることもない



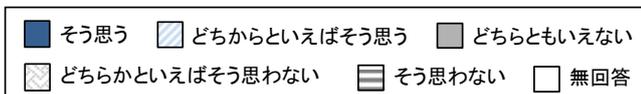
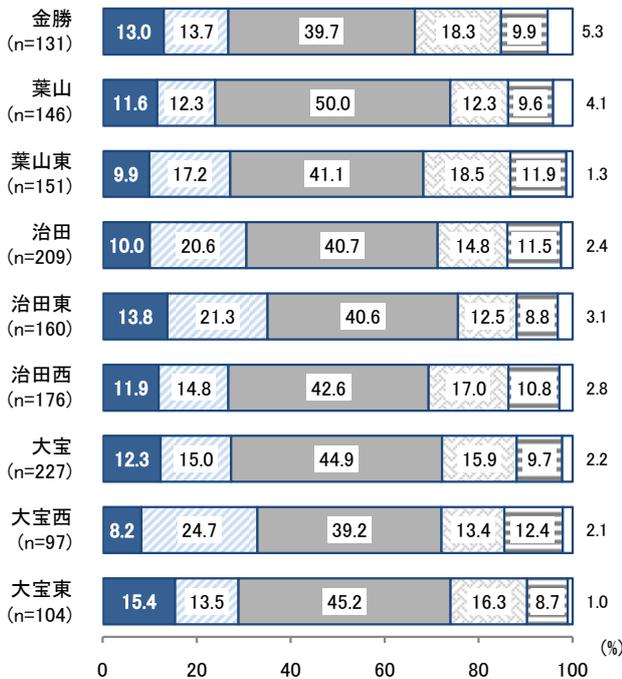
7. 部落差別問題について自分自身に問いかけなおしたい



8. もし、わが子が対象地域の人とつき合っていたら、悩んでしまう



9. 部落差別問題は近い将来、解決する

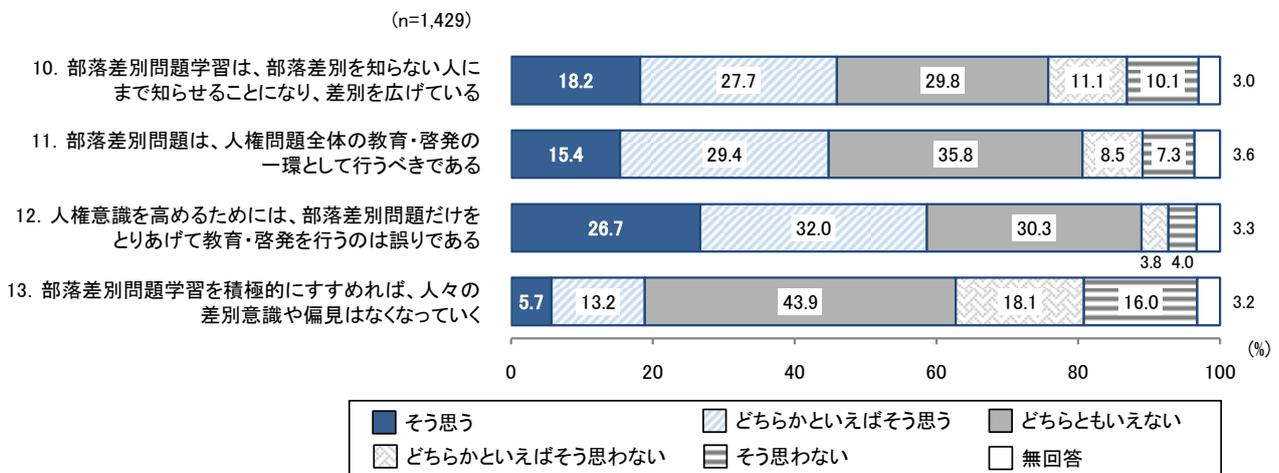


問4 部落差別問題に関する意識について、あなたはどのように思われますか。（それぞれ1つだけに○）

■部落差別問題の教育の在り方について

『そう思わない』より『そう思う』割合のほうが高いのは、[10. 部落差別問題学習は、部落差別を知らない人にまで知らせることになり、差別を広げている] (45.9%)、[11. 部落差別問題は、人権問題全体の教育・啓発の一環として行うべきである] (44.8%)、[12. 人権意識を高めるためには、部落差別問題だけをとりあげて教育・啓発を行うのは誤りである] (58.7%) となっています。

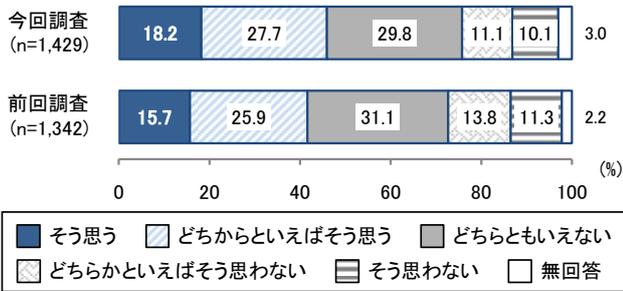
[13. 部落差別問題学習を積極的にすすめれば、人々の差別意識や偏見はなくなっていく] は、『そう思わない』のほうが高く34.1%となっています。



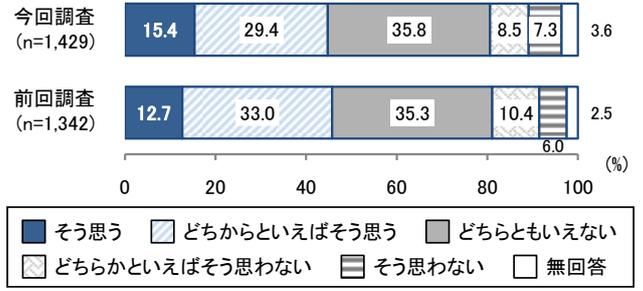
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、同様の傾向となっています。

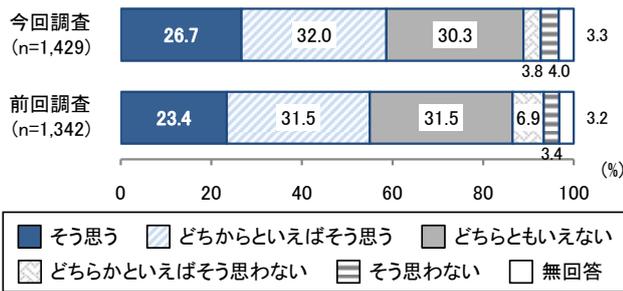
10. 部落差別問題学習は、部落差別を知らない人にまで知らせることになり、差別を広げている



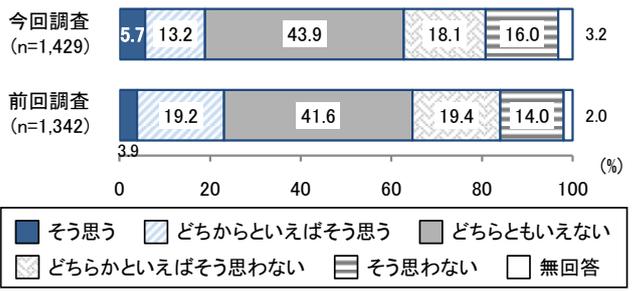
11. 部落差別問題は、人権問題全体の教育・啓発の一環として行うべきである



12. 人権意識を高めるためには、同和問題(部落差別)だけをとりあげて教育・啓発を行うのは誤りである



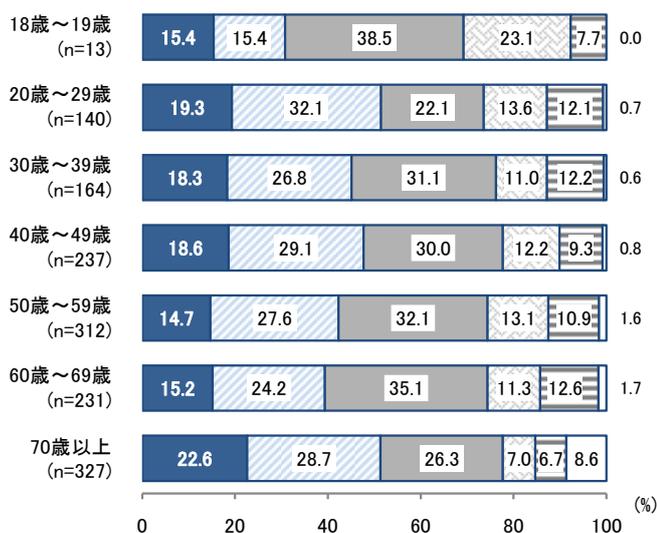
13. 部落差別問題学習を積極的にすすめれば、人々の差別意識や偏見はなくなっていく



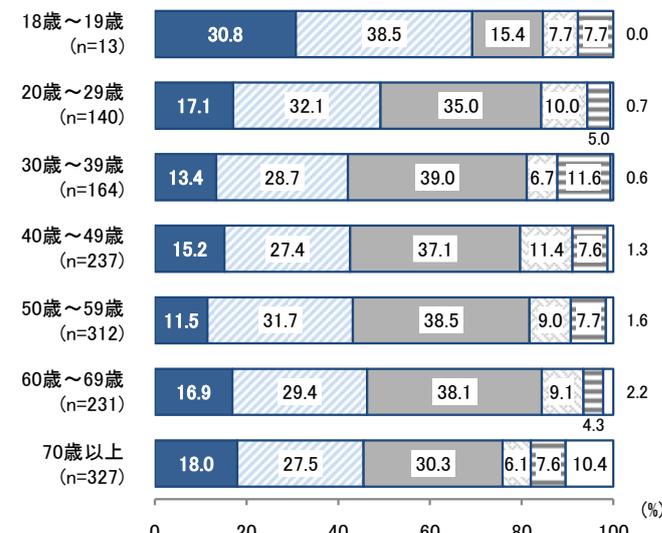
【年齢別】

年齢別でみると、[10. 部落差別問題学習は、部落差別を知らない人にまで知らせることになり、差別を広げている]は、“20歳～29歳”で51.4%、“70歳以上”で51.3%と5割を超えています。[11. 部落差別問題は、人権問題全体の教育・啓発の一環として行うべきである]の『そう思う』割合は、“18歳～19歳”で69.3%と最も高く、次いで“20歳～29歳”で49.2%、“60歳～69歳”で46.3%となっています。

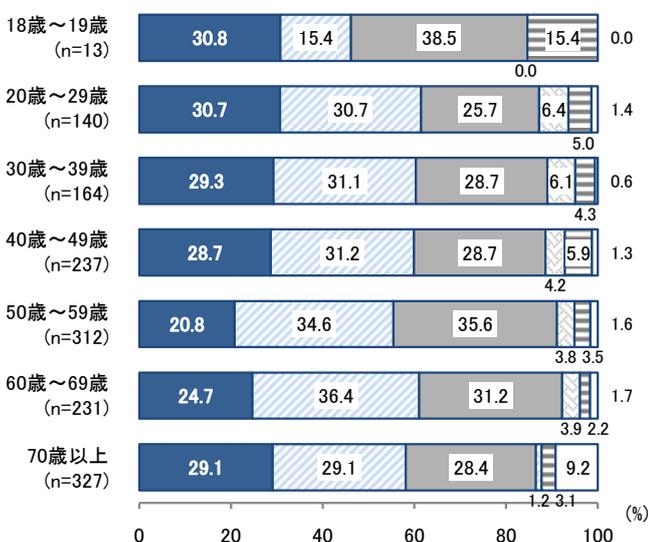
10. 部落差別問題学習は、部落差別を知らない人にまで知らせることになり、差別を広げている



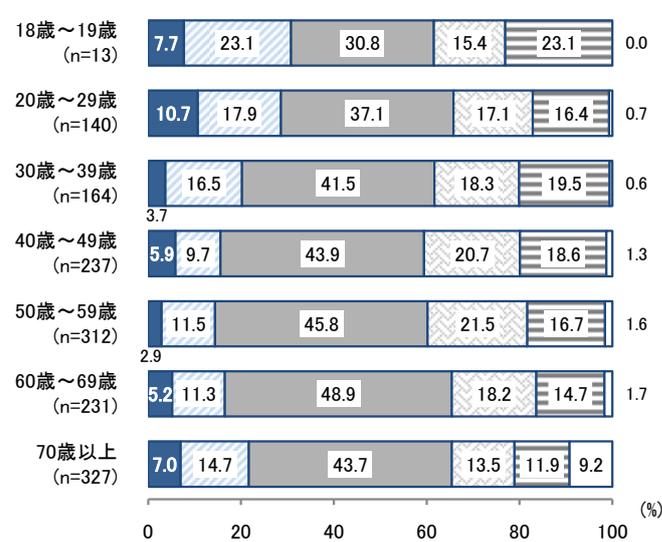
11. 部落差別問題は、人権問題全体の教育・啓発の一環として行うべきである



12. 人権意識を高めるためには、同和問題(部落差別)だけをとりあげて教育・啓発を行うのは誤りである



13. 部落差別問題学習を積極的にすすめれば、人々の差別意識や偏見はなくなっていく

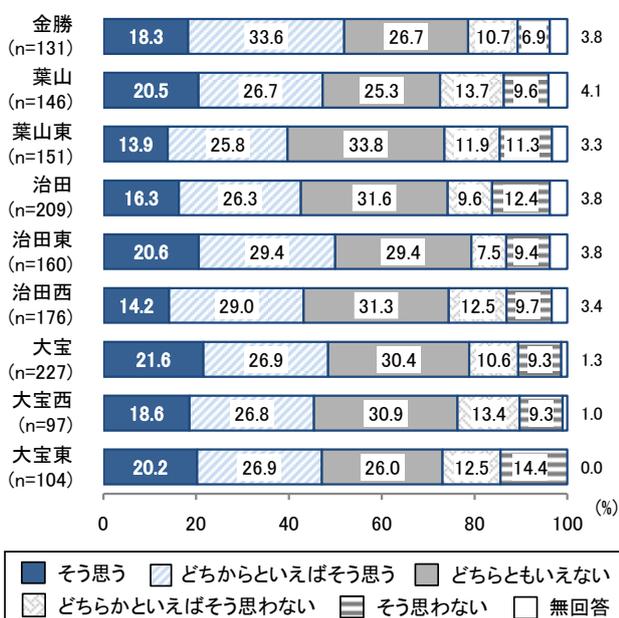


【学区別】

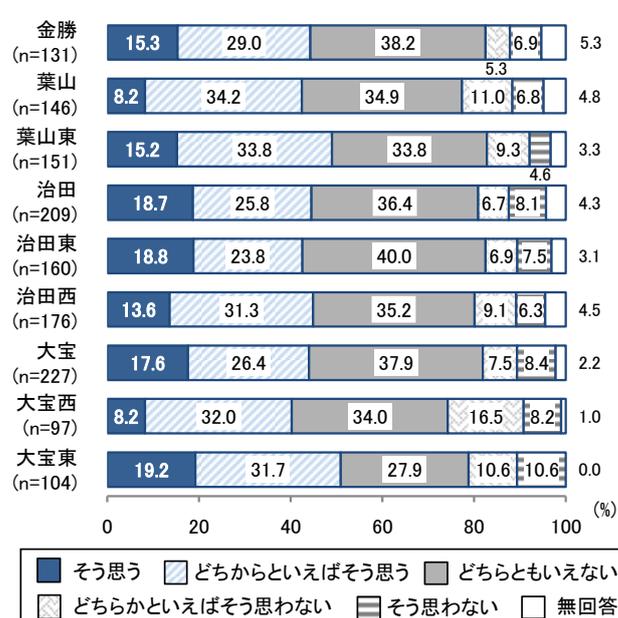
学区別でみると、[10. 部落差別問題学習は、部落差別を知らない人にまで知らせることになり、差別を広げている]の『そう思う』割合は、“金勝”で51.9%と最も高く、次いで“治田東”が50.0%、“大宝”が48.5%となっています。

[13. 部落差別問題学習を積極的にすすめれば、人々の差別意識や偏見はなくなっていく]の『そう思わない』割合は、“大宝東”で44.2%と最も高く、“葉山東”（25.9%）と18.3ポイントの差となっています。

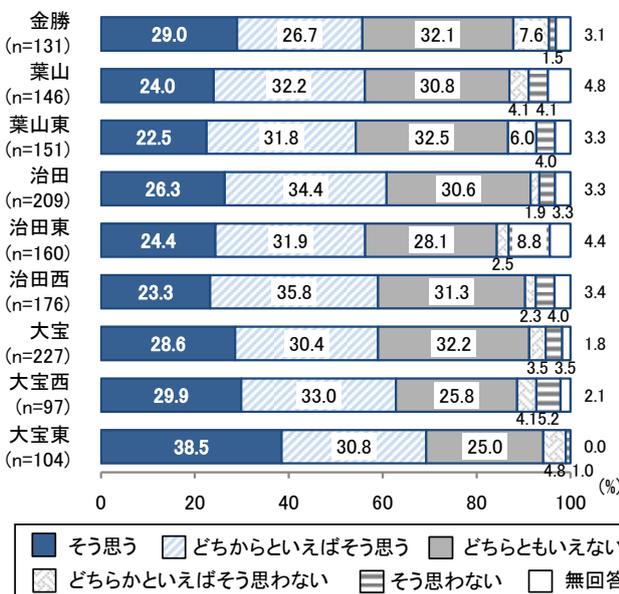
10. 部落差別問題学習は、部落差別を知らない人にまで知らせることになり、差別を広げている



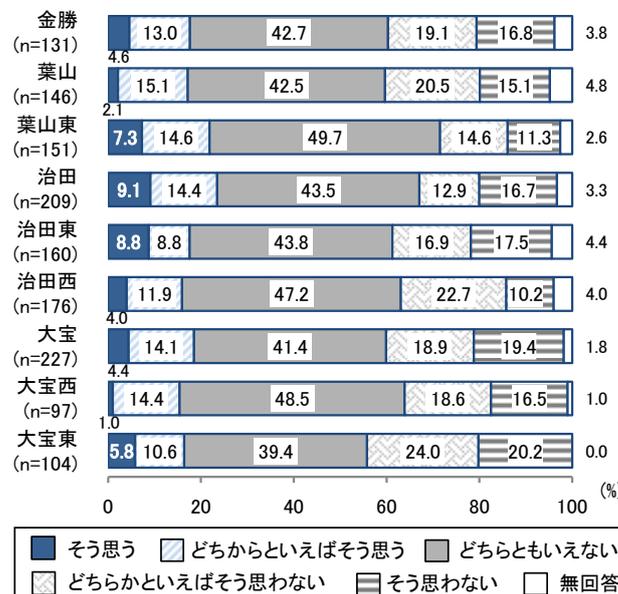
11. 部落差別問題は、人権問題全体の教育・啓発の一環として行うべきである



12. 人権意識を高めるためには、同和問題(部落差別)だけをとりあげて教育・啓発を行うのは誤りである



13. 部落差別問題学習を積極的にすすめれば、人々の差別意識や偏見はなくなっていく

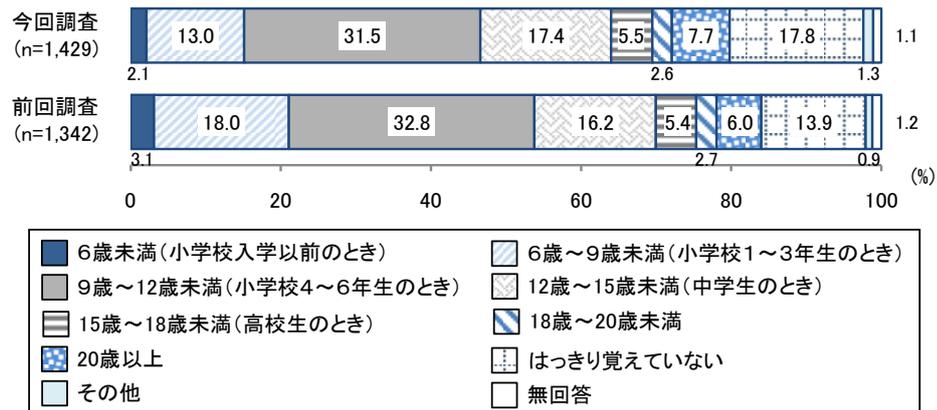


(2) 部落差別問題をはじめて知った時期

問5 (1) あなたが、部落差別問題について知ったのは、いつ頃ですか。(1つだけに○)

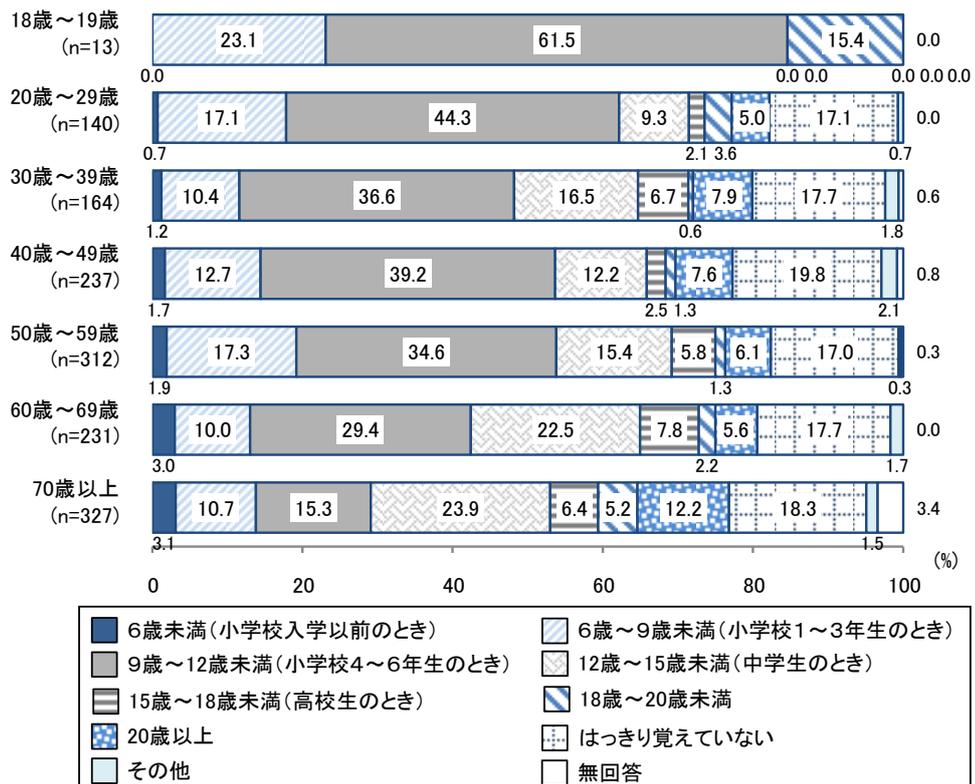
部落差別を知った年齢は、「9歳～12歳未満(小学校4～6年生のとき)」が31.5%と最も多く、次いで「はっきり覚えていない」が17.8%、「12歳～15歳未満(中学生のとき)」が17.4%となっています。

前回調査と比較すると、「はっきり覚えていない」の割合が3.9ポイント増加しています。また、「6歳～9歳未満(小学校1～3年生のとき)」は5.0ポイント減少しています。



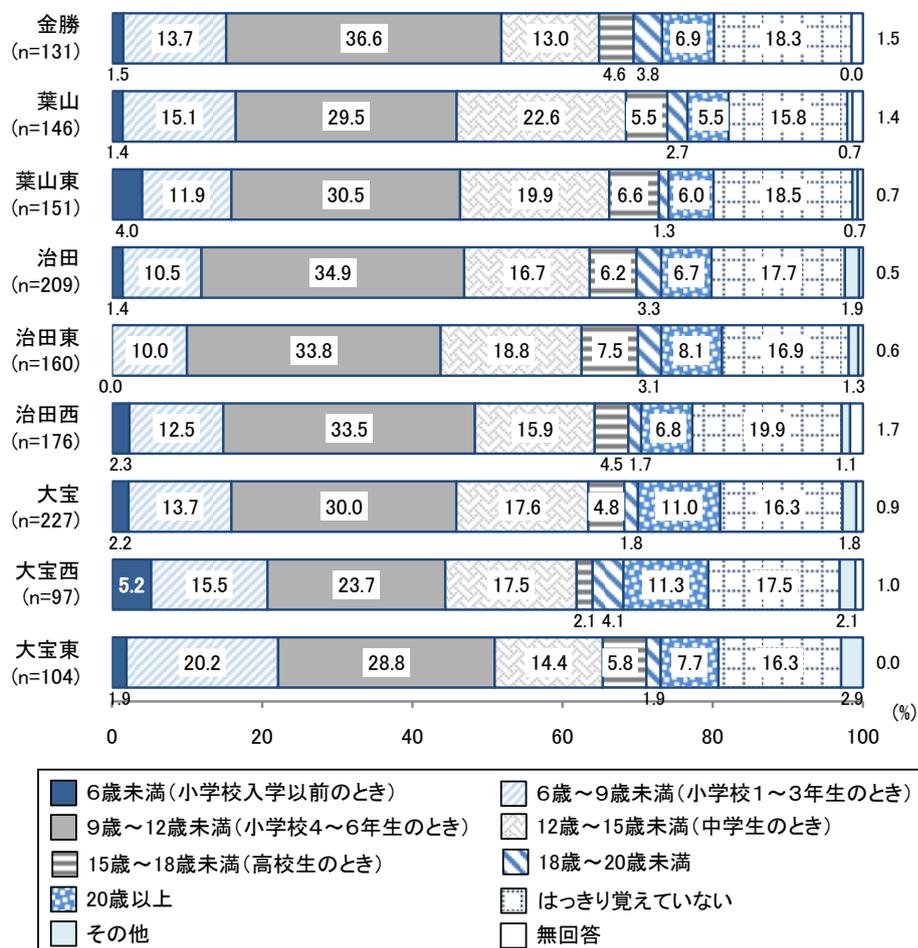
【年齢別】

年齢別でみると、“70歳以上”では「12歳～15歳未満(中学生のとき)」が最も多く、それ以外の年齢では「9歳～12歳未満(小学校4～6年生のとき)」が最も多くなっています。



【学区別】

学区別でみると、いずれの学区も「9歳～12歳未満（小学校4～6年生のとき）」が最も多くなっています。

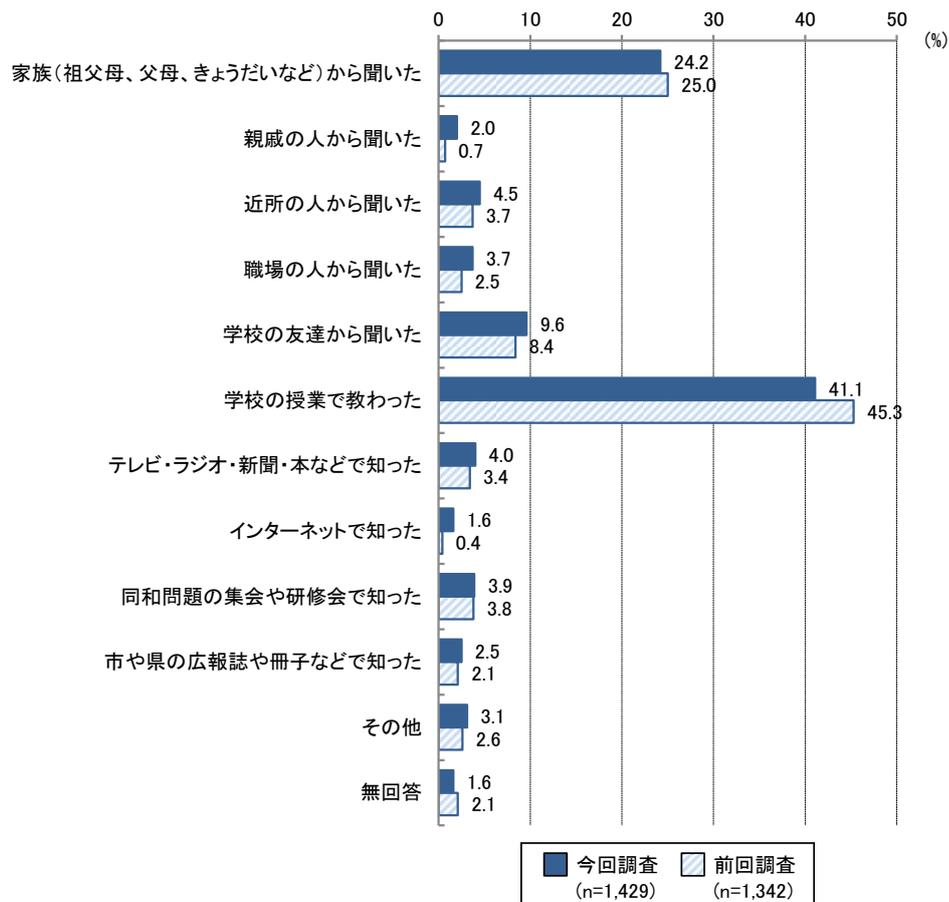


(3) 部落差別問題をはじめて知ったきっかけ

問5 (2) あなたが、部落差別問題について、はじめて知ったきっかけは、何からですか。
(1つだけに○)

部落差別問題について、はじめて知ったきっかけは、「学校の授業で教わった」が41.1%と最も多く、次いで「家族(祖父母、父母、きょうだいなど)から聞いた」が24.2%、「学校の友達から聞いた」が9.6%となっています。

前回調査と比較すると、「学校の授業で教わった」の割合が4.2ポイント減少しています。



【年齢別】 【学区別】

年齢別でみると、“60歳以上”では「家族（祖父母、父母、きょうだいなど）から聞いた」が最も多く、それ以外の年齢では「学校の授業で教わった」が最も多くなっています。

学区別でみると、いずれの学区も「学校の授業で教わった」が最も多くなっています。

		(%)												
		調査数 (n)	家族(祖父母、きょうだいなど)から聞いた	親戚の人から聞いた	近所の人から聞いた	職場の人から聞いた	学校の友達から聞いた	学校の授業で教わった	テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った	インターネットで知った	同和問題の集会や研修会で知った	市や県の広報誌や冊子などで知った	その他	無回答
年齢別	18歳～19歳	13	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	84.6	0.0	7.7	0.0	0.0	7.7	0.0
	20歳～29歳	140	12.1	0.7	0.7	2.1	2.9	63.6	2.9	7.9	0.7	2.1	3.6	0.7
	30歳～39歳	164	19.5	0.0	2.4	1.8	8.5	53.0	4.9	2.4	2.4	1.8	4.3	0.6
	40歳～49歳	237	14.3	0.4	0.4	2.1	4.6	62.9	3.8	2.1	2.5	2.5	3.0	1.3
	50歳～59歳	312	21.2	1.3	1.0	2.2	8.7	54.5	2.9	0.3	2.6	2.9	2.9	0.6
	60歳～69歳	231	40.3	4.3	3.5	2.2	15.6	26.4	3.5	0.0	3.9	1.7	2.2	1.7
	70歳以上	327	31.5	4.0	14.4	9.2	13.5	6.1	5.8	0.3	8.6	3.4	3.1	3.4
学区別	金勝	131	20.6	1.5	9.2	1.5	8.4	42.0	3.1	3.1	4.6	5.3	0.8	0.8
	葉山	146	26.0	2.1	4.1	1.4	12.3	42.5	3.4	0.7	4.1	0.7	3.4	0.7
	葉山東	151	33.1	0.7	4.6	4.6	6.6	34.4	5.3	0.7	4.6	0.7	2.6	2.0
	治田	209	24.4	1.9	1.4	3.8	13.9	41.6	3.3	1.0	3.3	1.9	3.3	1.0
	治田東	160	24.4	3.8	5.6	7.5	10.6	33.8	7.5	1.3	3.1	1.3	1.9	1.9
	治田西	176	26.7	2.3	7.4	5.7	8.5	41.5	3.4	1.1	3.4	4.0	0.6	1.7
	大宝	227	23.3	2.6	2.2	1.8	9.3	42.7	3.5	2.2	4.4	3.5	4.4	2.2
	大宝西	97	24.7	1.0	6.2	3.1	5.2	45.4	1.0	0.0	6.2	3.1	4.1	1.0
	大宝東	104	13.5	1.0	1.9	2.9	8.7	54.8	5.8	1.9	2.9	1.9	6.7	0.0

(4) 現在でも部落差別があると思うか

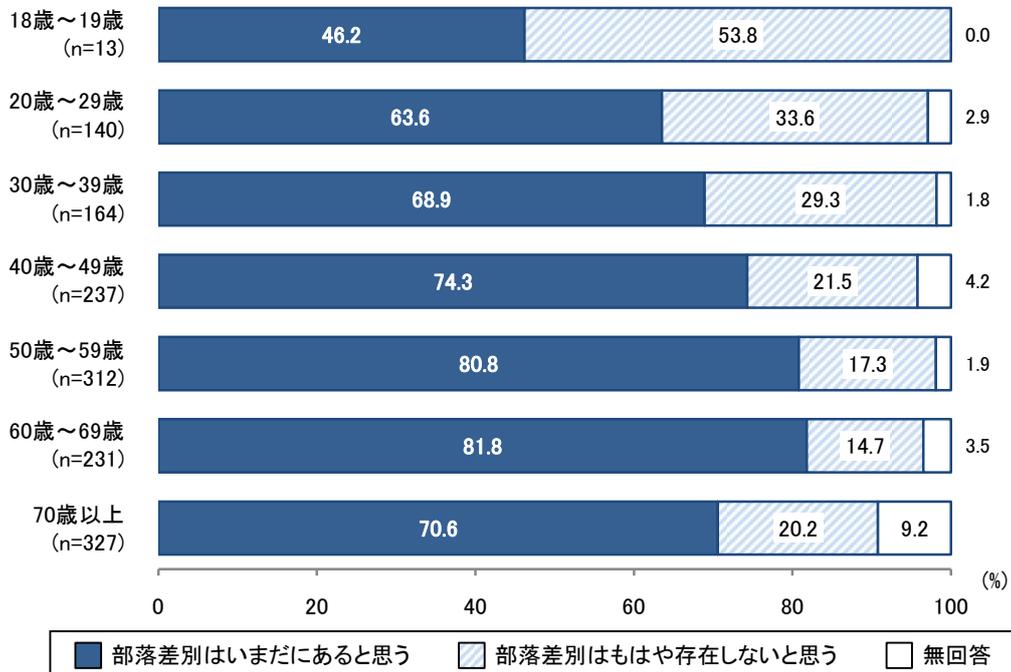
問5 (3) あなたは、現在でも部落差別があると思いますか。(1つだけに○)

現在でも部落差別があると思うかは、「部落差別はいまだにあると思う」が74.1%、「部落差別はもはや存在しないと思う」が21.5%となっています。



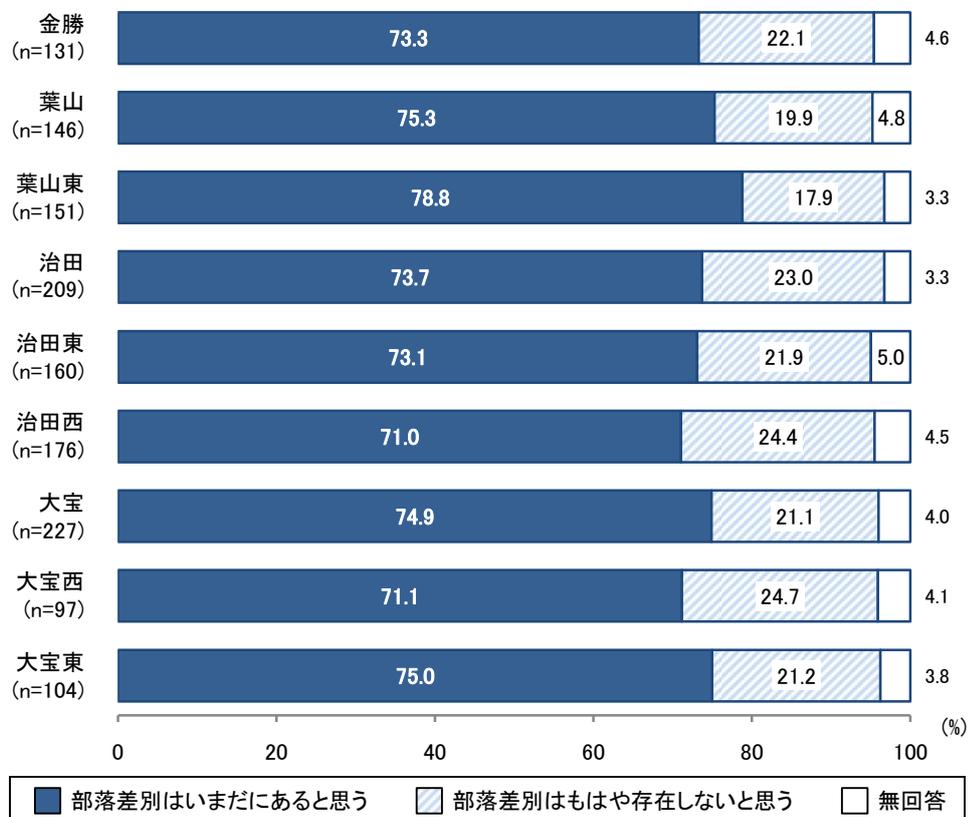
【年齢別】

年齢別でみると、「部落差別はいまだにあると思う」割合は、69歳までは高齢になるほど高くなっており、「60歳～69歳」で81.8%と最も高くなっています。



【学区別】

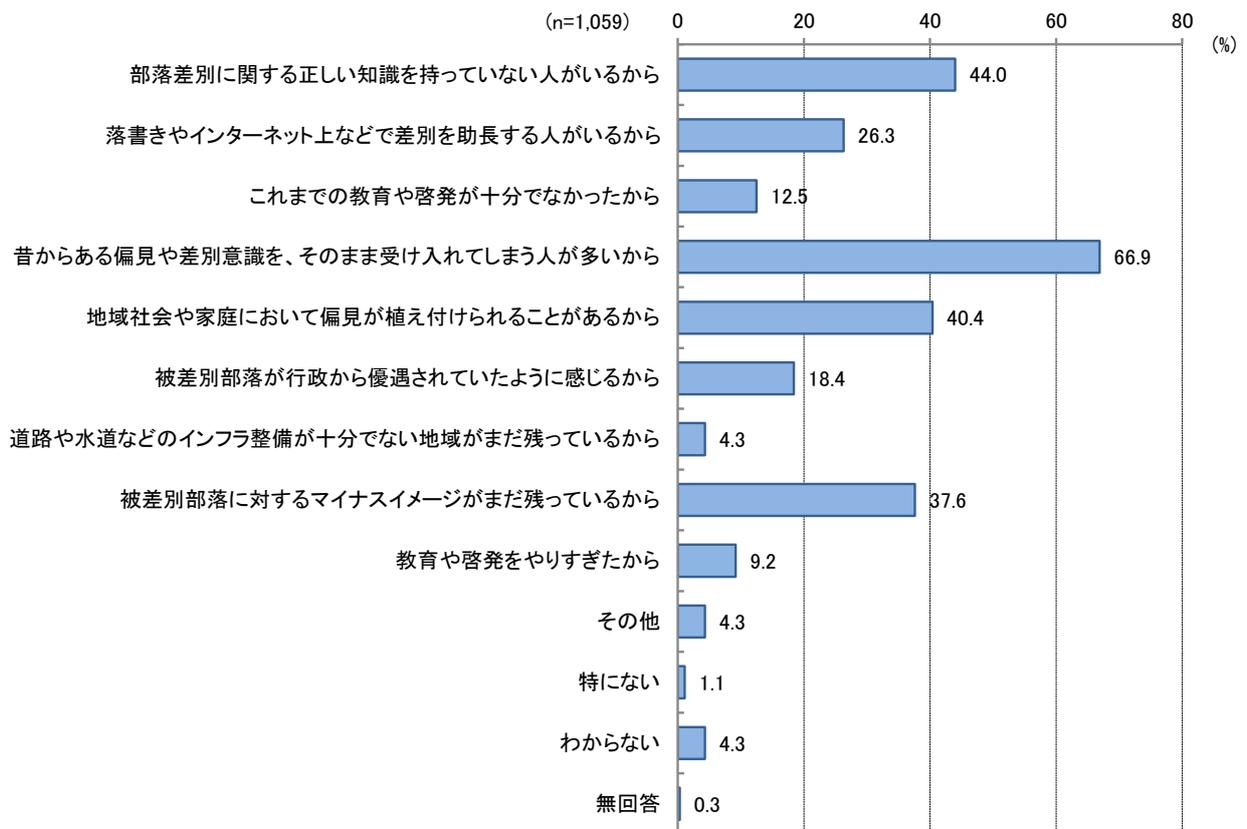
学区別でみると、「部落差別はいまだにあると思う」割合は、いずれの学区も7割台となっています。



(5) 部落差別が残っている原因

問5 (4) ((3)で「1. 部落差別はいまだにあると思う」とお答えになった方におたずねします。) 現在でも部落差別が残っているとすれば、その原因はどこにあると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

現在も部落差別が残っている原因は、「昔からある偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから」が66.9%と最も多く、次いで「部落差別に関する正しい知識を持っていない人がいるから」が44.0%、「地域社会や家庭において偏見が植え付けられることがあるから」が40.4%となっています。



【年齢別】 【学区別】

年齢別でみると、いずれの年齢も「昔からある偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから」が最も多くなっています。“18歳～19歳”では、「落書きやインターネット上などで差別を助長する人がいるから」と「地域社会や家庭において偏見が植え付けられることがあるから」も多くなっています。

学区別でみると、いずれの学区も「昔からある偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから」が最も多くなっています。

(%)

		調査数（n）	部 落 差 別 に 関 する 正 し い 知 識	を 持 つ て い な い 人 が い る か ら											
年齢別	18歳～19歳	6	16.7	50.0	0.0	50.0	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
	20歳～29歳	89	30.3	25.8	10.1	65.2	41.6	7.9	7.9	25.8	5.6	3.4	1.1	9.0	1.1
	30歳～39歳	113	37.2	33.6	20.4	69.0	54.9	8.8	11.5	41.6	7.1	5.3	0.0	2.7	0.0
	40歳～49歳	176	44.9	23.3	10.2	62.5	41.5	18.2	4.0	37.5	11.4	5.7	1.7	4.0	0.0
	50歳～59歳	252	47.2	30.6	12.7	70.2	46.0	19.0	2.8	42.5	9.1	6.3	0.4	2.0	0.0
	60歳～69歳	189	42.9	25.9	13.2	64.6	36.0	19.6	2.1	39.2	8.5	2.1	1.6	5.8	0.0
	70歳以上	231	49.8	20.3	10.8	68.8	29.9	26.0	3.5	34.2	10.8	3.0	1.7	4.8	0.9
学区別	金勝	96	50.0	28.1	13.5	66.7	44.8	22.9	3.1	33.3	9.4	4.2	0.0	8.3	0.0
	葉山	110	39.1	31.8	14.5	67.3	39.1	17.3	4.5	37.3	9.1	3.6	2.7	1.8	0.0
	葉山東	119	44.5	24.4	9.2	67.2	37.0	14.3	4.2	38.7	5.0	1.7	2.5	4.2	0.0
	治田	154	50.6	23.4	15.6	64.3	41.6	16.9	3.9	42.2	8.4	7.8	1.3	3.2	0.6
	治田東	117	49.6	25.6	15.4	70.9	47.0	18.8	5.1	39.3	9.4	3.4	0.0	6.8	0.9
	治田西	125	38.4	28.0	12.8	70.4	44.0	11.2	3.2	36.0	8.8	4.0	0.0	4.8	0.0
	大宝	170	43.5	27.1	11.2	68.8	38.2	24.1	4.7	41.2	10.0	3.5	1.8	4.1	0.0
	大宝西	69	37.7	21.7	5.8	60.9	36.2	30.4	2.9	36.2	13.0	5.8	1.4	1.4	0.0
大宝東	78	35.9	29.5	7.7	64.1	37.2	15.4	7.7	29.5	12.8	5.1	0.0	2.6	0.0	

4. さまざまな人権問題について

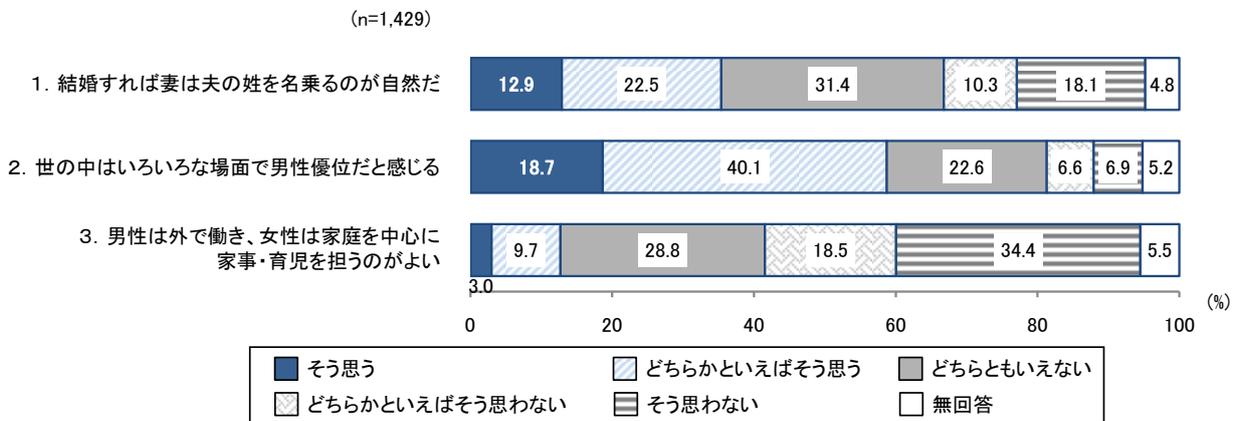
(1) 人権の尊重や侵害に関する意識

問6 人権の尊重や侵害については、人によってさまざまな意見があります。あなたはどのよう
に思われますか。(それぞれ1つだけに○)

■女性に関わる問題

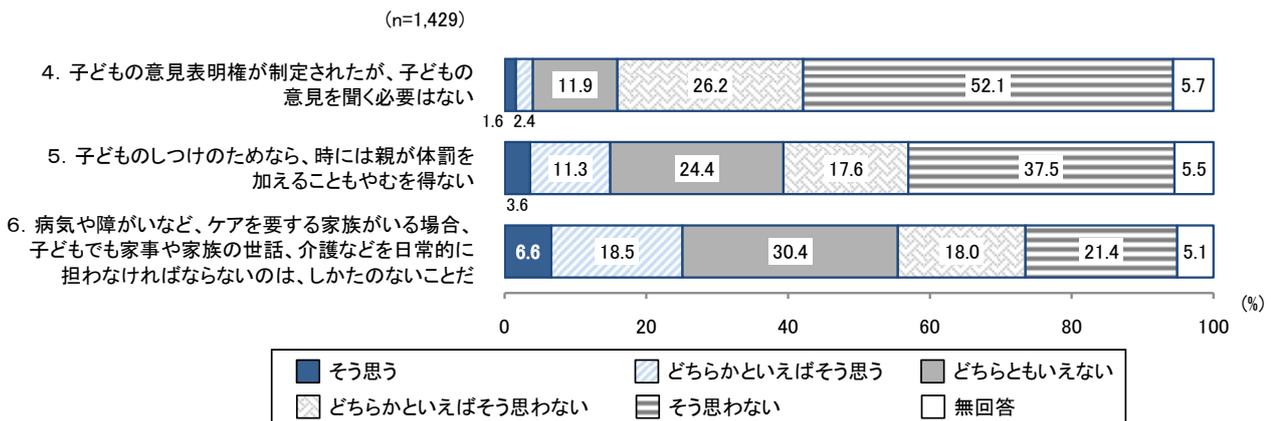
女性に関わる問題について、『そう思わない』より『そう思う』割合のほうが高いのは、[1. 結婚すれば妻は夫の姓を名乗るのが自然だ] (35.4%)、[2. 世の中はいろいろな場面で男性優位だと感じる] (58.8%) となっています。

[3. 男性は外で働き、女性は家庭を中心に家事・育児を担うのがよい] は、『そう思わない』のほうが高く 52.9% となっています。



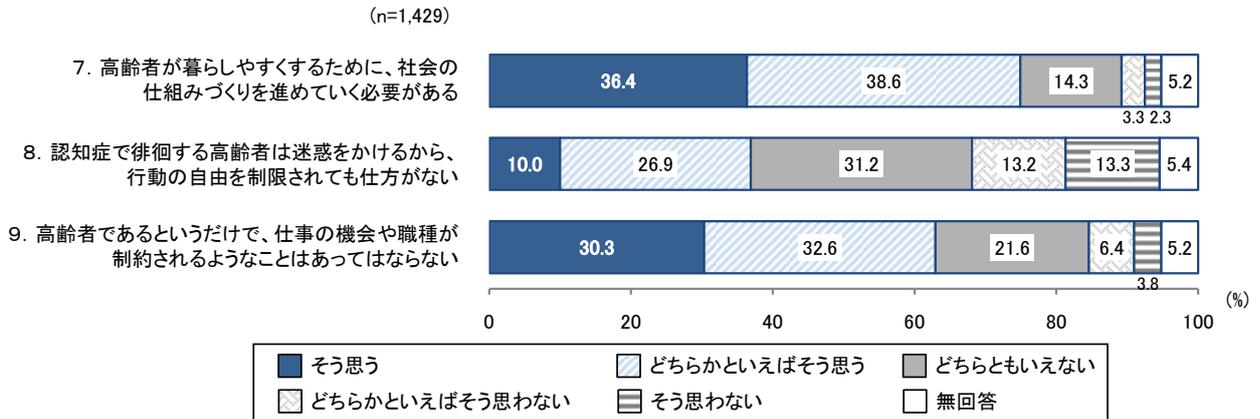
■子どもに関わる問題

子どもに関わる問題については、いずれの項目も『そう思わない』割合のほうが高く、[4. 子どもの意見表明権が制定されたが、子どもの意見を聞く必要はない] が 78.3%、[5. 子どものしつけのためなら、時には親が体罰を加えることもやむを得ない] が 55.1%、[6. 病気や障がいなど、ケアを要する家族がいる場合、子どもでも家事や家族の世話、介護などを日常的に担わなければならないのは、しかたのないことだ] が 39.4% となっています。



■高齢者に関わる問題

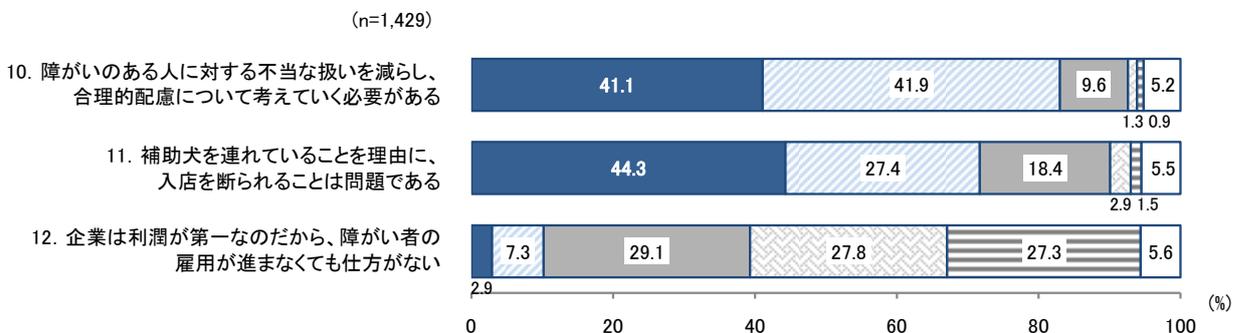
高齢者に関わる問題については、いずれの項目も『そう思う』割合のほうが高く、[7. 高齢者が暮らしやすくするために、社会の仕組みづくりを進めていく必要がある]が75.0%、[8. 認知症で徘徊する高齢者は迷惑をかけるから、行動の自由を制限されても仕方がない]が36.9%、[9. 高齢者であるというだけで、仕事の機会や職種が制約されるようなことはあってはならない]が62.9%となっています。



■障がいのある人に関わる問題

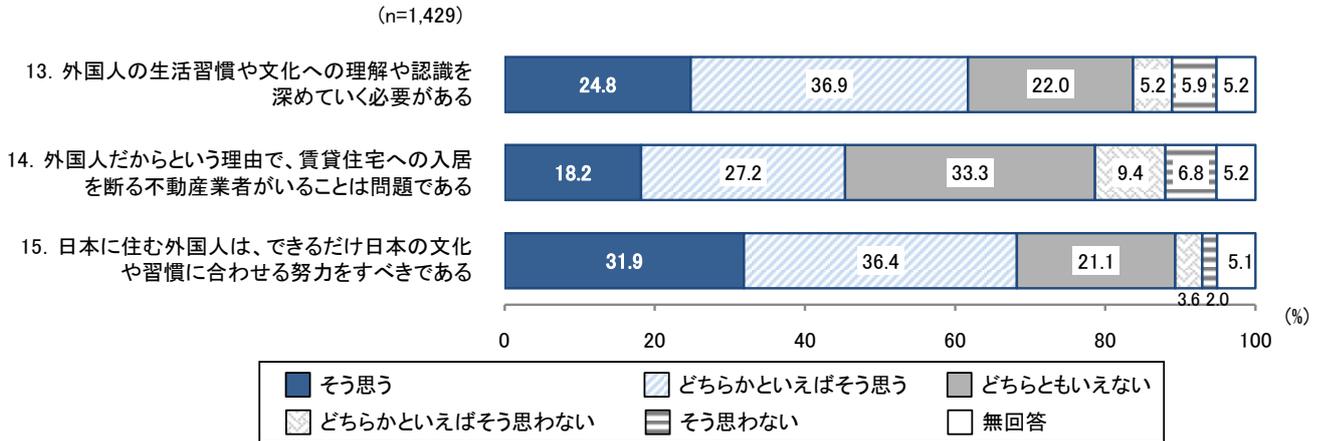
障がいのある人に関わる問題について、『そう思わない』より『そう思う』割合のほうが高いのは、[10. 障がいのある人に対する不当な扱いを減らし、合理的配慮について考えていく必要がある] (83.0%)、[11. 補助犬を連れていくことを理由に、入店を断られることは問題である] (71.7%) となっています。

[12. 企業は利潤が第一なのだから、障がい者の雇用が進まなくても仕方がない]は『そう思わない』のほうが高く55.1%となっています。



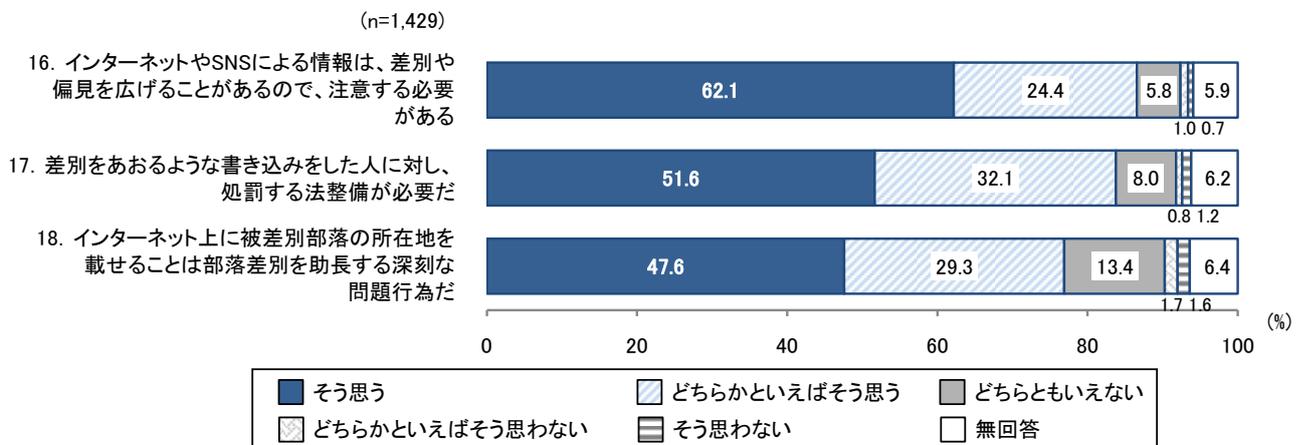
■外国人に関わる問題

外国人に関わる問題については、いずれの項目も『そう思う』割合のほうが高く、[13. 外国人の生活習慣や文化への理解や認識を深めていく必要がある]が61.7%、[14. 外国人だからという理由で、賃貸住宅への入居を断る不動産業者がいることは問題である]が45.4%、[15. 日本に住む外国人は、できるだけ日本の文化や習慣に合わせる努力をすべきである]が68.3%となっています。



■インターネットに関わる問題

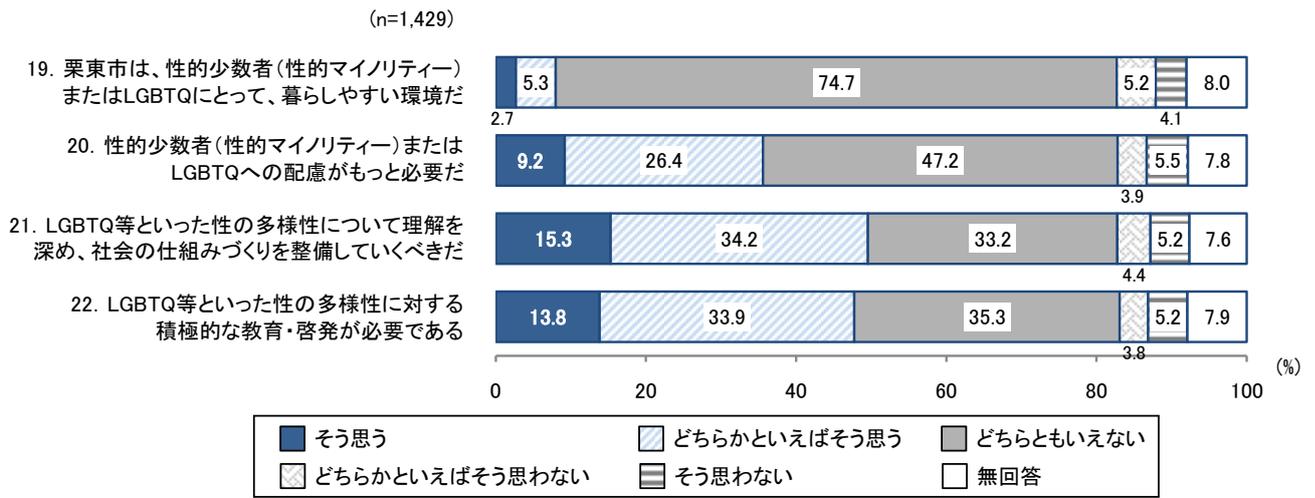
インターネットに関わる問題については、いずれの項目も『そう思う』割合のほうが高く、[16. インターネットやSNSによる情報は、差別や偏見を広げることがあるので、注意する必要がある]が86.5%、[17. 差別をあおるような書き込みをした人に対し、処罰する法整備が必要だ]が83.7%、[18. インターネット上に被差別部落の所在地を載せることは部落差別を助長する深刻な問題行為だ]が76.9%となっています。



■性的少数者(性的マイノリティー)に関わる問題

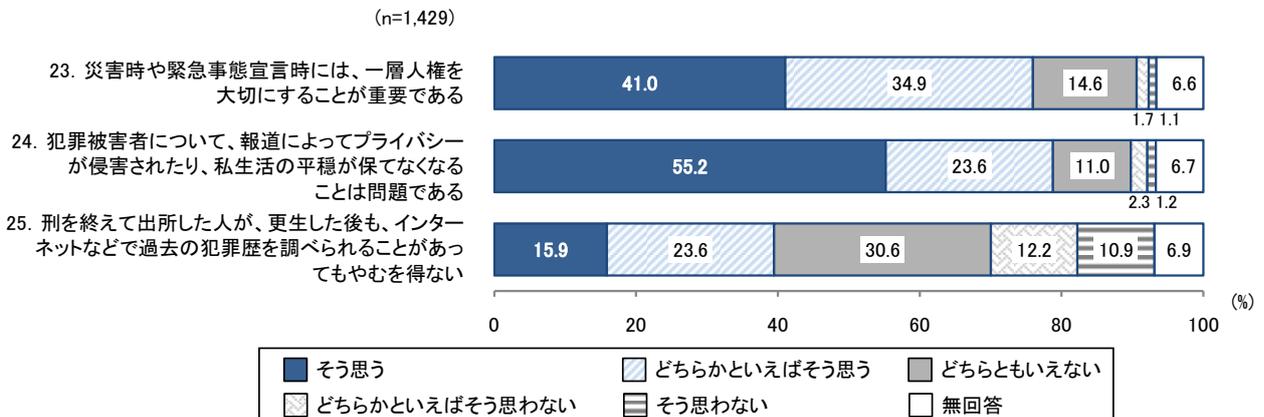
性的少数者(性的マイノリティー)に関わる問題について、『そう思わない』より『そう思う』割合のほうが高いのは、[20. 性的少数者(性的マイノリティー)またはLGBTQへの配慮がもっと必要だ]が35.6%、[21. LGBTQ等といった性の多様性について理解を深め、社会の仕組みづくりを整備していくべきだ]が49.5%、[22. LGBTQ等といった性の多様性に対する積極的な教育・啓発が必要である]が47.7%となっています。

[19. 栗東市は、性的少数者(性的マイノリティー)またはLGBTQにとって、暮らしやすい環境だ]は、『そう思う』が8.0%、『そう思わない』が9.3%となっています。



■その他の人権に関する問題

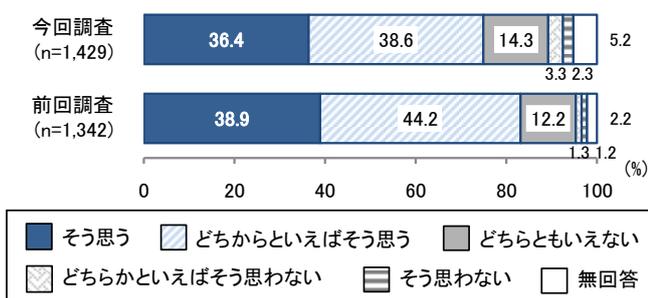
その他の人権に関する問題については、いずれの項目も『そう思う』のほうが高く、[23. 災害時や緊急事態宣言時には、一層人権を大切にすることが重要である]が75.9%、[24. 犯罪被害者について、報道によってプライバシーが侵害されたり、私生活の平穏が保てなくなることは問題である]が78.8%、[25. 刑を終えて出所した人が、更生した後も、インターネットなどで過去の犯罪歴を調べられることがあってもやむを得ない]が39.5%となっています。



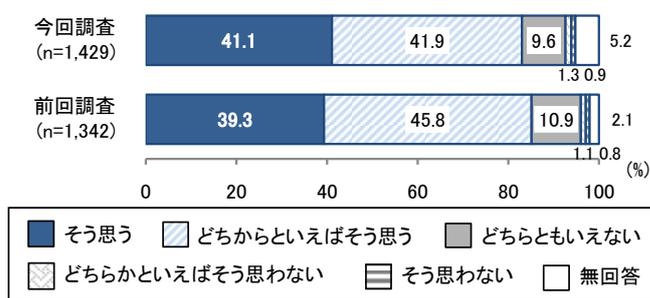
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、『そう思う』割合は、[7. 高齢者が暮らしやすくするために、社会の仕組みづくりを進めていく必要がある]で8.1ポイント、[13. 外国人の生活習慣や文化への理解や認識を深めていく必要がある]で8.1ポイント、[21. LGBTQ等といった性の多様性について理解を深め、社会の仕組みづくりを整備していくべきだ]で16.5ポイント、それぞれ減少しています。それ以外の項目は、前回調査と傾向は大きく変わっていません。

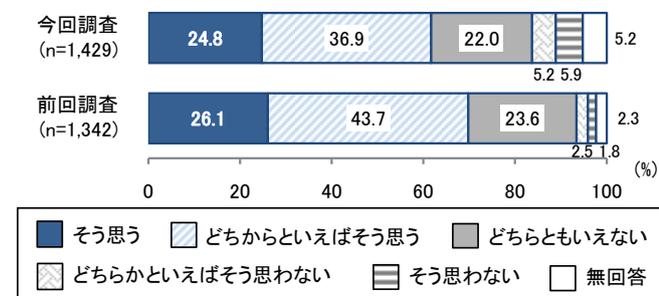
7. 高齢者が暮らしやすくするために、社会の仕組みづくりを進めていく必要がある



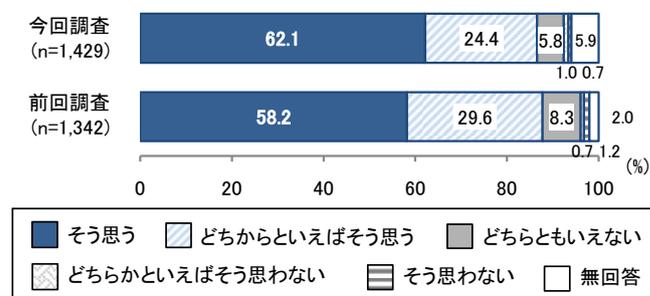
10. 障がいのある人に対する不当な扱いを減らし、合理的配慮について考えていく必要がある



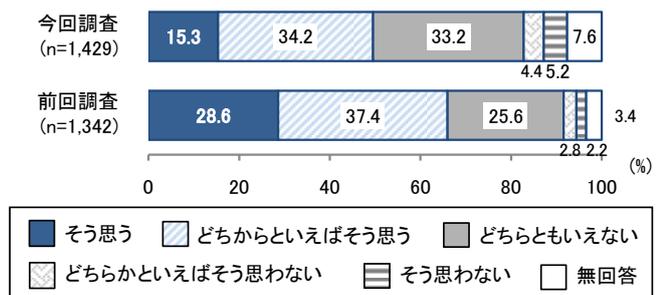
13. 外国人の生活習慣や文化への理解や認識を深めていく必要がある



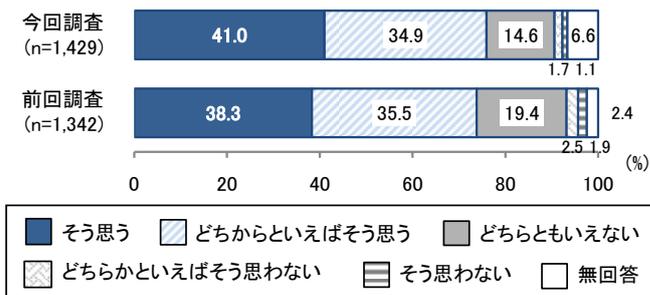
16. インターネットや SNS による情報は、差別や偏見を広げることがあるので、注意する必要がある



21. LGBTQ 等といった性の多様性について理解を深め、社会の仕組みづくりを整備していくべきだ



23. 災害時や緊急事態宣言時には、一層人権を大切にすることが重要である



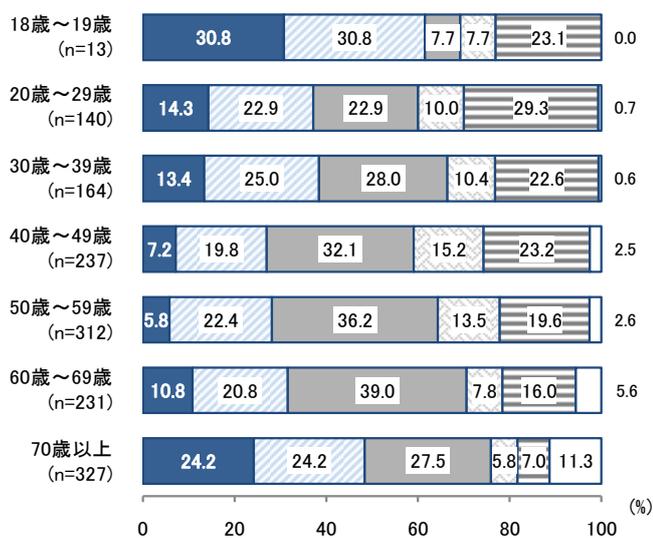
【上記以外の問6の1～6、8、9、11、12、14、15、17～20、22、24、25には前回調査はありません。】

【年齢別】

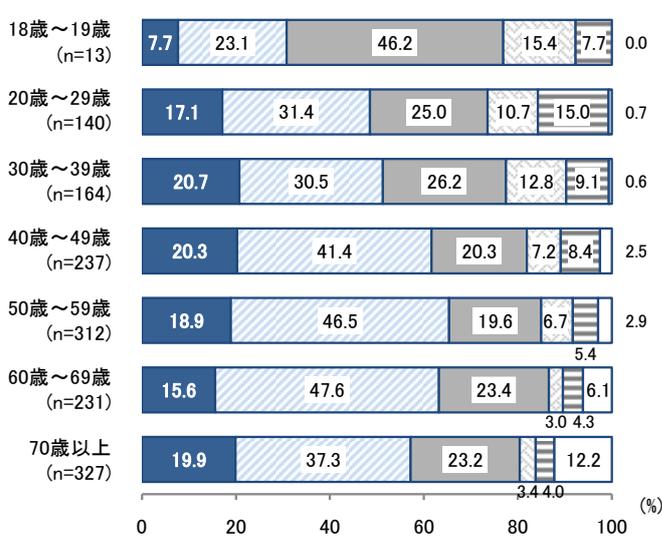
■女性に関わる問題(年齢別)

[1. 結婚すれば妻は夫の姓を名乗るのが自然だ]では、『そう思う』は“18歳～19歳”で61.6%、“70歳以上”で48.4%となっています。[2. 世の中はいろいろな場面で男性優位だと感じる]の『そう思う』は、“50歳～59歳”で65.4%、“60歳～69歳”で63.2%となっています。[3. 男性は外で働き、女性は家庭を中心に家事・育児を担うのがよい]の『そう思わない』割合は、“18歳～29歳”で61.5%と最も高く、“70歳以上”(39.8%)と21.7ポイントの差となっています。

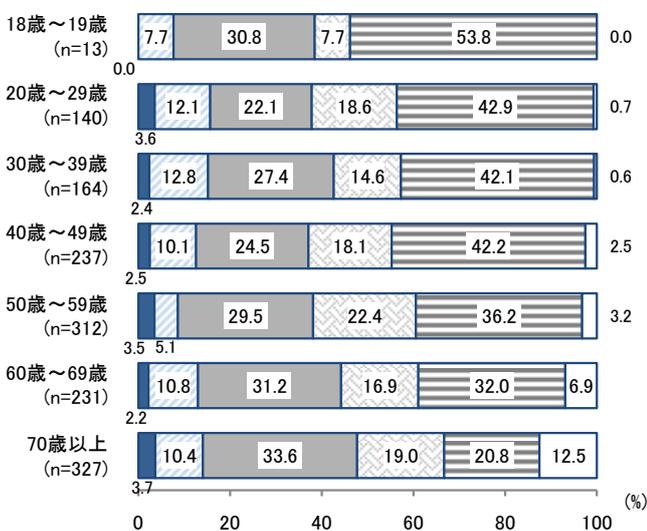
1. 結婚すれば妻は夫の姓を名乗るのが自然だ



2. 世の中はいろいろな場面で男性優位だと感じる



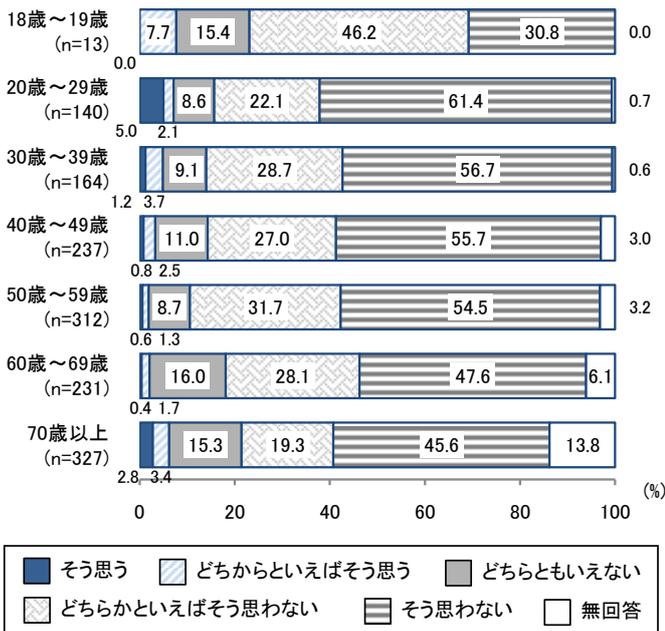
3. 男性は外で働き、女性は家庭を中心に家事・育児を担うのがよい



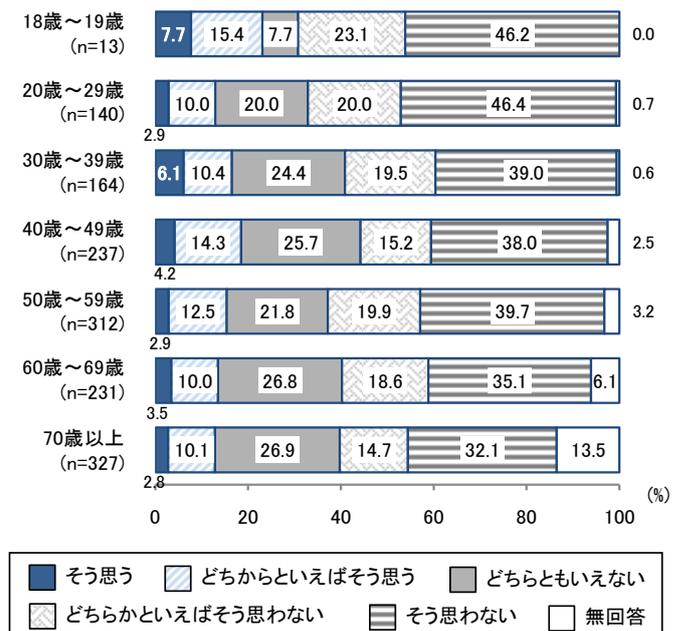
■子どもに関わる問題(年齢別)

[4. 子どもの意見表明権が制定されたが、子どもの意見を聞く必要はない]と[5. 子どものしつけのためなら、時には親が体罰を加えることもやむを得ない]は、いずれの年齢も『そう思う』より『そう思わない』割合のほうが高くなっています。[6. 病気や障がいなど、ケアを要する家族がいる場合、子どもでも家事や家族の世話、介護などを日常的に担わなければならないのは、しかたのないことだ]は、“18歳～19歳”と“70歳以上”では『そう思う』のほうが高く、それ以外の年齢では『そう思わない』のほうが高くなっています。

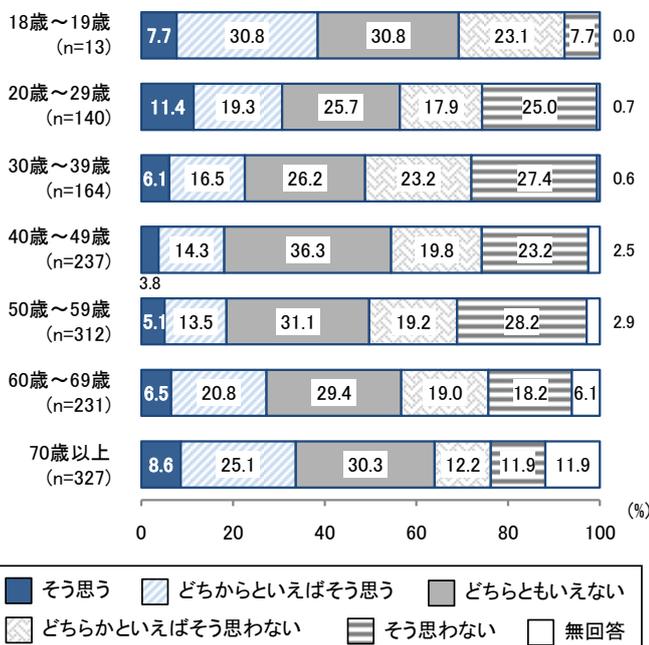
4. 子どもの意見表明権が制定されたが、子どもの意見を聞く必要はない



5. 子どものしつけのためなら、時には親が体罰を加えることもやむを得ない



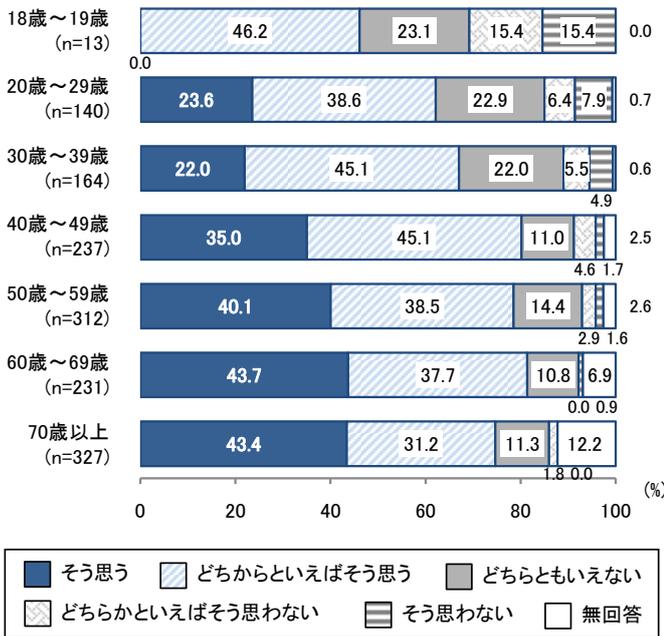
6. 病気や障がいなど、ケアを要する家族がいる場合、子どもでも家事や家族の世話、介護などを日常的に担わなければならないのは、しかたのないことだ



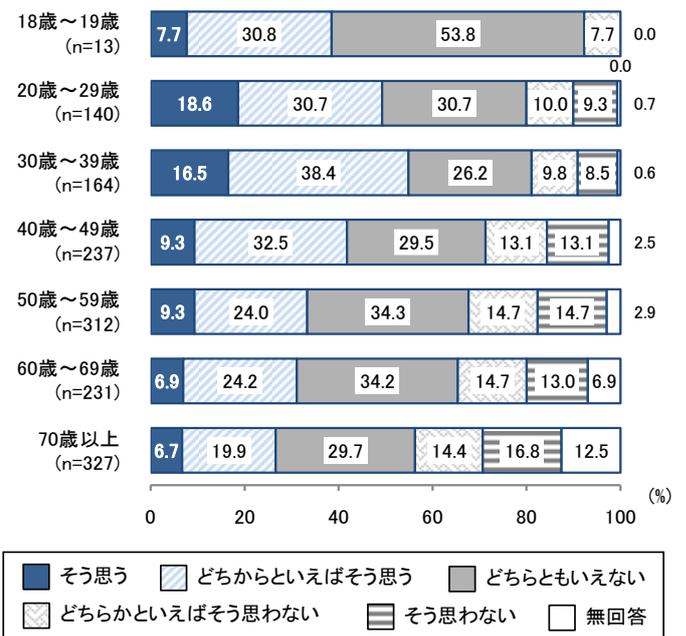
■高齢者に関する問題(年齢別)

[7. 高齢者が暮らしやすくするために、社会の仕組みづくりを進めていく必要がある] の『そう思う』割合は、“60歳～69歳”で81.4%と最も高くなっています。[8. 認知症で徘徊する高齢者は迷惑をかけるから、行動の自由を制限されても仕方がない] は、“70歳以上”では『そう思う』より『そう思わない』割合のほうが高くなっています。[9. 高齢者であるというだけで、仕事の機会や職種が制約されるようなことはあってはならない] の『そう思う』割合は、“50歳～59歳”で69.2%と最も高くなっています。

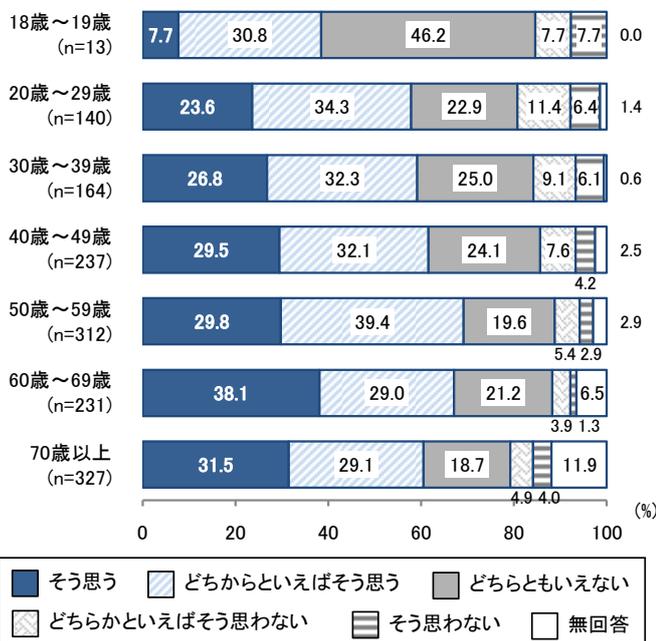
7. 高齢者が暮らしやすくするために、社会の仕組みづくりを進めていく必要がある



8. 認知症で徘徊する高齢者は迷惑をかけるから、行動の自由を制限されても仕方がない



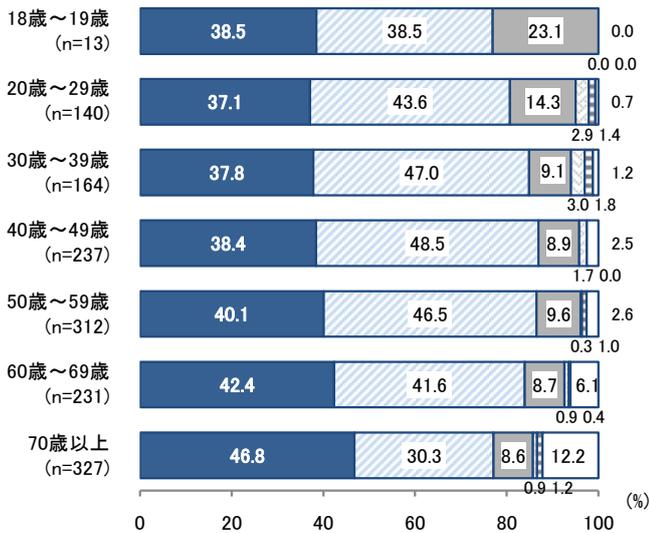
9. 高齢者であるというだけで、仕事の機会や職種が制約されるようなことはあってはならない



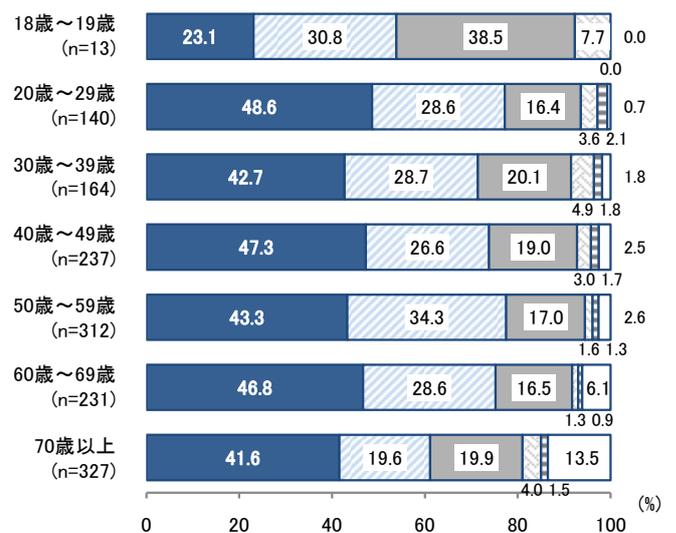
■障がいのある人に関わる問題(年齢別)

[10. 障がいのある人に対する不当な扱いを減らし、合理的配慮について考えていく必要がある]は、いずれの年齢も『そう思う』が7割以上となっています。[11. 補助犬を連れていくことを理由に、入店を断られることは問題である]の『そう思う』は、20歳～69歳で7割台となっています。[12. 企業は利潤が第一なのだから、障がい者の雇用が進まなくても仕方がない]は、いずれの年齢も『そう思う』より『そう思わない』割合のほうが高くなっています。

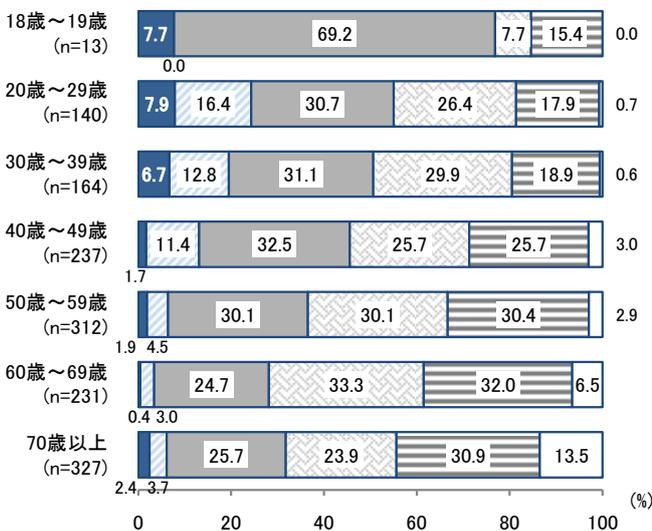
10. 障がいのある人に対する不当な扱いを減らし、合理的配慮について考えていく必要がある



11. 補助犬を連れていくことを理由に、入店を断られることは問題である



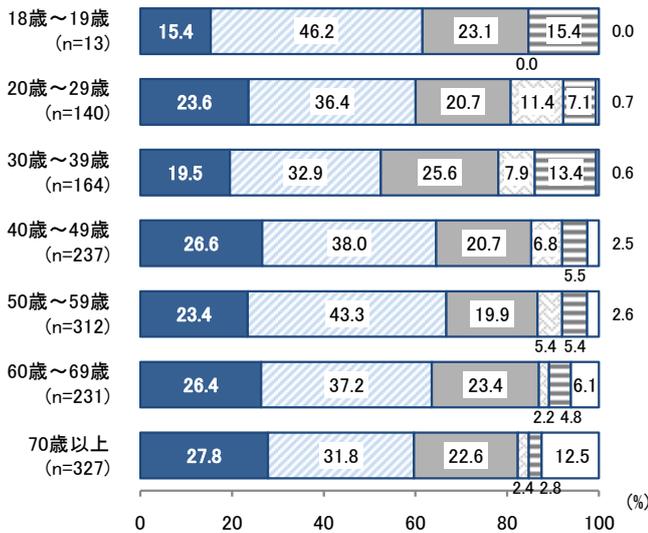
12. 企業は利潤が第一なのだから、障がい者の雇用が進まなくても仕方がない



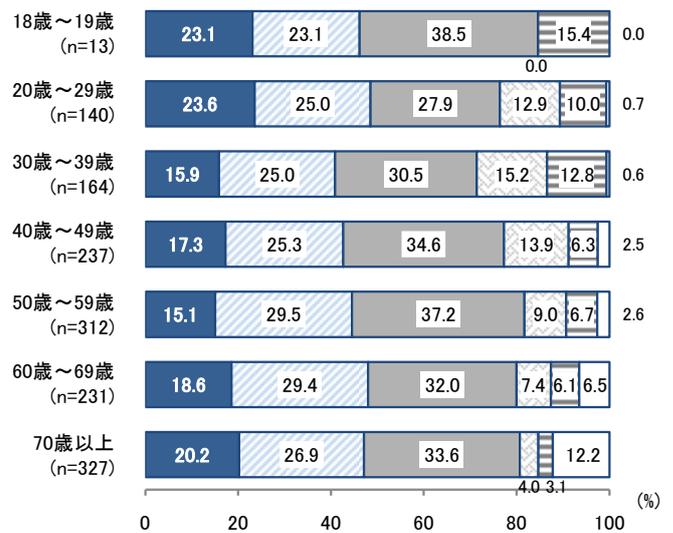
■外国人に関わる問題(年齢別)

[13. 外国人の生活習慣や文化への理解や認識を深めていく必要がある]は、いずれの年齢も『そう思う』が5～6割台となっています。[14. 外国人だからという理由で、賃貸住宅への入居を断る不動産業者がいることは問題である]は、いずれの年齢も『そう思う』が4割台となっています。[15. 日本に住む外国人は、できるだけ日本の文化や習慣に合わせる努力をすべきである]の『そう思う』割合は、高齢者より若い世代のほうが高い傾向となっています。

13. 外国人の生活習慣や文化への理解や認識を深めていく必要がある



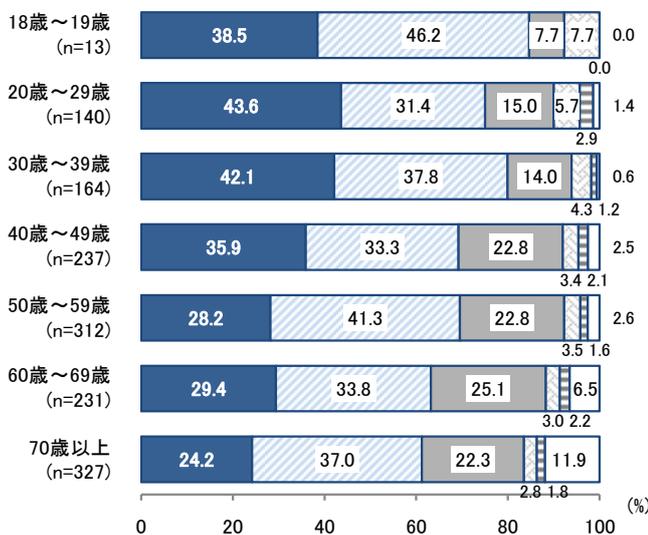
14. 外国人だからという理由で、賃貸住宅への入居を断る不動産業者がいることは問題である



■ そう思う □ どちらからといえばそう思う ■ どちらともいえない
 ▨ どちらかからといえばそう思わない ▩ そう思わない □ 無回答

■ そう思う □ どちらからといえばそう思う ■ どちらともいえない
 ▨ どちらかからといえばそう思わない ▩ そう思わない □ 無回答

15. 日本に住む外国人は、できるだけ日本の文化や習慣に合わせる努力をすべきである

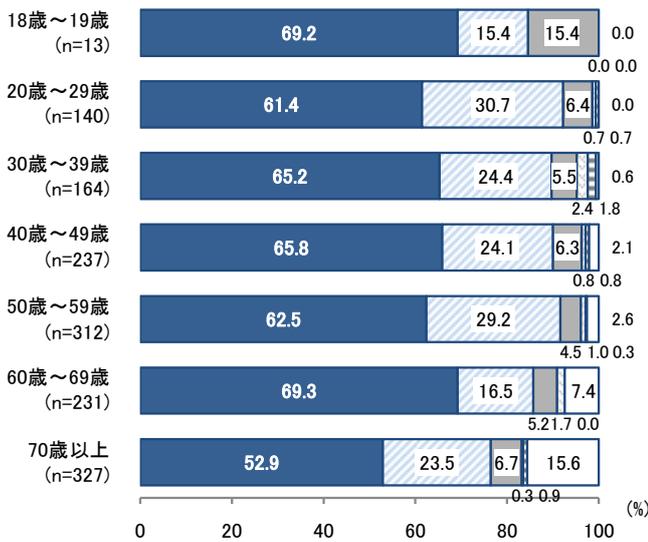


■ そう思う □ どちらからといえばそう思う ■ どちらともいえない
 ▨ どちらかからといえばそう思わない ▩ そう思わない □ 無回答

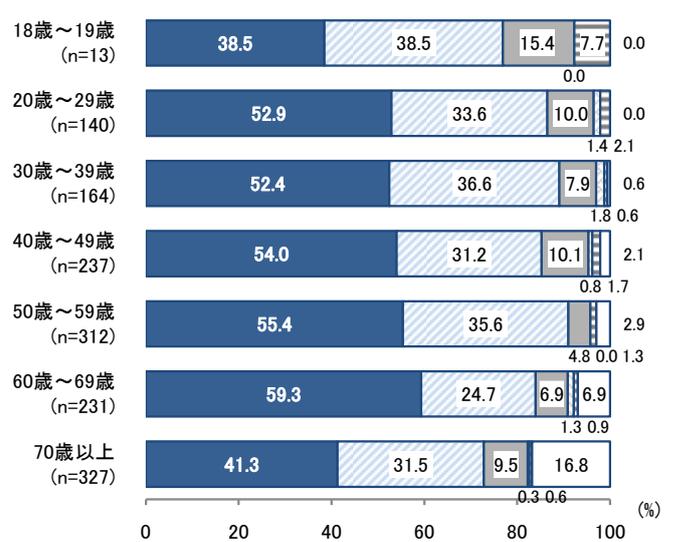
■インターネットに関わる問題(年齢別)

[16. インターネットやSNSによる情報は、差別や偏見を広げることがあるので、注意する必要がある]の『そう思う』割合は、“20歳～29歳”で92.1%と最も高くなっています。[17. 差別をあおるような書き込みをした人に対し、処罰する法整備が必要だ]の『そう思う』割合は、“50歳～59歳”で91.0%と最も高くなっています。[18. インターネット上に被差別部落の所在地を載せることは部落差別を助長する深刻な問題行為だ]の『そう思う』割合は、“60歳～69歳”で81.8%と最も高くなっています。

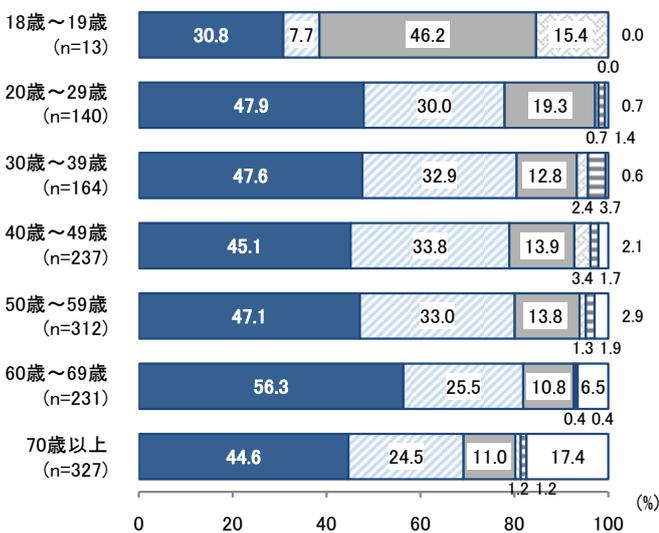
16. インターネットや SNS による情報は、差別や偏見を広げることがあるので、注意する必要がある



17. 差別をあおるような書き込みをした人に対し、処罰する法整備が必要だ



18. インターネット上に被差別部落の所在地を載せることは部落差別を助長する深刻な問題行為だ



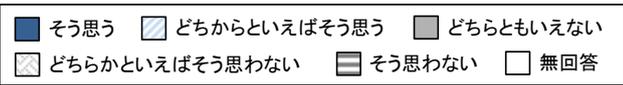
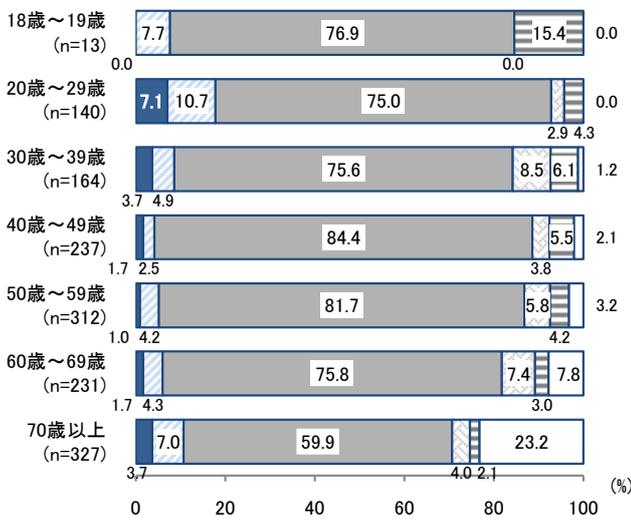
■性的少数者(性的マイノリティー)に関わる問題(年齢別)

[19. 栗東市は、性的少数者(性的マイノリティー)またはLGBTQにとって、暮らしやすい環境だ]は、“20歳～29歳”と“70歳以上”では『そう思わない』より『そう思う』割合のほうが高くなっています。[20. 性的少数者(性的マイノリティー)またはLGBTQへの配慮がもっと必要だ]の『そう思う』割合は、“18歳～29歳”で4割台と他の年代より高くなっています。

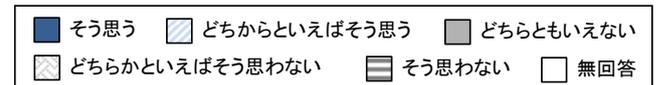
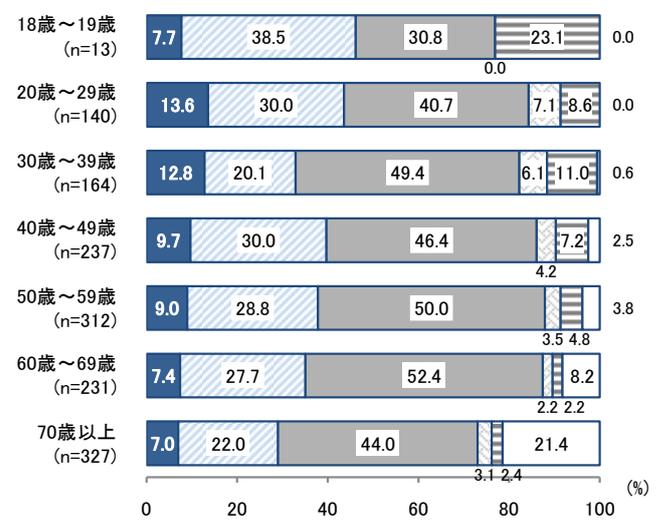
[21. LGBTQ等といった性の多様性について理解を深め、社会の仕組みづくりを整備していくべきだ]の『そう思う』は、“18歳～29歳”と“40歳～69歳”で5～6割台となっています。

[22. LGBTQ等といった性の多様性に対する積極的な教育・啓発が必要である]の『そう思う』割合は、“18歳～49歳”と“60歳～69歳”で5～6割台となっています。

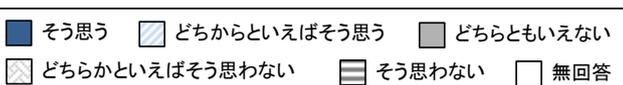
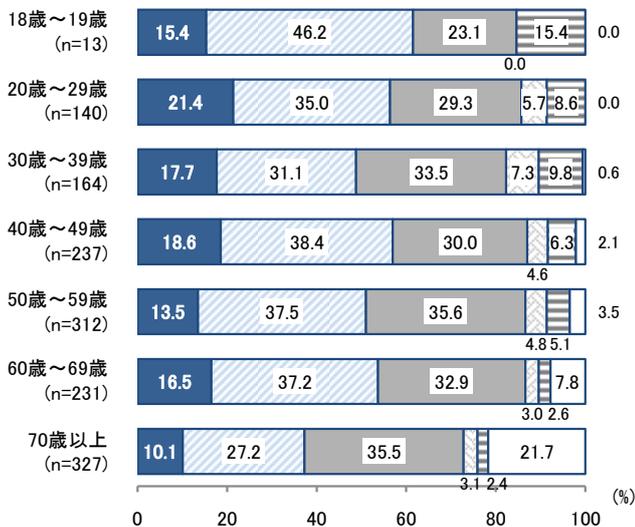
19. 栗東市は、性的少数者(性的マイノリティー)またはLGBTQにとって、暮らしやすい環境だ



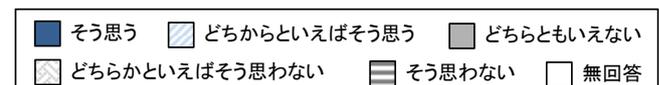
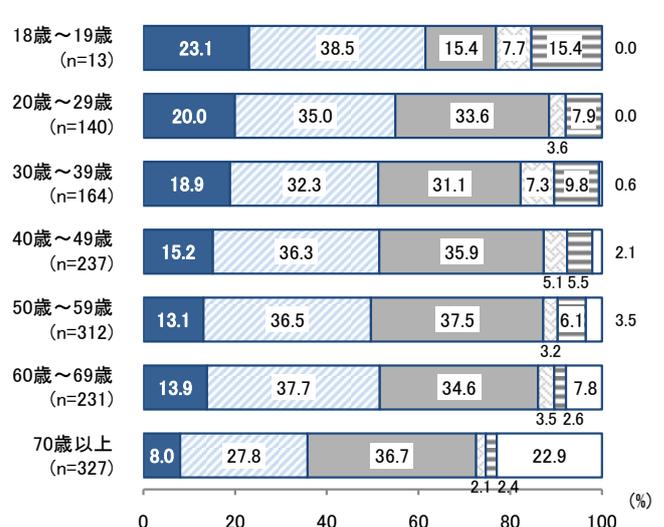
20. 性的少数者(性的マイノリティー)またはLGBTQへの配慮がもっと必要だ



21. LGBTQ等といった性の多様性について理解を深め、社会の仕組みづくりを整備していくべきだ



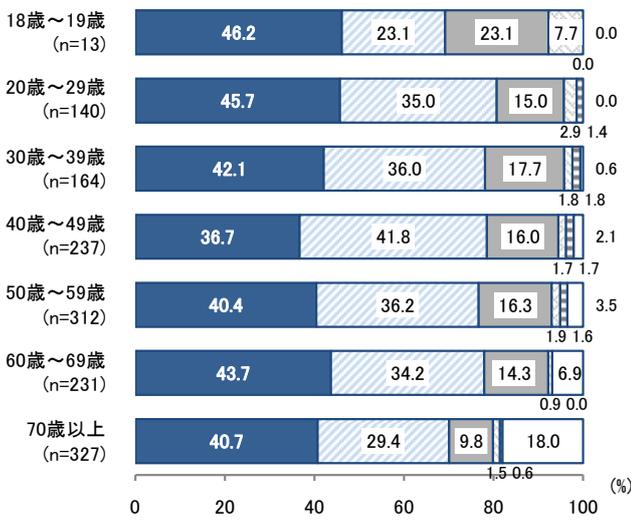
22. LGBTQ等といった性の多様性に対する積極的な教育・啓発が必要である



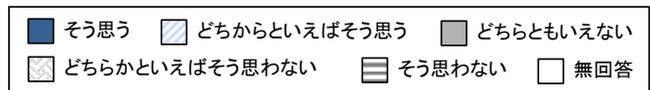
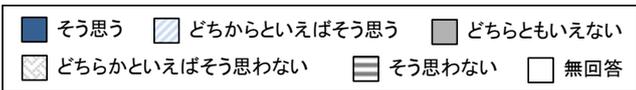
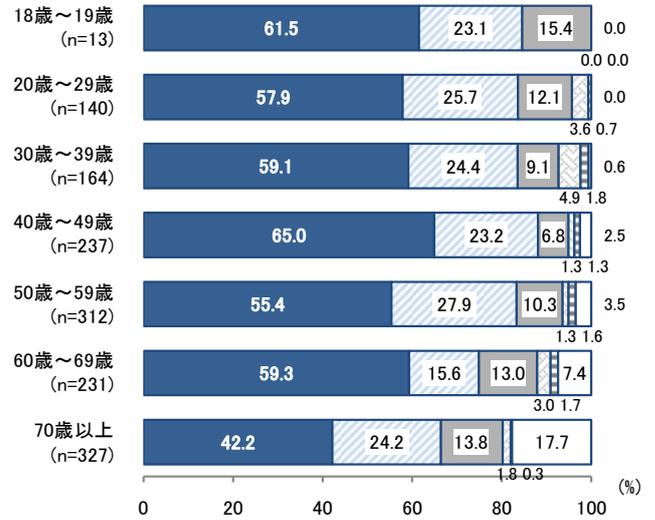
■その他の人権に関する問題(年齢別)

[23. 災害時や緊急事態宣言時には、一層人権を大切にすることが重要である] の『そう思う』割合は、“20歳～29歳”で80.7%と最も高くなっています。[24. 犯罪被害者について、報道によってプライバシーが侵害されたり、私生活の平穏が保てなくなることは問題である] の『そう思う』割合は、“40歳～49歳”で88.2%と最も高く、“70歳以上”(66.4%)と21.8ポイントの差となっています。[25. 刑を終えて出所した人が、更生した後も、インターネットなどで過去の犯罪歴を調べられることがあってもやむを得ない] の『そう思う』割合は、20歳以上では若い世代ほど高い傾向となっています。

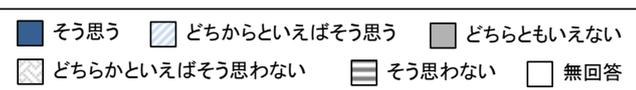
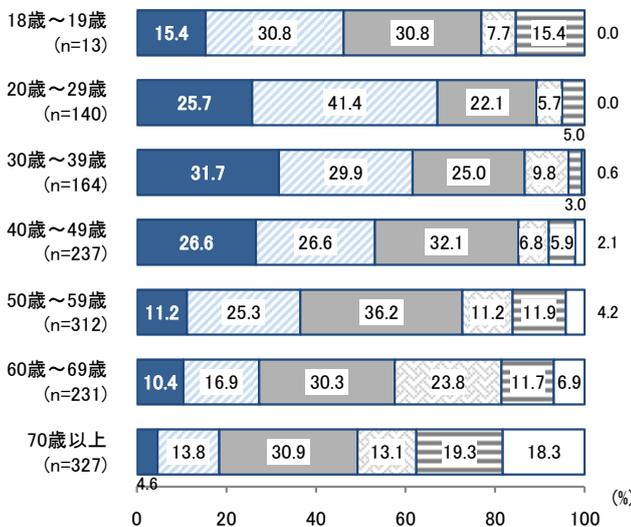
23. 災害時や緊急事態宣言時には、一層人権を大切にすることが重要である



24. 犯罪被害者について、報道によってプライバシーが侵害されたり、私生活の平穏が保てなくなることは問題である



25. 刑を終えて出所した人が、更生した後も、インターネットなどで過去の犯罪歴を調べられることがあってもやむを得ない

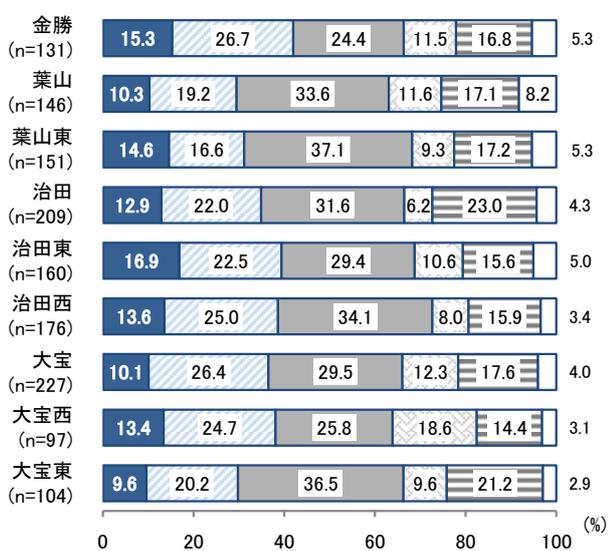


【学区別】

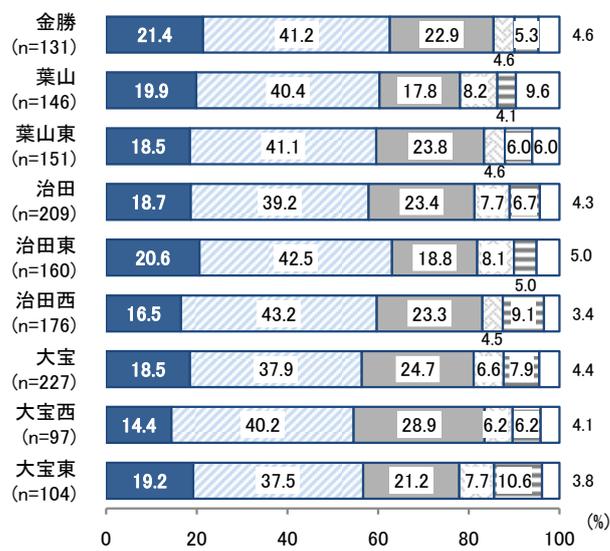
■女性に関わる問題(学区別)

[1. 結婚すれば妻は夫の姓を名乗るのが自然だ]の『そう思う』割合は、“金勝”で42.0%と最も高く、“葉山”(29.5%)とは12.5ポイントの差となっています。[2. 世の中はいろいろな場面で男性優位だと感じる]の『そう思う』割合は、いずれの地域も5~6割台で傾向に大きな違いはありません。[3. 男性は外で働き、女性は家庭を中心に家事・育児を担うのがよい]の『そう思わない』割合は、“大宝東”で63.5%と最も高く、“金勝”(43.5%)と20.0ポイントの差となっています。

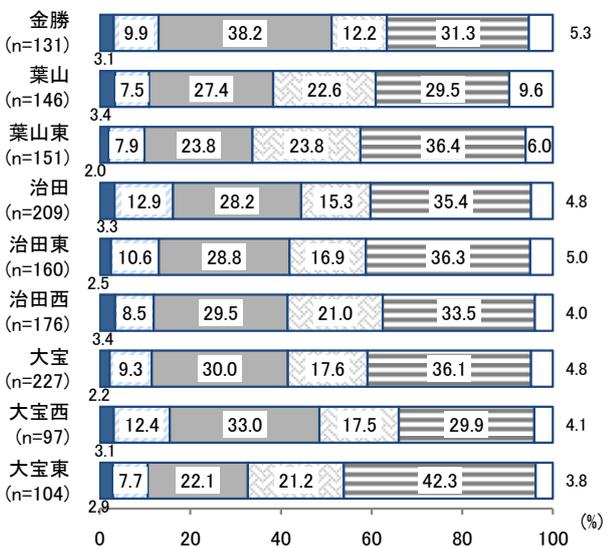
1. 結婚すれば妻は夫の姓を名乗るのが自然だ



2. 世の中はいろいろな場面で男性優位だと感じる



3. 男性は外で働き、女性は家庭を中心に家事・育児を担うのがよい

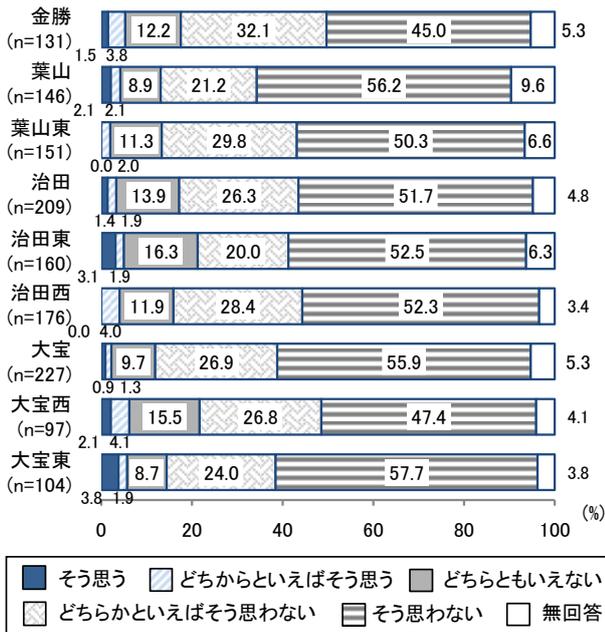


■ そう思う □ どちらからといえばそう思う ■ どちらともいえない
 ▨ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない □ 無回答

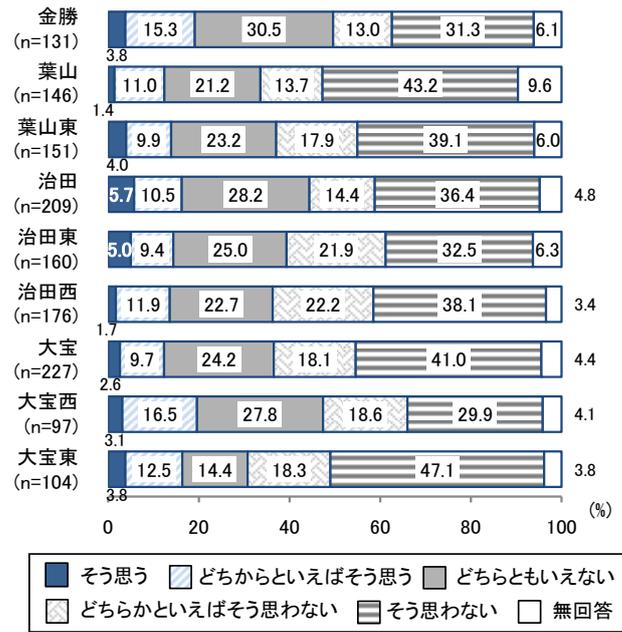
■子どもに関わる問題(学区別)

[4. 子どもの意見表明権が制定されたが、子どもの意見を聞く必要はない]と[6. 病気や障がいなど、ケアを要する家族がいる場合、子どもでも家事や家族の世話、介護などを日常的に担わなければならないのは、しかたのないことだ]は、学区別でみても傾向に大きな違いはありません。[5. 子どものしつけのためなら、時には親が体罰を加えることもやむを得ない]の『そう思わない』割合は、“大宝東”で65.4%と最も高くなっています。

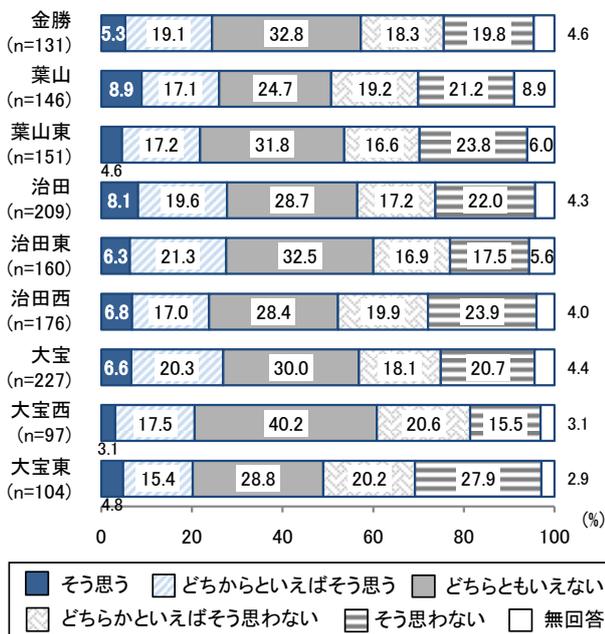
4. 子どもの意見表明権が制定されたが、子どもの意見を聞く必要はない



5. 子どものしつけのためなら、時には親が体罰を加えることもやむを得ない



6. 病気や障がいなど、ケアを要する家族がいる場合、子どもでも家事や家族の世話、介護などを日常的に担わなければならないのは、しかたのないことだ

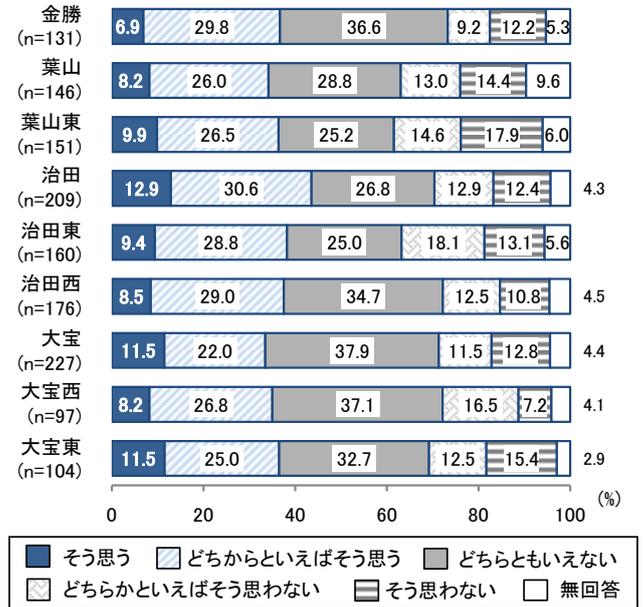
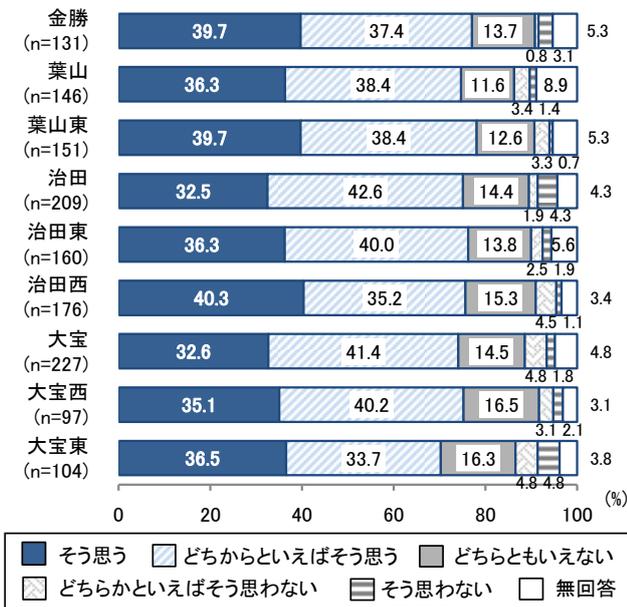


■高齢者に関わる問題(学区別)

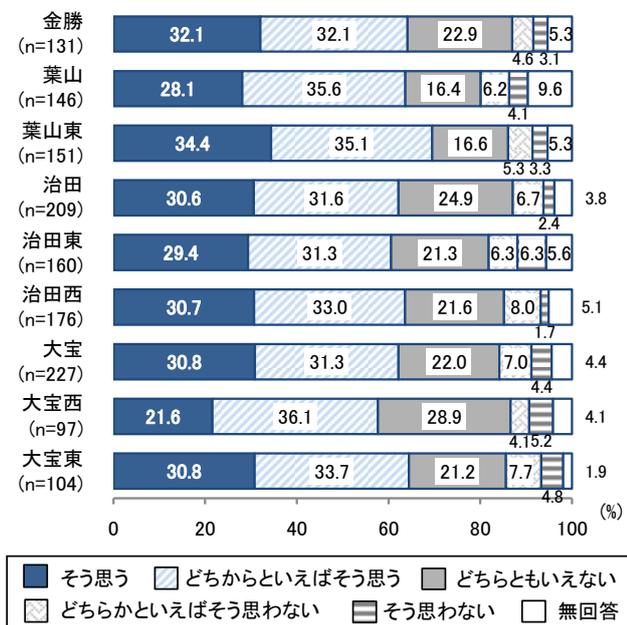
[7. 高齢者が暮らしやすくするために、社会の仕組みづくりを進めていく必要がある]は、学区別にみても傾向に大きな違いはありません。[8. 認知症で徘徊する高齢者は迷惑をかけるから、行動の自由を制限されても仕方がない]の『そう思う』割合は、“治田”で43.5%と最も高くなっています。[9. 高齢者であるというだけで、仕事の機会や職種が制約されるようなことはあってはならない]の『そう思う』割合は、“葉山東”で69.5%と最も高くなっています。

7. 高齢者が暮らしやすくするために、社会の仕組みづくりを進めていく必要がある

8. 認知症で徘徊する高齢者は迷惑をかけるから、行動の自由を制限されても仕方がない



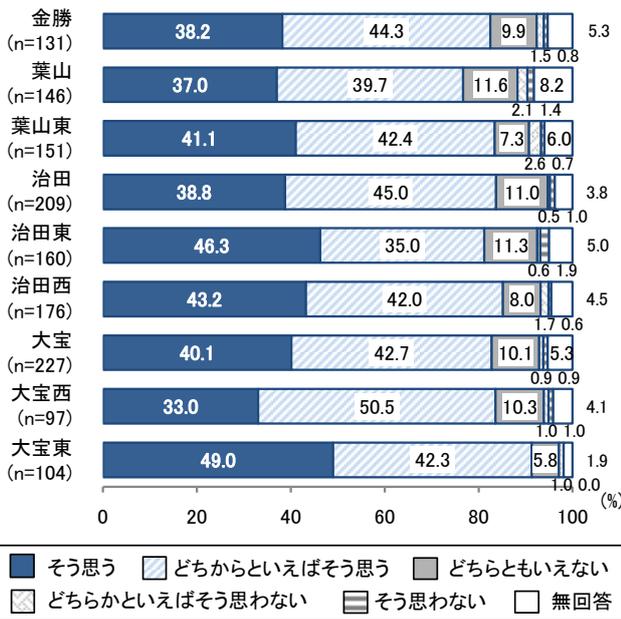
9. 高齢者であるというだけで、仕事の機会や職種が制約されるようなことはあってはならない



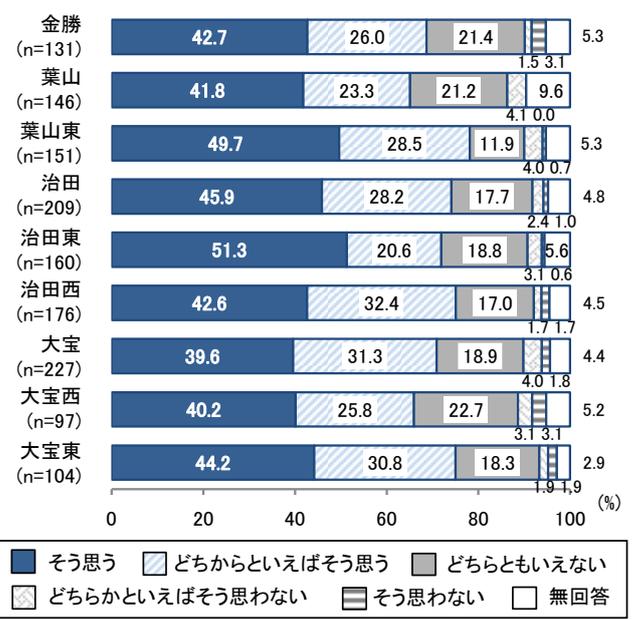
■障がいのある人に関わる問題(学区別)

[10. 障がいのある人に対する不当な扱いを減らし、合理的配慮について考えていく必要がある]の『そう思う』割合は、“大宝東”で91.3%と最も高くなっています。[11. 補助犬を連れていくことを理由に、入店を断られることは問題である]の『そう思う』割合は、“葉山東”で78.2%と最も高くなっています。[12. 企業は利潤が第一なのだから、障がい者の雇用が進まなくても仕方がない]の『そう思う』割合は、“金勝”（13.0%）“治田”（12.9%）で高くなっています。

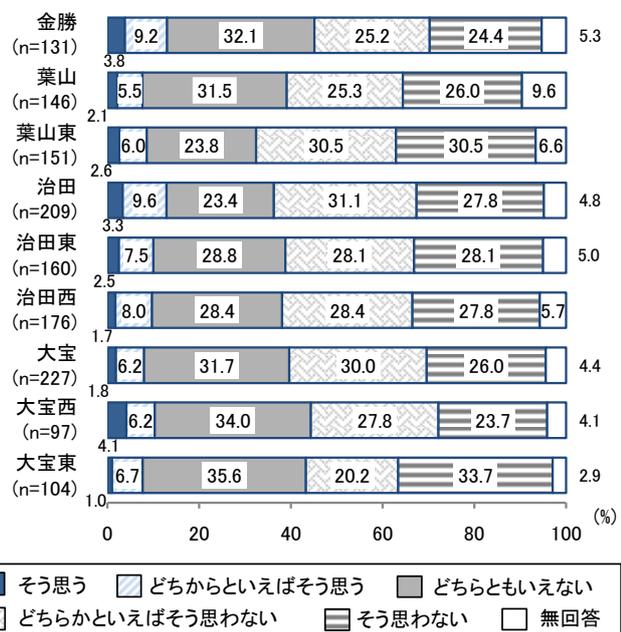
10. 障がいのある人に対する不当な扱いを減らし、合理的配慮について考えていく必要がある



11. 補助犬を連れていくことを理由に、入店を断られることは問題である



12. 企業は利潤が第一なのだから、障がい者の雇用が進まなくても仕方がない

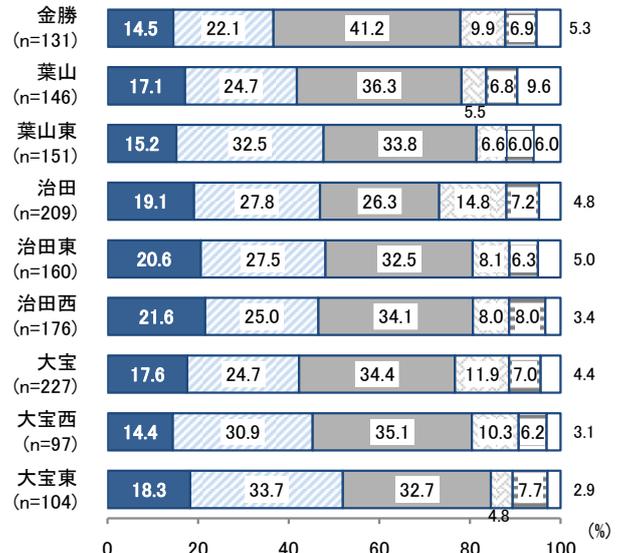
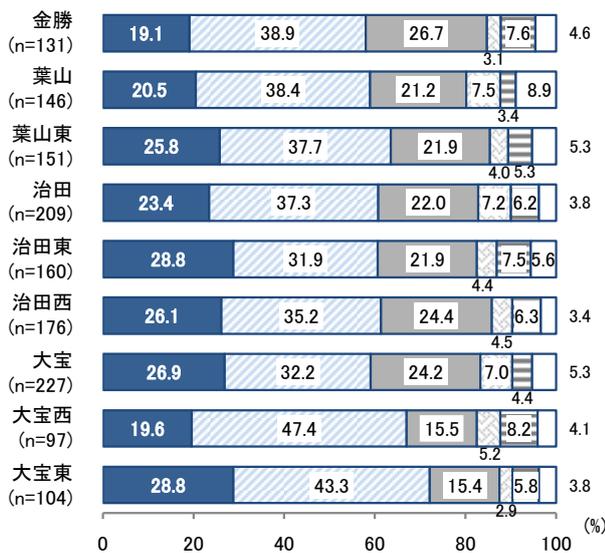


■外国人に関わる問題(学区別)

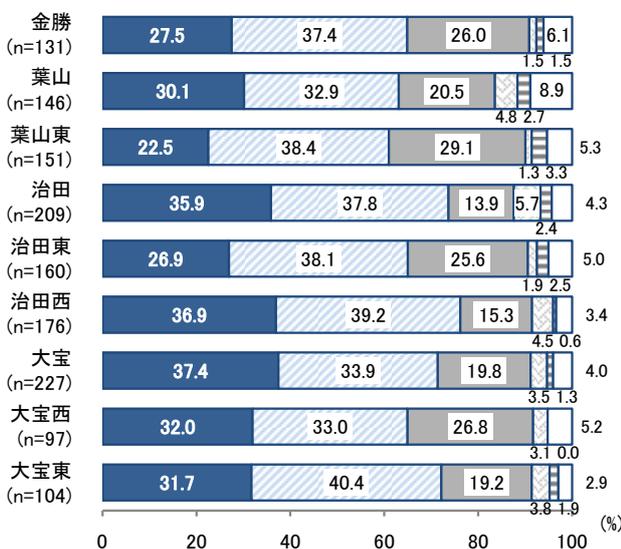
[13. 外国人の生活習慣や文化への理解や認識を深めていく必要がある]の『そう思う』割合は、“大宝東”で72.1%と最も高くなっています。[14. 外国人だからという理由で、賃貸住宅への入居を断る不動産業者がいることは問題である]の『そう思う』割合は、“大宝東”で52.0%と最も高くなっています。[15. 日本に住む外国人は、できるだけ日本の文化や習慣に合わせる努力をすべきである]の『そう思う』割合は、“治田西”で76.1%と最も高くなっています。

13. 外国人の生活習慣や文化への理解や認識を深めていく必要がある

14. 外国人だからという理由で、賃貸住宅への入居を断る不動産業者がいることは問題である



15. 日本に住む外国人は、できるだけ日本の文化や習慣に合わせる努力をすべきである

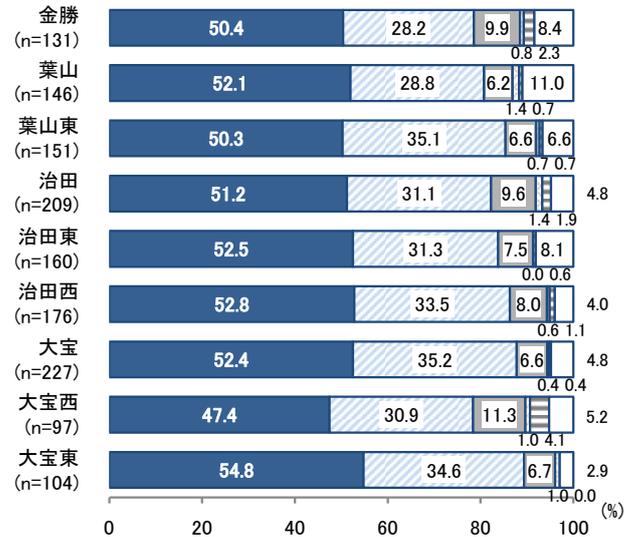
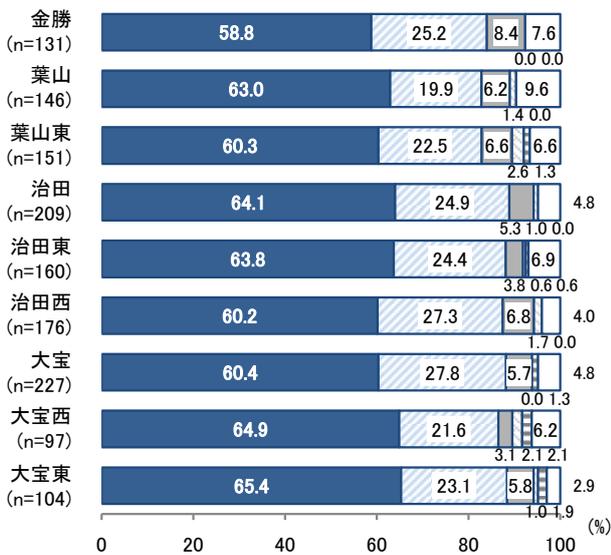


■インターネットに関わる問題(学区別)

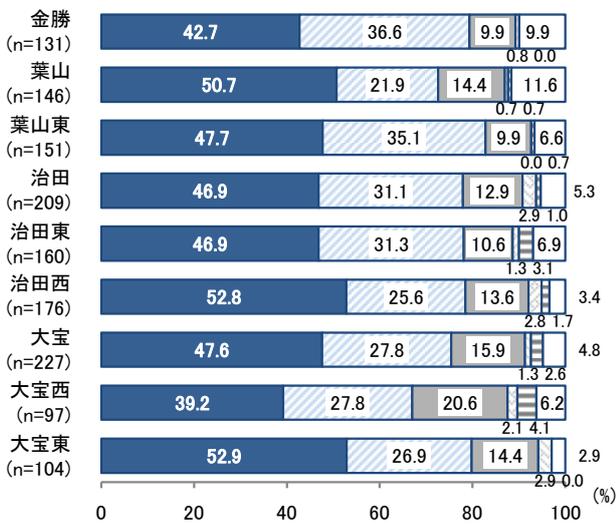
[16. インターネットやSNSによる情報は、差別や偏見を広げることがあるので、注意する必要がある]は、学区別にみても傾向に大きな違いはありません。[17. 差別をあおるような書き込みをした人に対し、処罰する法整備が必要だ]の『そう思う』割合は、“大宝東”で89.4%と最も高くなっています。[18. インターネット上に被差別部落の所在地を載せることは部落差別を助長する深刻な問題行為だ]の『そう思う』割合は、“葉山東”で82.8%と最も高くなっています。

16. インターネットやSNSによる情報は、差別や偏見を広げることがあるので、注意する必要がある

17. 差別をあおるような書き込みをした人に対し、処罰する法整備が必要だ



18. インターネット上に被差別部落の所在地を載せることは部落差別を助長する深刻な問題行為だ

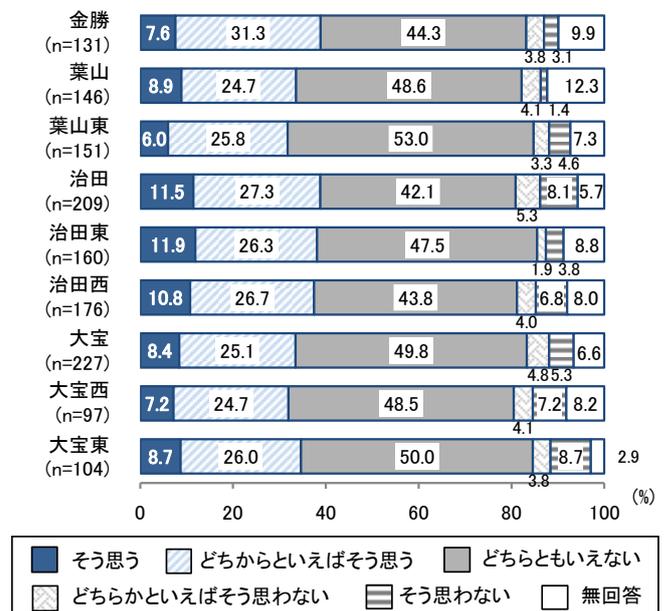
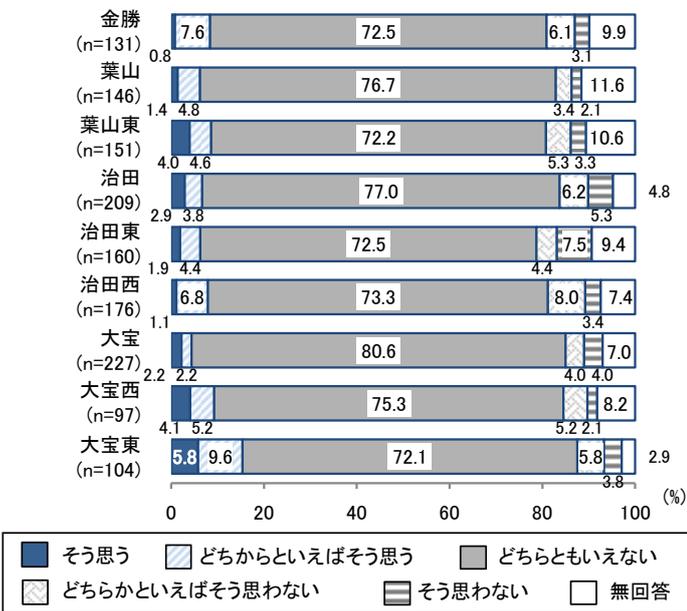


■性的少数者(性的マイノリティー)に関わる問題(学区別)

[19. 栗東市は、性的少数者(性的マイノリティー)またはLGBTQにとって、暮らしやすい環境だ]と[20. 性的少数者(性的マイノリティー)またはLGBTQへの配慮がもっと必要だ]は、学区別にみても傾向に大きな違いはありません。[21. LGBTQ等といった性の多様性について理解を深め、社会の仕組みづくりを整備していくべきだ]の『そう思う』割合は、“大宝東”で57.7%と最も高くなっています。[22. LGBTQ等といった性の多様性に対する積極的な教育・啓発が必要である]の『そう思う』割合は、“大宝東”と“治田東”で51.9%と最も高くなっています。

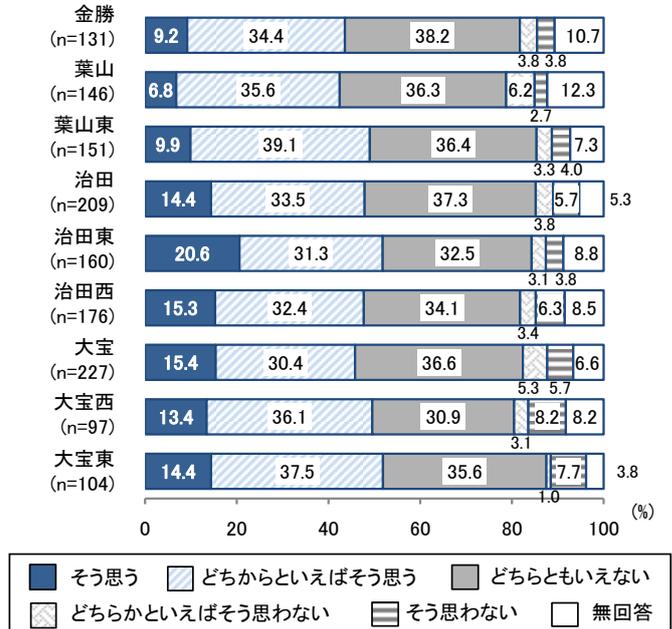
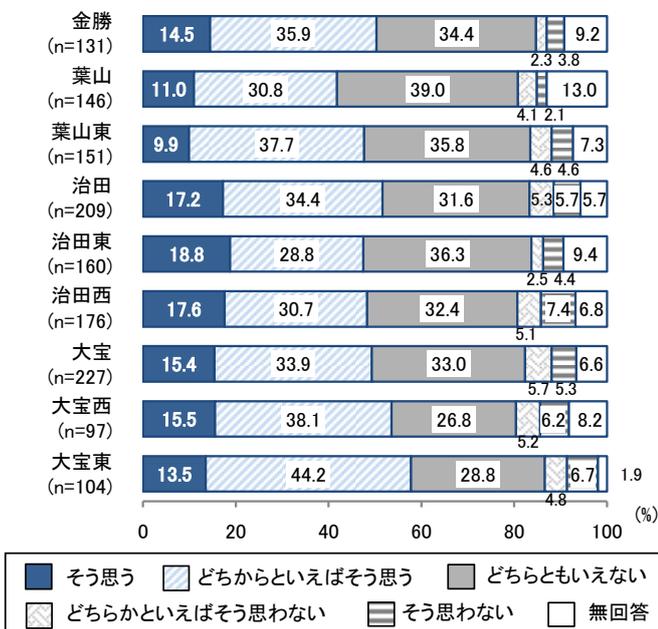
19. 栗東市は、性的少数者(性的マイノリティー)またはLGBTQにとって、暮らしやすい環境だ

20. 性的少数者(性的マイノリティー)またはLGBTQへの配慮がもっと必要だ



21. LGBTQ等といった性の多様性について理解を深め、社会の仕組みづくりを整備していくべきだ

22. LGBTQ等といった性の多様性に対する積極的な教育・啓発が必要である

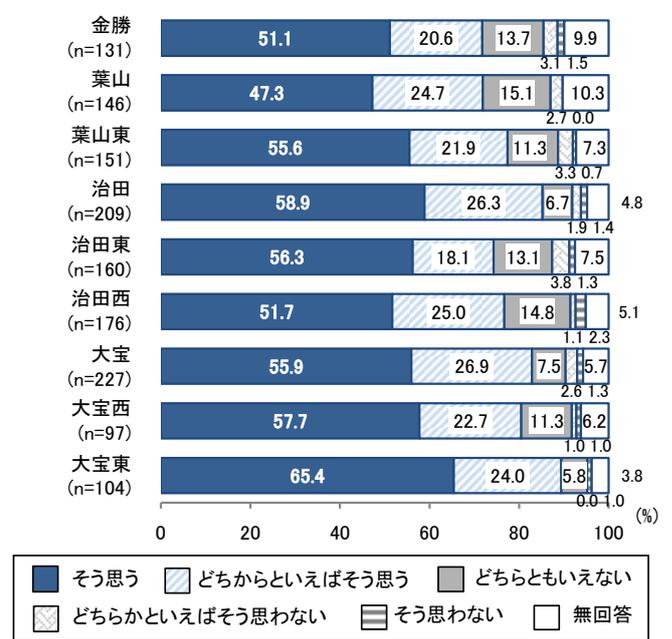
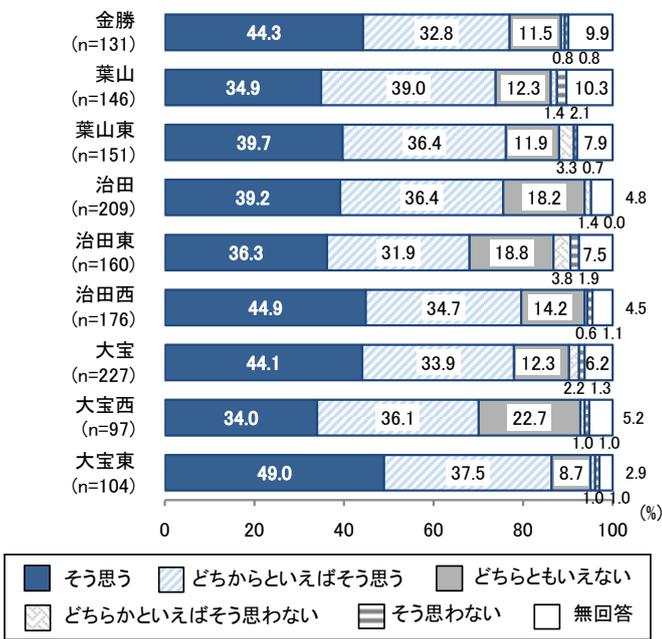


■その他の人権に関する問題(学区別)

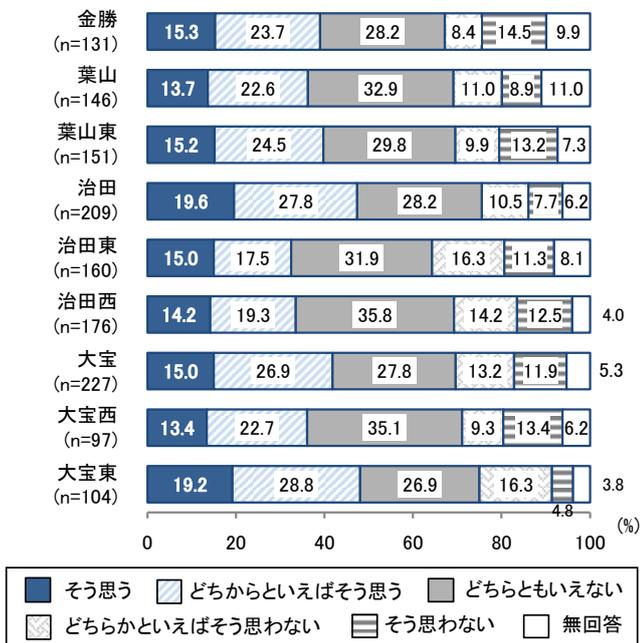
[23. 災害時や緊急事態宣言時には、一層人権を大切にすることが重要である]の『そう思う』割合は、“大宝東”で86.5%と最も高く、“治田東”(68.2%)と18.3ポイントの差となっています。[24. 犯罪被害者について、報道によってプライバシーが侵害されたり、私生活の平穏が保てなくなることは問題である]の『そう思う』割合は、“大宝東”で89.4%と最も高く、“金勝”(71.7%)と17.7ポイントの差となっています。[25. 刑を終えて出所した人が、更生した後も、インターネットなどで過去の犯罪歴を調べられることがあってもやむを得ない]の『そう思う』割合は、“大宝東”で48.0%と最も高く、“治田東”(32.5%)と15.5ポイントの差となっています。

23. 災害時や緊急事態宣言時には、一層人権を大切にすることが重要である

24. 犯罪被害者について、報道によってプライバシーが侵害されたり、私生活の平穏が保てなくなることは問題である



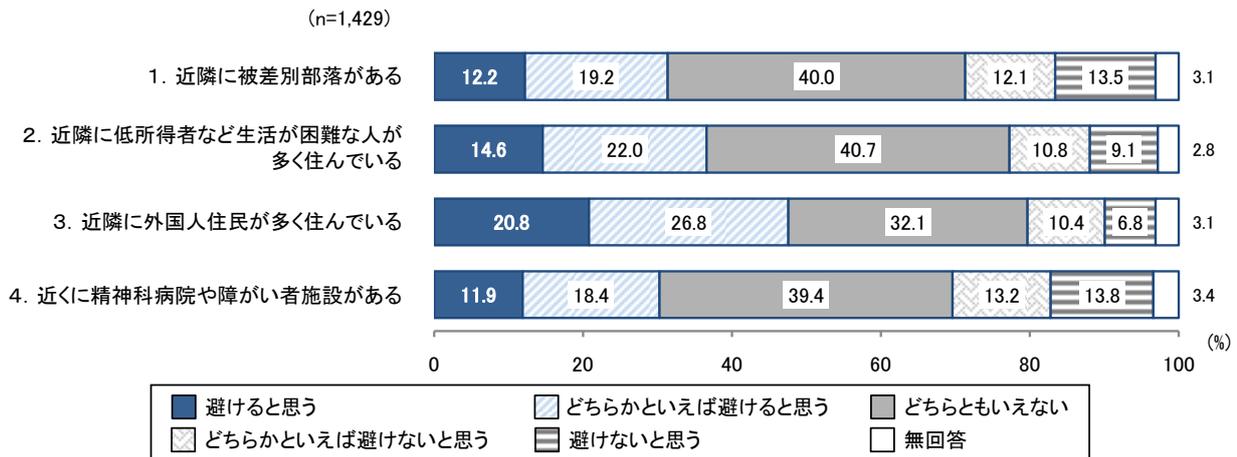
25. 刑を終えて出所した人が、更生した後も、インターネットなどで過去の犯罪歴を調べられることがあってもやむを得ない



(2) 住宅を選ぶ際の条件

問7 あなたが住宅を選ぶ際の条件について、あなたはどのように思われますか。(それぞれ1つだけに○)

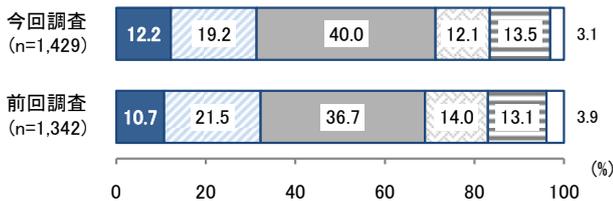
住宅を選ぶ際の条件については、「避けると思う」と「どちらかといえば避けると思う」を合わせた『避けると思う』割合は、[3. 近隣に外国人住民が多く住んでいる]で47.6%と最も高くなっています。



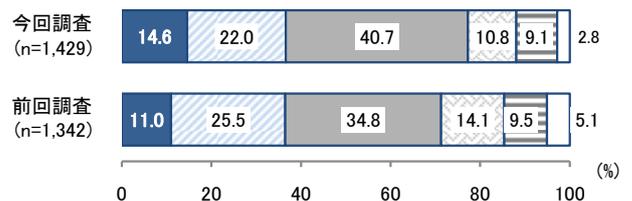
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、『避けると思う』割合は、[3. 近隣に外国人住民が多く住んでいる]で11.8ポイント増加しています。

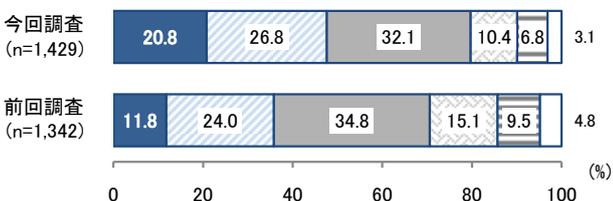
1. 近隣に被差別部落がある



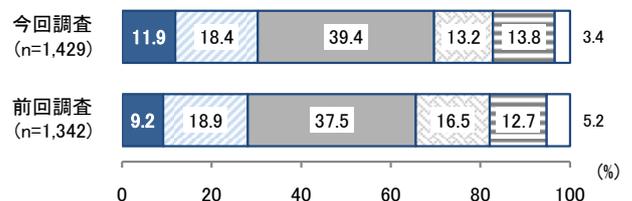
2. 近隣に低所得者など生活が困難な人が多く住んでいる



3. 近隣に外国人住民が多く住んでいる



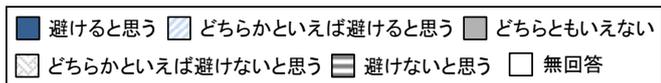
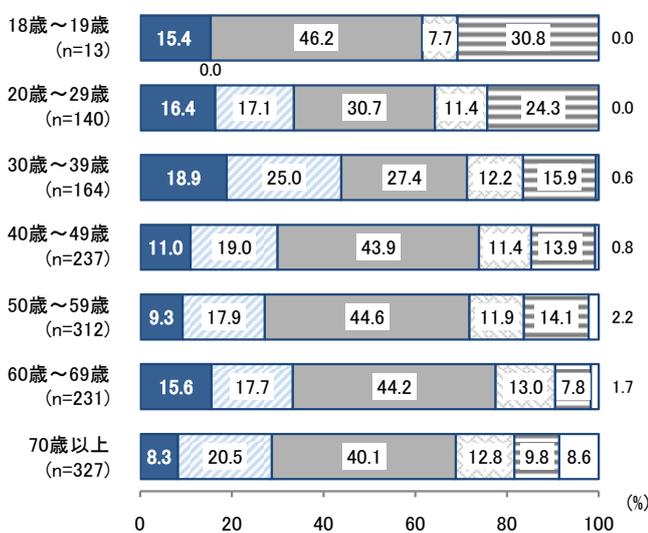
4. 近くに精神科病院や障がい者施設がある



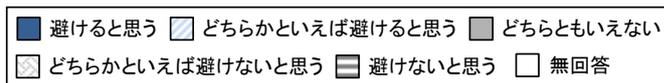
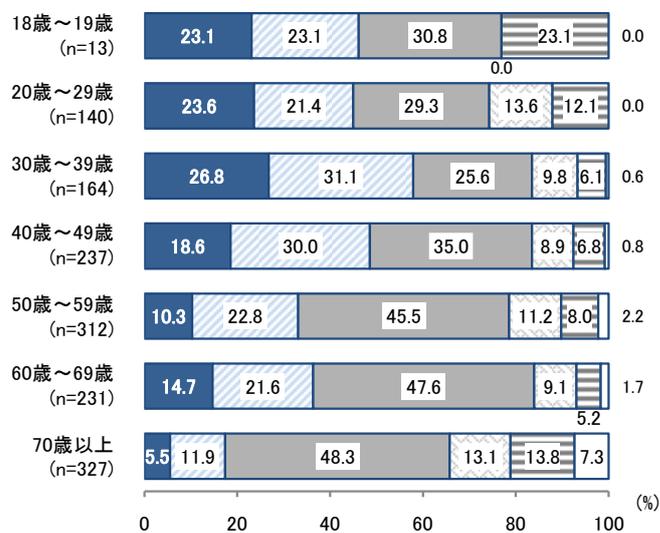
【年齢別】

年齢別でみると、[1. 近隣に被差別部落がある]は、“18歳～29歳”では『避けると思う』より『避けないと思う』割合のほうが高く、それ以外の年齢では『避けると思う』のほうが高くなっています。[2. 近隣に低所得者など生活が困難な人が多く住んでいる]は、“70歳以上”では『避けないと思う』割合のほうが高く、それ以外の年齢では『避けると思う』のほうが高くなっています。[3. 近隣に外国人住民が多く住んでいる]の『避けると思う』の割合は、“30歳～39歳”で64.1%と最も高く、“70歳以上”（31.8%）と32.3ポイントの差となっています。[4. 近くに精神科病院や障がい者施設がある]の『避けると思う』の割合は、“30歳～39歳”で40.3%と最も高く、“70歳以上”（21.1%）と19.2ポイントの差となっています。

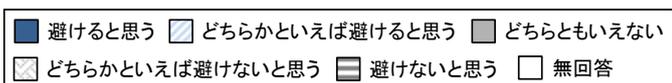
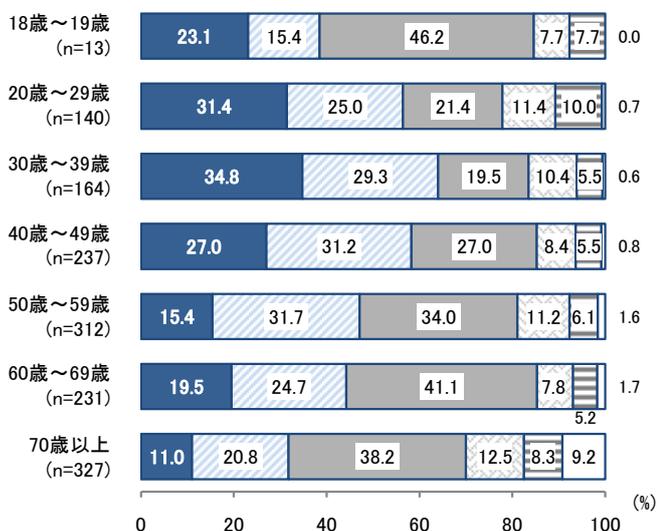
1. 近隣に被差別部落がある



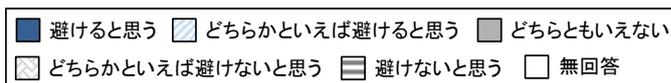
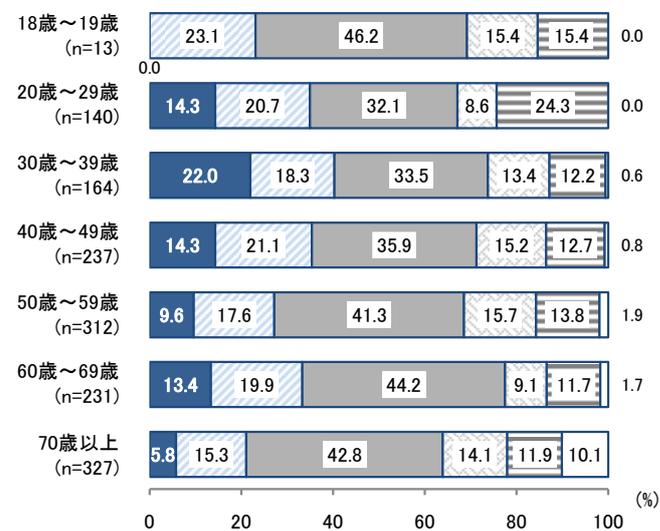
2. 近隣に低所得者など生活が困難な人が多く住んでいる



3. 近隣に外国人住民が多く住んでいる



4. 近くに精神科病院や障がい者施設がある

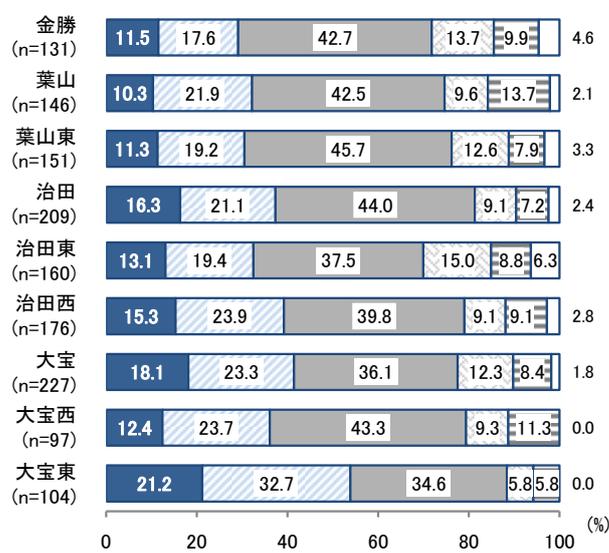
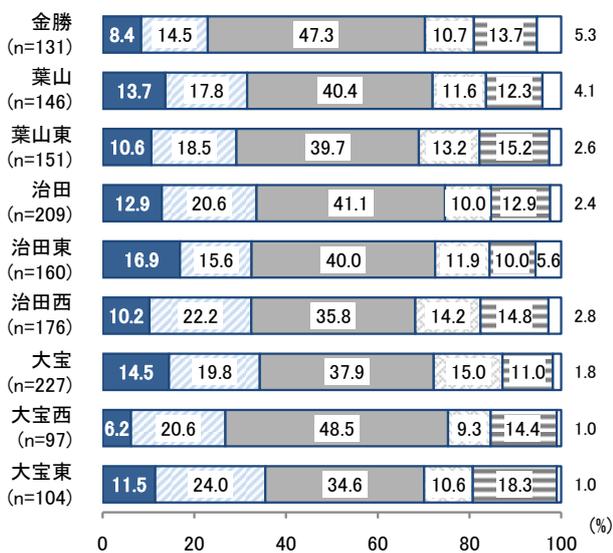


【学区別】

学区別でみると、[1. 近隣に被差別部落がある]の『避けると思う』割合は、“大宝東”で35.5%と最も高く、“金勝”(22.9%)と12.6ポイントの差となっています。[2. 近隣に低所得者など生活が困難な人が多く住んでいる]の『避けると思う』割合は、“大宝東”で53.9%と最も高く、“金勝”(29.1%)と24.8ポイントの差となっています。[3. 近隣に外国人住民が多く住んでいる]の『避けると思う』の割合は、“大宝東”で53.9%と最も高く、“大宝西”(38.2%)と15.7ポイントの差となっています。[4. 近くに精神科病院や障がい者施設がある]の『避けると思う』の割合は、“大宝東”で38.5%と最も高く、“治田東”(21.9%)と16.6ポイントの差となっています。

1. 近隣に被差別部落がある

2. 近隣に低所得者など生活が困難な人が多く住んでいる

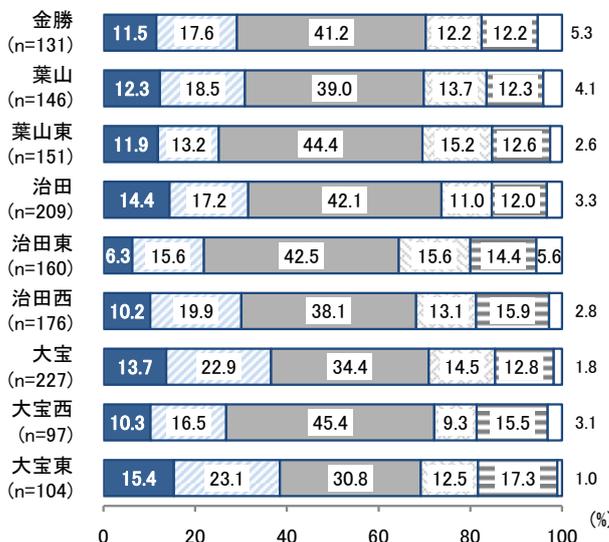
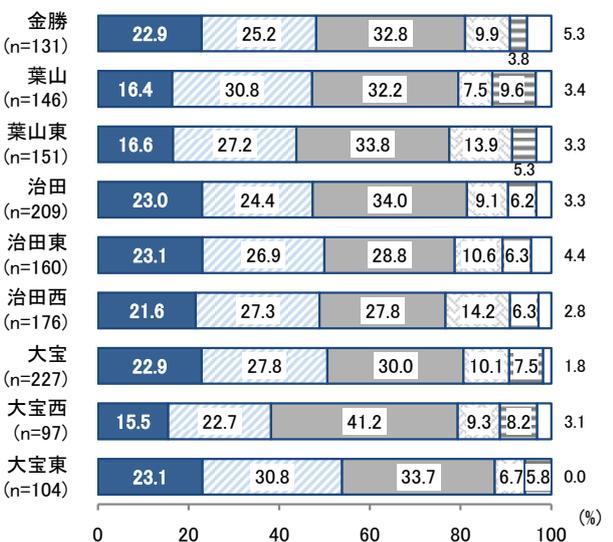


■ 避けると思う □ どちらかといえば避けると思う ■ どちらともいえない
 □ どちらかといえば避けないと思う ■ 避けないと思う □ 無回答

■ 避けると思う □ どちらかといえば避けると思う ■ どちらともいえない
 □ どちらかといえば避けないと思う ■ 避けないと思う □ 無回答

3. 近隣に外国人住民が多く住んでいる

4. 近くに精神科病院や障がい者施設がある



■ 避けると思う □ どちらかといえば避けると思う ■ どちらともいえない
 □ どちらかといえば避けないと思う ■ 避けないと思う □ 無回答

■ 避けると思う □ どちらかといえば避けると思う ■ どちらともいえない
 □ どちらかといえば避けないと思う ■ 避けないと思う □ 無回答

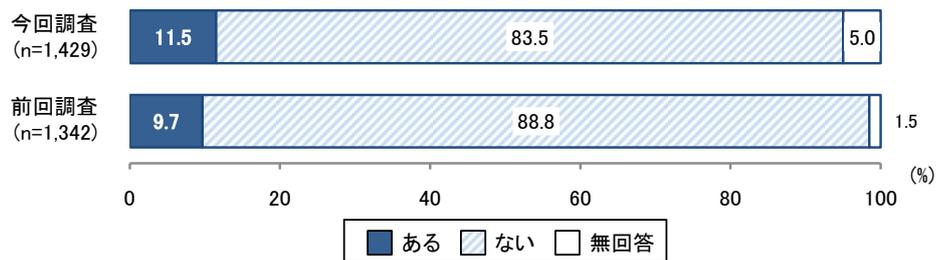
5. 人権侵害を受けた経験について

(1) 5年以内で、差別や人権侵害を受けた経験の有無

問8 (1) あなたは、ここ5年以内で、差別や人権侵害を受けたことがありますか。(1つだけに○)

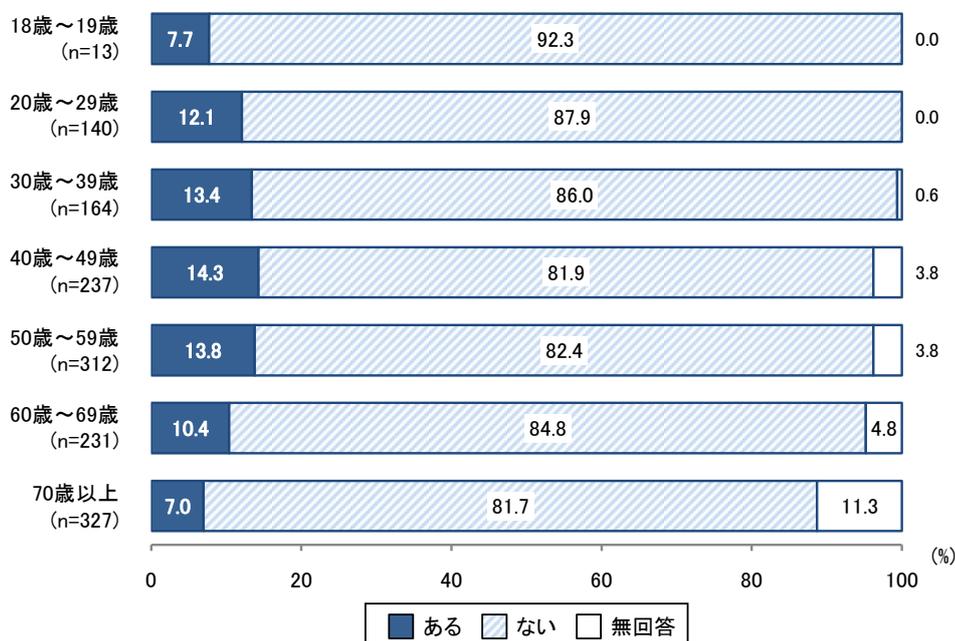
差別や人権侵害を受けたことの有無は、「ある」が11.5%、「ない」が83.5%となっています。

前回調査と比較すると、同様の傾向となっています。



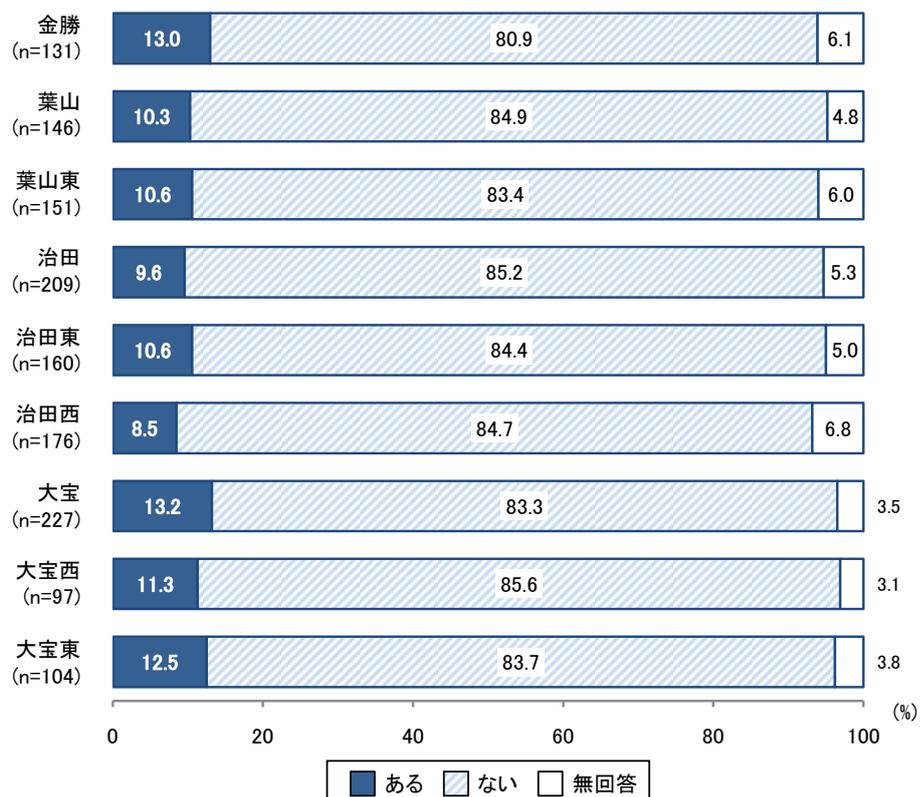
【年齢別】

年齢別でみると、「ある」の割合は“40歳～49歳”で14.3%と最も高くなっています。



【学区別】

学区別でも、傾向に大きな違いはありません。



(2) 差別や人権侵害を受けた場面と内容

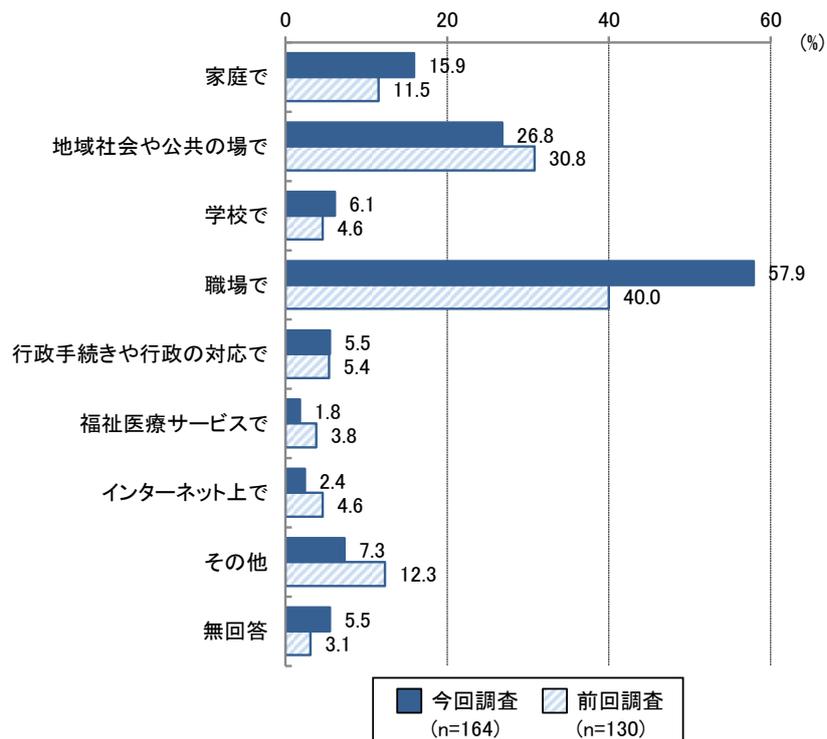
問8 (2) ((1) で、「1. ある」と答えた方にかがいます。)

それは、どのような場面で、どのような内容でしたか。(あてはまるものすべてに○)

■場面

差別や人権侵害を受けた場面は、「職場で」が57.9%と最も多く、次いで「地域社会や公共の場で」が26.8%、「家庭で」が15.9%となっています。

前回調査と比較すると、「職場で」の割合は17.9ポイント増加しています。また、「家庭で」は4.4ポイント、「地域社会や公共の場で」は4.0ポイント、それぞれ減少しています。



【年齢別】 【学区別】

年齢別でみると、“18歳～69歳”では「職場で」が、“70歳以上”では「地域社会や公共の場で」が多くなっています。

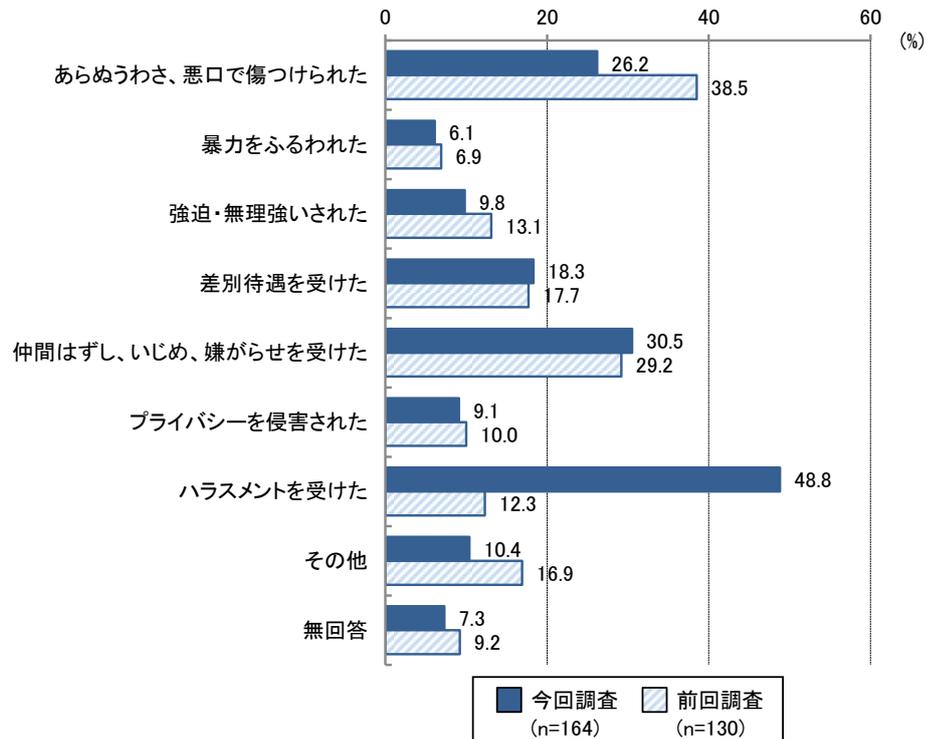
学区別でみると、“葉山東”では「地域社会や公共の場で」が、それ以外の学区では「職場で」が、それぞれ最も多くなっています。

		(%)									
		調査数 (n)	家庭 で	地域 社会 や 公共 の 場 で	学 校 で	職 場 で	行 政 手 続 き や 行 政 の 対 応 で	福 祉 医 療 サ ー ビ ス で	イ ン タ ー ネ ッ ト 上 で	そ の 他	無 回 答
年 齢 別	18歳～19歳	1	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳～29歳	17	29.4	35.3	5.9	47.1	0.0	11.8	5.9	11.8	11.8
	30歳～39歳	22	22.7	27.3	9.1	59.1	4.5	0.0	9.1	9.1	4.5
	40歳～49歳	34	5.9	11.8	5.9	73.5	2.9	0.0	0.0	5.9	2.9
	50歳～59歳	43	16.3	20.9	9.3	67.4	7.0	2.3	2.3	4.7	2.3
	60歳～69歳	24	16.7	29.2	0.0	62.5	4.2	0.0	0.0	8.3	0.0
	70歳以上	23	13.0	47.8	4.3	17.4	13.0	0.0	0.0	8.7	17.4
学 区 別	金勝	17	17.6	23.5	0.0	47.1	11.8	0.0	0.0	17.6	11.8
	葉山	15	13.3	33.3	6.7	73.3	13.3	13.3	6.7	0.0	6.7
	葉山東	16	31.3	56.3	12.5	31.3	0.0	6.3	6.3	6.3	6.3
	治田	20	15.0	20.0	10.0	75.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0
	治田東	17	0.0	23.5	5.9	58.8	11.8	0.0	0.0	11.8	0.0
	治田西	15	13.3	26.7	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	13.3	0.0
	大宝	30	10.0	33.3	10.0	50.0	3.3	0.0	3.3	6.7	6.7
	大宝西	11	27.3	9.1	0.0	72.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大宝東	13	23.1	15.4	7.7	69.2	7.7	0.0	0.0	7.7	0.0

■内容

差別や人権侵害を受けた内容は、「ハラスメントを受けた」が48.8%と最も多く、次いで「仲間はずし、いじめ、嫌がらせを受けた」が30.5%、「あらぬうわさ、悪口で傷つけられた」が26.2%、「差別待遇を受けた」が18.3%となっています。

前回調査と比較すると、「ハラスメントを受けた」の割合が36.5ポイント増加しています。また、「あらぬうわさ、悪口で傷つけられた」は12.3ポイント減少しています。



【年齢別】 【学区別】

年齢別でみると、“18歳～69歳”では「ハラスメントを受けた」が、“70歳以上”では「仲間はずし、いじめ、嫌がらせを受けた」が多くなっています。

学区別でみると、“葉山東”“治田東”では「仲間はずし、いじめ、嫌がらせを受けた」が、それ以外の学区では「ハラスメントを受けた」が、それぞれ最も多くなっています。

		調査数 (n)	あらぬ うわさ、 悪口で傷 つけ られた	暴力を ふるわれ た	強 迫・無 理強 いされ た	差 別待 遇を受 けた	仲 間はず し、い じめ、 嫌がら せを受 けた	プ ライバ シーを 侵害さ れた	ハ ラスメ ントを 受けた	そ の他	(%)
											無 回 答
年 齢 別	18歳～19歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	20歳～29歳	17	29.4	17.6	11.8	17.6	29.4	23.5	58.8	5.9	11.8
	30歳～39歳	22	22.7	9.1	4.5	9.1	31.8	9.1	45.5	4.5	4.5
	40歳～49歳	34	23.5	5.9	14.7	17.6	20.6	8.8	50.0	5.9	5.9
	50歳～59歳	43	32.6	2.3	18.6	27.9	34.9	4.7	60.5	9.3	7.0
	60歳～69歳	24	33.3	4.2	0.0	20.8	20.8	8.3	50.0	20.8	0.0
	70歳以上	23	13.0	4.3	0.0	8.7	43.5	8.7	17.4	17.4	17.4
学 区 別	金勝	17	23.5	5.9	5.9	11.8	17.6	5.9	47.1	17.6	0.0
	葉山	15	20.0	6.7	20.0	40.0	33.3	6.7	53.3	6.7	13.3
	葉山東	16	56.3	0.0	0.0	25.0	37.5	6.3	56.3	0.0	6.3
	治田	20	15.0	5.0	5.0	5.0	40.0	15.0	45.0	5.0	10.0
	治田東	17	52.9	5.9	5.9	5.9	35.3	17.6	35.3	5.9	0.0
	治田西	15	26.7	0.0	26.7	20.0	26.7	13.3	46.7	20.0	6.7
	大宝	30	13.3	13.3	3.3	23.3	36.7	10.0	43.3	13.3	6.7
	大宝西	11	18.2	0.0	18.2	27.3	36.4	0.0	63.6	0.0	0.0
	大宝東	13	23.1	7.7	15.4	15.4	7.7	7.7	76.9	15.4	0.0

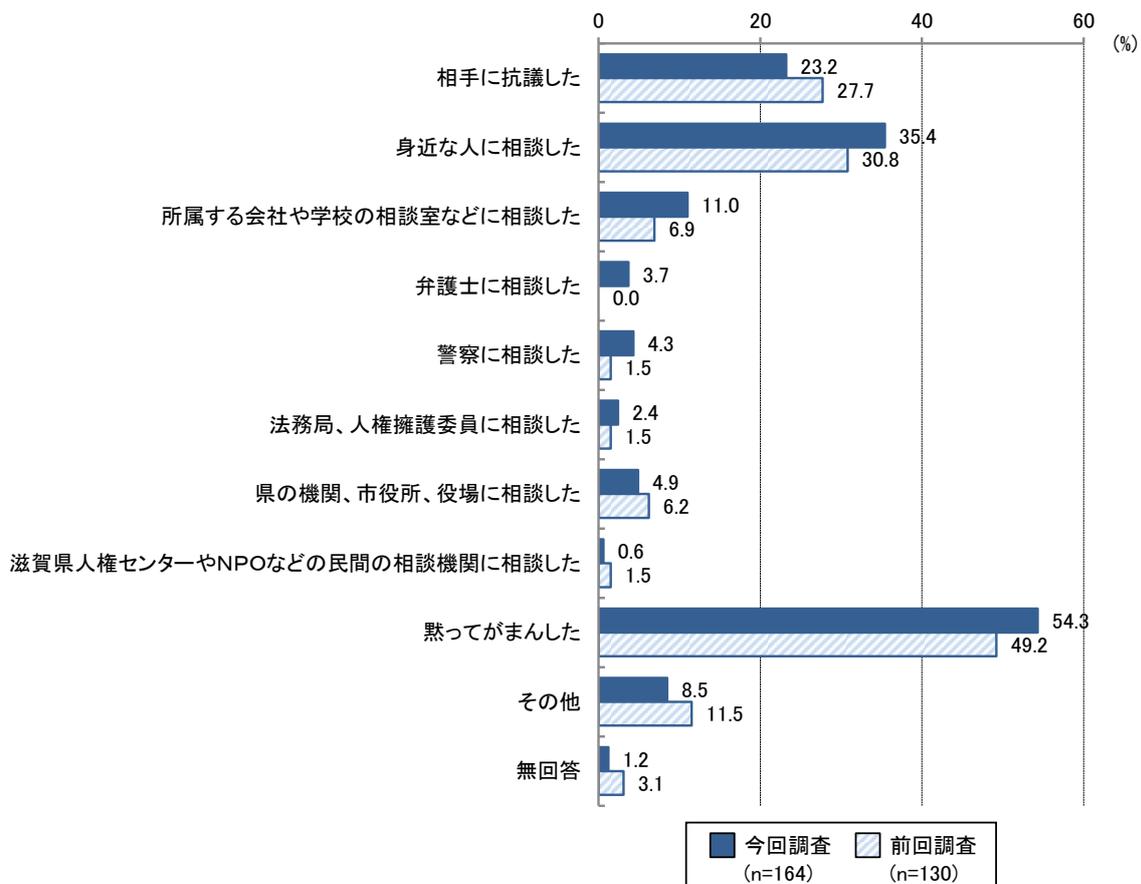
(3) 差別や人権侵害を受けたときの対応

問8 (3) ((1) で、「1. ある」と答えた方にかかっています。)

差別や人権侵害を受けたときに、どのような対応をされましたか。(あてはまるものすべてに○)

差別や人権侵害を受けたときの対応は、「黙ってがまんした」が54.3%と最も多く、次いで「身近な人に相談した」が35.4%、「相手に抗議した」が23.2%となっています。

前回調査と比較すると、「身近な人に相談した」は4.6ポイント、「所属する会社や学校の相談室などに相談した」が4.1ポイント、「黙ってがまんした」が5.1ポイント、それぞれ割合が増加しています。また、「相手に抗議した」は4.5ポイント減少しています。



【年齢別】 【学区別】

年齢別でみると、いずれの年齢も「黙ってがまんした」が多くなっています。

学区別でみると、“大宝”と“大宝東”では「身近な人に相談した」が、それ以外の学区では「黙ってがまんした」が、それぞれ最も多くなっています。

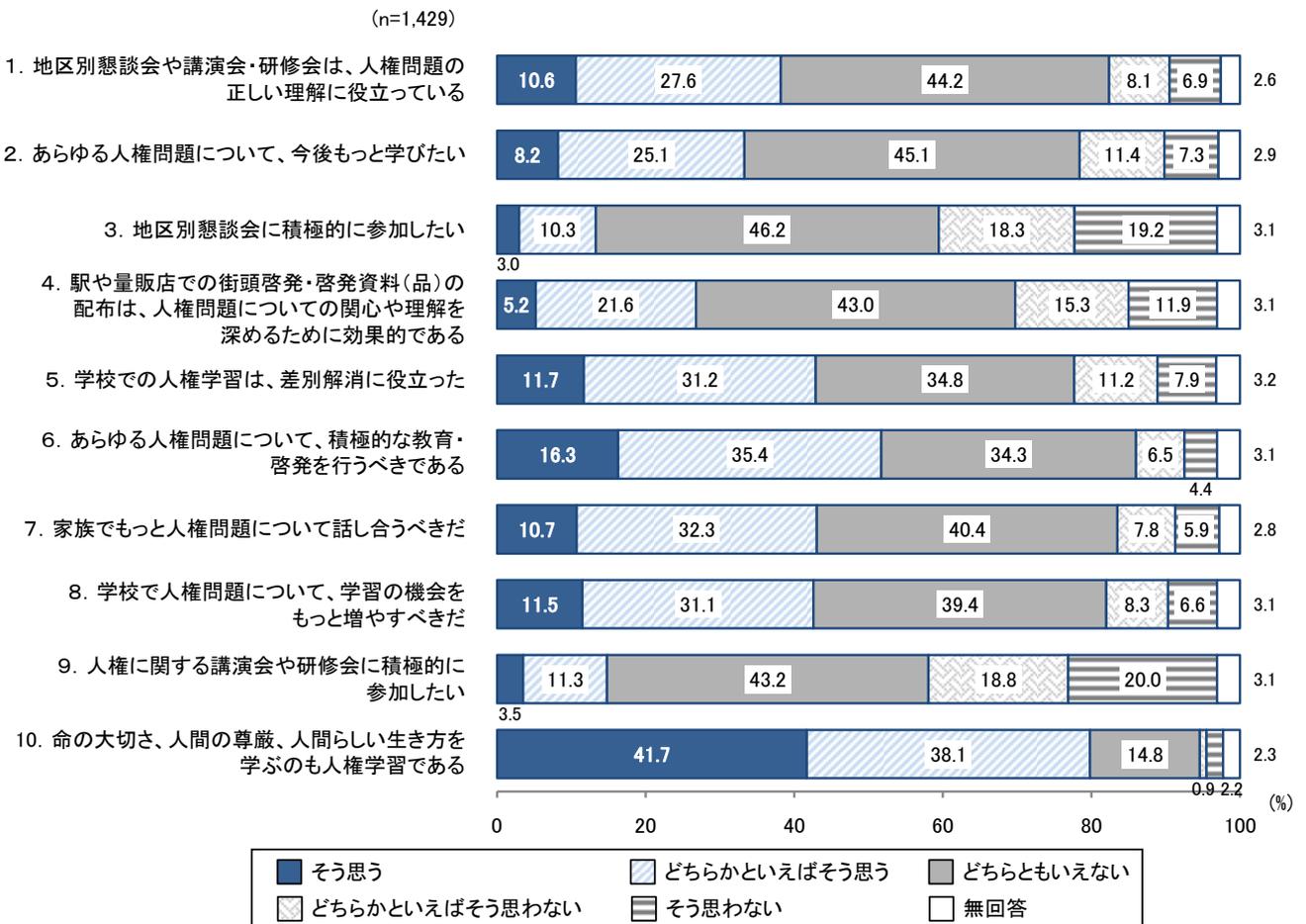
		(%)											
		調査数 (n)	相手に抗議した	身近な人に相談した	所属する会社や学校の相談室などに相談した	弁護士に相談した	警察に相談した	法務局、人権擁護委員に相談した	県の機関、市役所、役場に相談した	滋賀県人権センターやNPOなどの民間の相談機関に相談した	黙ってがまんした	その他	無回答
年齢別	18歳～19歳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	20歳～29歳	17	11.8	41.2	0.0	0.0	5.9	5.9	0.0	0.0	47.1	11.8	0.0
	30歳～39歳	22	18.2	50.0	9.1	0.0	4.5	0.0	4.5	4.5	59.1	9.1	0.0
	40歳～49歳	34	20.6	26.5	14.7	2.9	0.0	0.0	2.9	0.0	61.8	2.9	0.0
	50歳～59歳	43	27.9	37.2	18.6	9.3	2.3	4.7	7.0	0.0	53.5	7.0	0.0
	60歳～69歳	24	37.5	37.5	12.5	0.0	4.2	4.2	8.3	0.0	41.7	12.5	0.0
	70歳以上	23	17.4	21.7	0.0	4.3	13.0	0.0	4.3	0.0	56.5	13.0	8.7
学区別	金勝	17	17.6	29.4	5.9	5.9	11.8	0.0	11.8	0.0	58.8	5.9	5.9
	葉山	15	46.7	26.7	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	60.0	6.7	0.0
	葉山東	16	18.8	12.5	18.8	0.0	6.3	6.3	6.3	0.0	62.5	6.3	0.0
	治田	20	25.0	40.0	15.0	5.0	0.0	0.0	0.0	5.0	65.0	10.0	0.0
	治田東	17	29.4	29.4	11.8	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	52.9	11.8	5.9
	治田西	15	26.7	33.3	6.7	13.3	6.7	6.7	13.3	0.0	60.0	6.7	0.0
	大宝	30	20.0	50.0	10.0	6.7	3.3	0.0	6.7	0.0	46.7	3.3	0.0
	大宝西	11	27.3	27.3	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	54.5	9.1	0.0
	大宝東	13	7.7	46.2	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	38.5	23.1	0.0

6. 人権教育や啓発の取組に関すること

(1) 人権教育に対する考え方

問9 人権教育に対する考え方について、あなたの考え方に近いものはどれですか。(それぞれ1つだけに○)

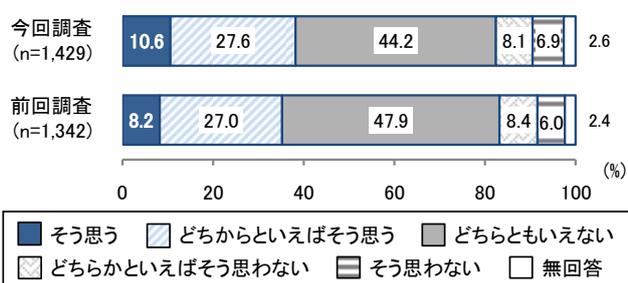
人権教育に対する考え方について、『そう思う』割合は、[10. 命の大切さ、人間の尊厳、人間らしい生き方を学ぶのも人権学習である]が79.8%で最も高く、次いで[6. あらゆる人権問題について、積極的な教育・啓発を行うべきである]が51.7%となっています。



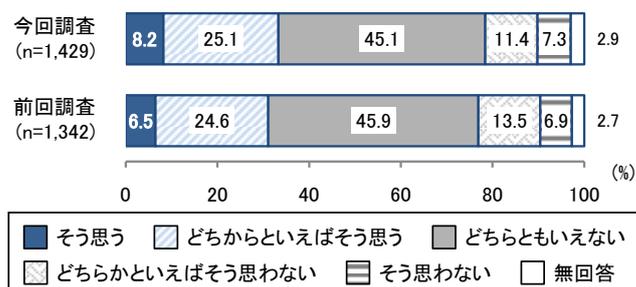
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、『そう思う』割合は、[5. 学校での人権・同和問題学習は、差別解消に役立った] [6. あらゆる人権問題について、積極的な教育・啓発を行うべきである] [7. 家族でもっと人権問題について話し合うべきだ] [8. 学校で人権問題について、学習の機会をもっと増やすべきだ] で10ポイント以上増加しています。それ以外の項目は前回調査と傾向は大きく変わりません。

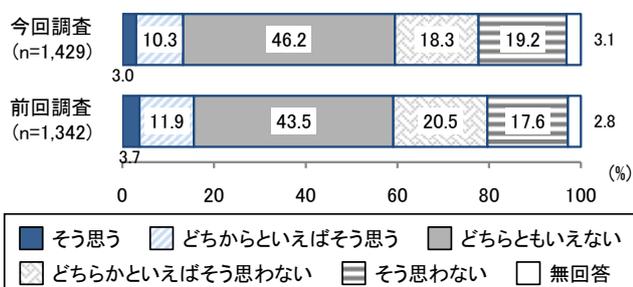
1. 地区別懇談会や講演会・研修会は、人権問題の正しい理解に役立っている



2. あらゆる人権問題について、今後もっと学びたい

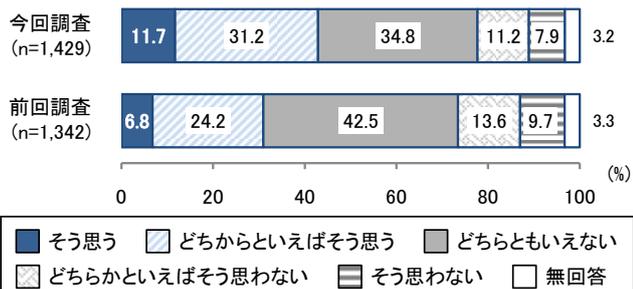


3. 地区別懇談会に積極的に参加したい

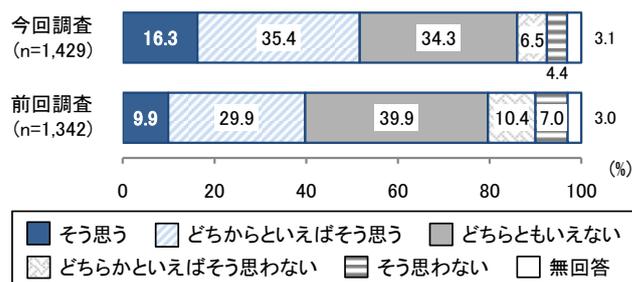


4. 前回調査なし

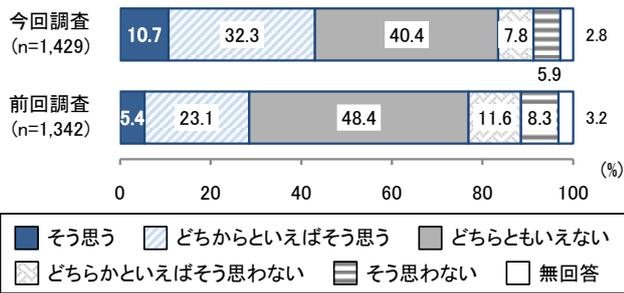
5. 学校での人権学習は、差別解消に役立った



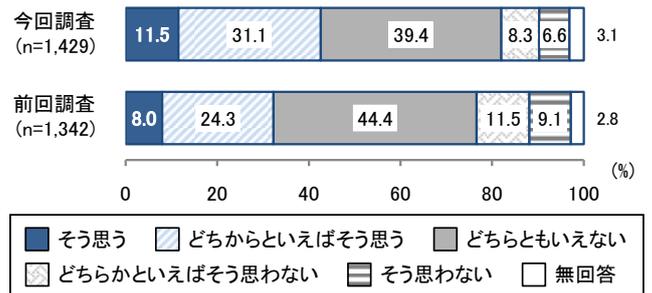
6. あらゆる人権問題について、積極的な教育・啓発を行うべきである



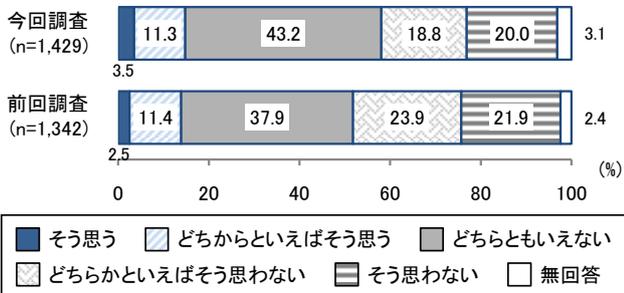
7. 家族でもっと人権問題について話し合うべきだ



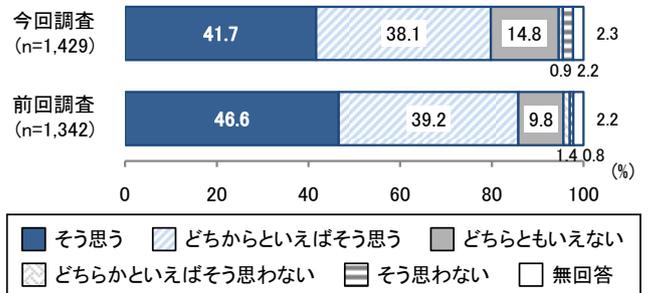
8. 学校で人権問題について、学習の機会をもっと増やすべきだ



9. 人権に関する講演会や研修会に積極的に参加したい



10. 命の大切さ、人間の尊厳、人間らしい生き方を学ぶのも人権学習である



【年齢別】

年齢別でみると、[1. 地区別懇談会や講演会・研修会は、人権問題の正しい理解に役立っている]の『そう思う』割合は、“70歳以上”で45.6%と最も高く、次いで“20歳～29歳”で41.4%となっています。

[2. あらゆる人権問題について、今後もっと学びたい] [5. 学校での人権学習は、差別解消に役立った] [6. あらゆる人権問題について、積極的な教育・啓発を行うべきである] [8. 学校で人権問題について、学習の機会をもっと増やすべきだ] [10. 命の大切さ、人間の尊厳、人間らしい生き方を学ぶのも人権学習である]の『そう思う』割合は、高齢者より若い世代のほうが高い傾向となっています。

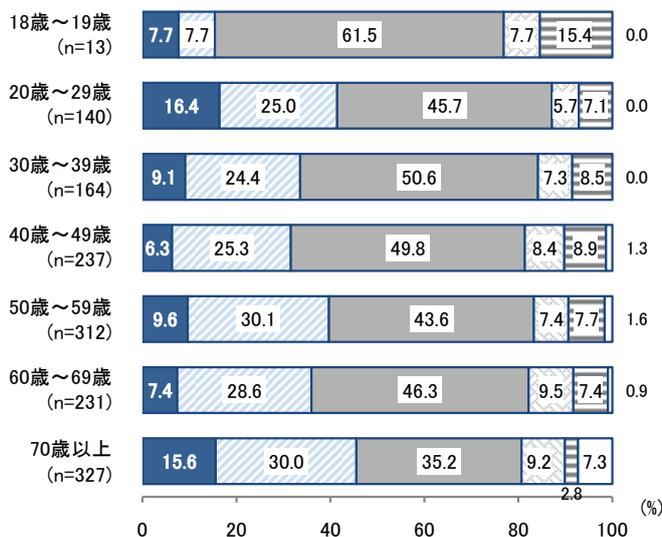
[3. 地区別懇談会に積極的に参加したい]は、いずれの年齢も『そう思う』より『そう思わない』割合のほうが高くなっています。『そう思う』割合は、“70歳以上”で21.4%と最も高くなっています。

[4. 駅や量販店での街頭啓発・啓発資料（品）の配布は、人権問題についての関心や理解を深めるために効果的である]について、“20歳～29歳”と“70歳以上”では『そう思わない』より『そう思う』割合のほうが高く、“30歳～69歳”では『そう思わない』割合のほうが高くなっています。

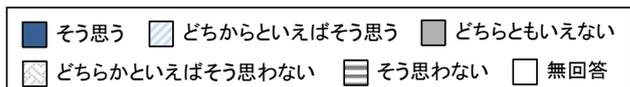
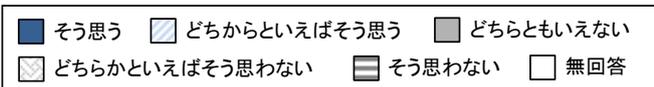
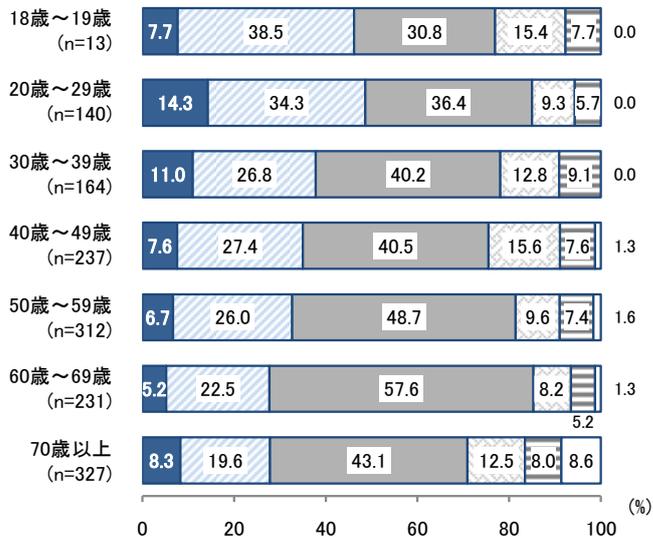
[7. 家族でもっと人権問題について話し合うべきだ]の『そう思う』割合は、“40歳～49歳”で53.6%と最も高く、次いで“20歳～29歳”で50.0%となっています。

[9. 人権に関する講演会や研修会に積極的に参加したい]は、いずれの年齢も『そう思う』より『そう思わない』割合のほうが高くなっています。『そう思う』割合は“70歳以上”で19.0%と最も高くなっています。

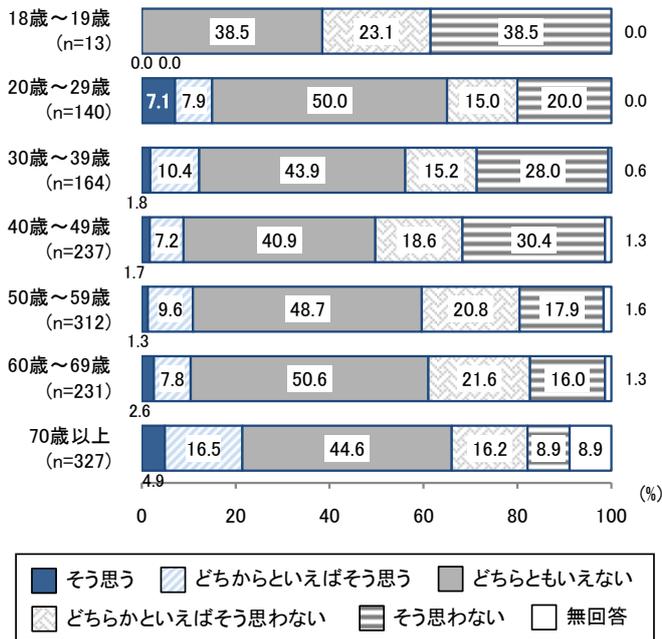
1. 地区別懇談会や講演会・研修会は、人権問題の正しい理解に役立っている



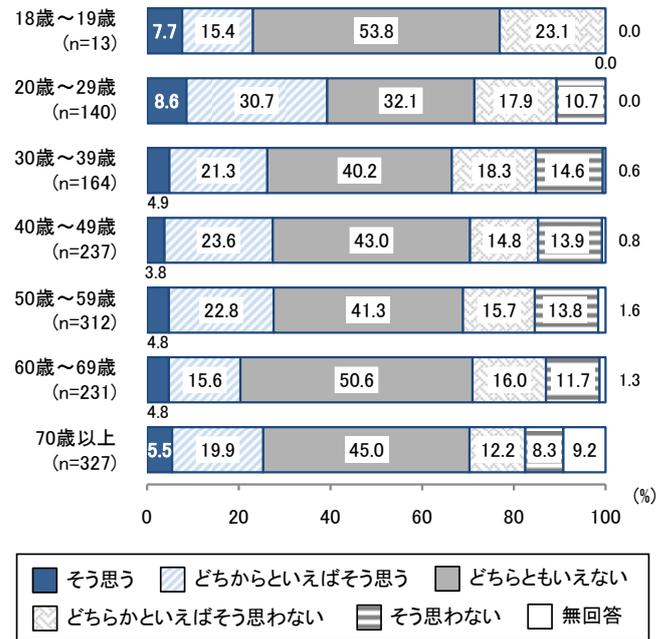
2. あらゆる人権問題について、今後もっと学びたい



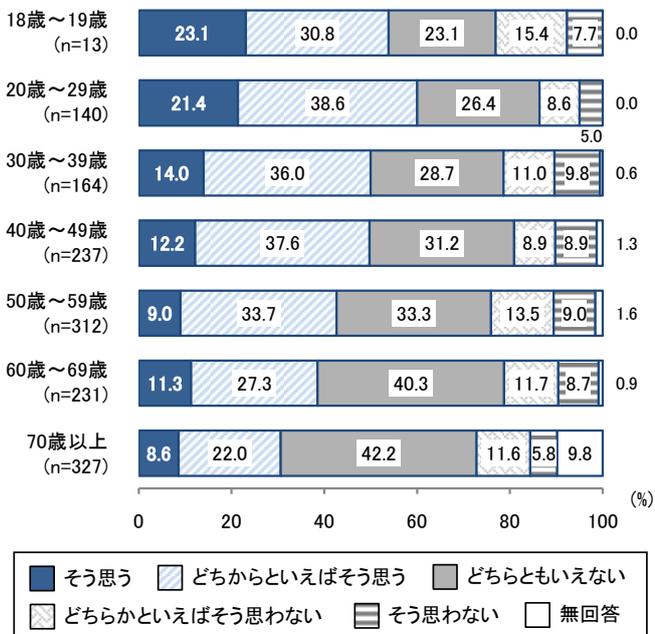
3. 地区別懇談会に積極的に参加したい



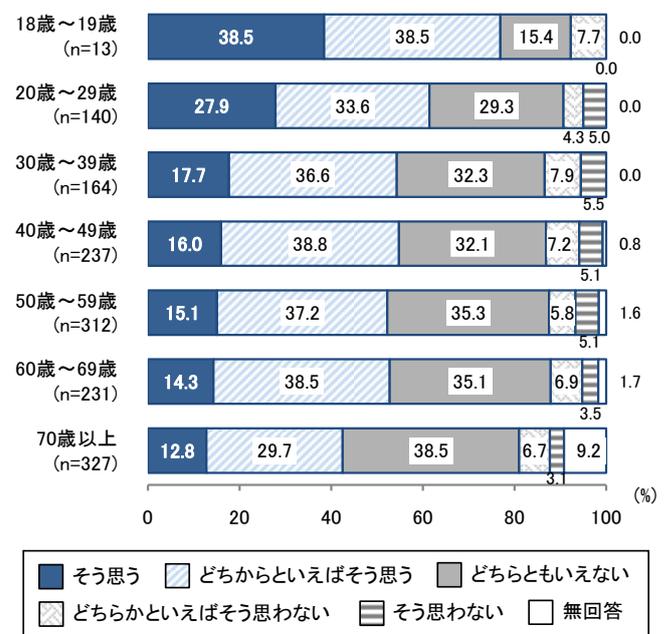
4. 駅や量販店での街頭啓発・啓発資料(品)の配布は、人権問題についての関心や理解を深めるために効果的である



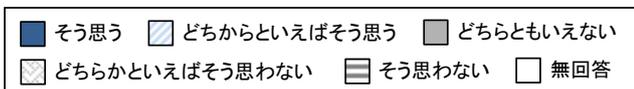
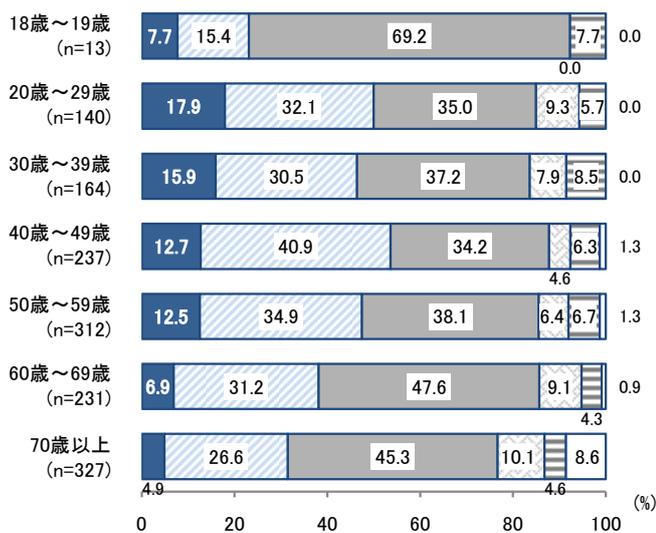
5. 学校での人権学習は、差別解消に役立つ



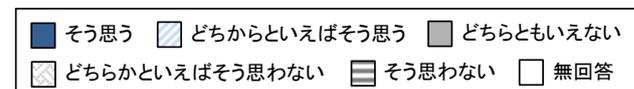
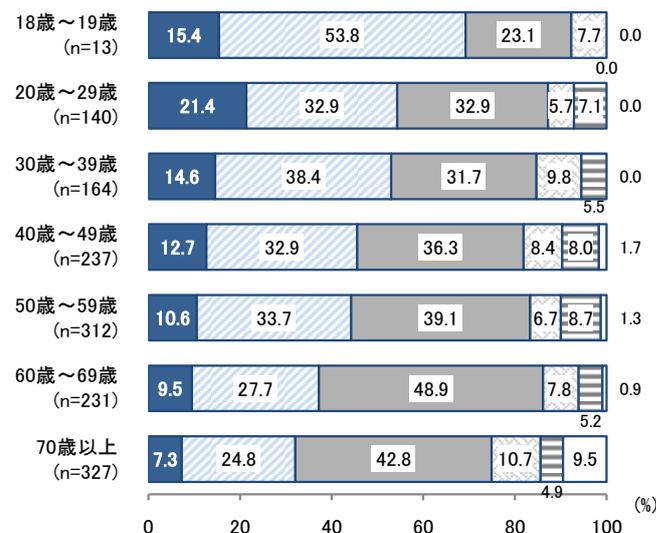
6. あらゆる人権問題について、積極的な教育・啓発を行うべきである



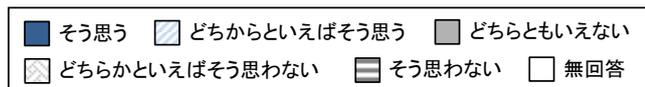
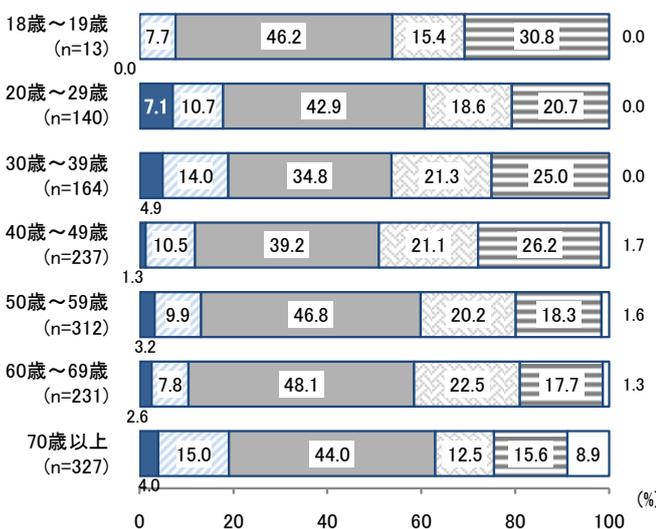
7. 家族でもっと人権問題について話し合うべきだ



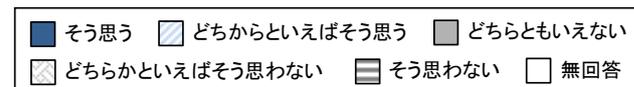
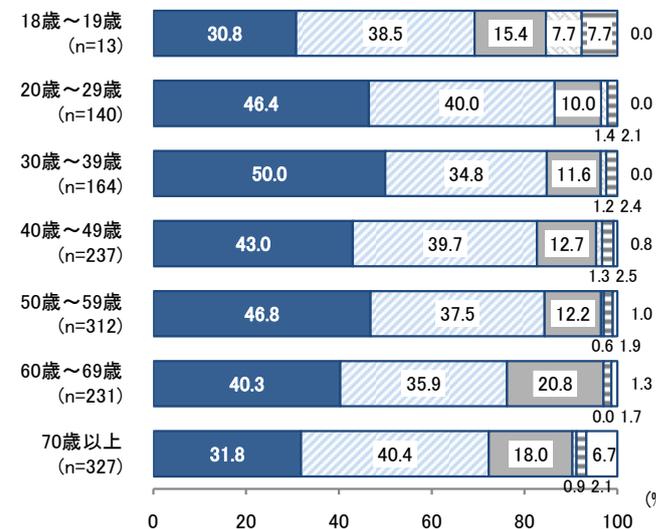
8. 学校で人権問題について、学習の機会をもっと増やすべきだ



9. 人権に関する講演会や研修会に積極的に参加したい



10. 命の大切さ、人間の尊厳、人間らしい生き方を学ぶのも人権学習である



【学区別】

学区別でみると、[1. 地区別懇談会や講演会・研修会は、人権問題の正しい理解に役立っている]の『そう思う』割合は、“葉山東”で47.6%と最も高く、“治田西”(32.4%)と15.2ポイントの差となっています。

[2. あらゆる人権問題について、今後もっと学びたい]は、“大宝西”では『そう思う』より『そう思わない』割合のほうが高く、それ以外の学区では『そう思う』のほうが高くなっています。

[3. 地区別懇談会に積極的に参加したい]の『そう思わない』割合は、“大宝東”で50.9%と最も高く、“金勝”(27.5%)と23.4ポイントの差となっています。

[4. 駅や量販店での街頭啓発・啓発資料(品)の配布は、人権問題についての関心や理解を深めるために効果的である]の『そう思う』割合は、“金勝”で37.4%と最も高く、“大宝東”(19.2%)と18.2ポイントの差となっています。

[5. 学校での人権学習は、差別解消に役立った]の『そう思う』割合は、“葉山東”で52.3%と最も高く、“治田東”(35.6%)と16.7ポイントの差となっています。

[6. あらゆる人権問題について、積極的な教育・啓発を行うべきである]の『そう思う』は、いずれの学区も45~55%程度となっており、“葉山東”で55.6%と最も高く、“葉山”(45.2%)と10.4ポイントの差となっています。

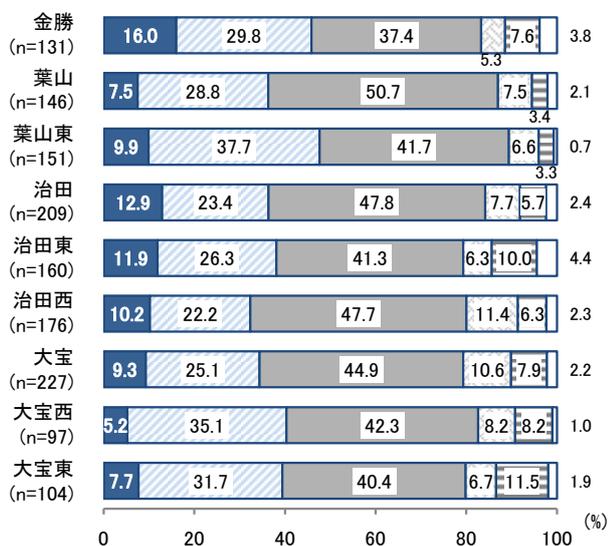
[7. 家族でもっと人権問題について話し合うべきだ]の『そう思う』割合は、“治田東”で50.1%と最も高く、“大宝西”(31.9%)と18.2ポイントの差となっています。

[8. 学校で人権問題について、学習の機会をもっと増やすべきだ]の『そう思う』は、“大宝西”で30.9%、それ以外の学区で4割台となっています。

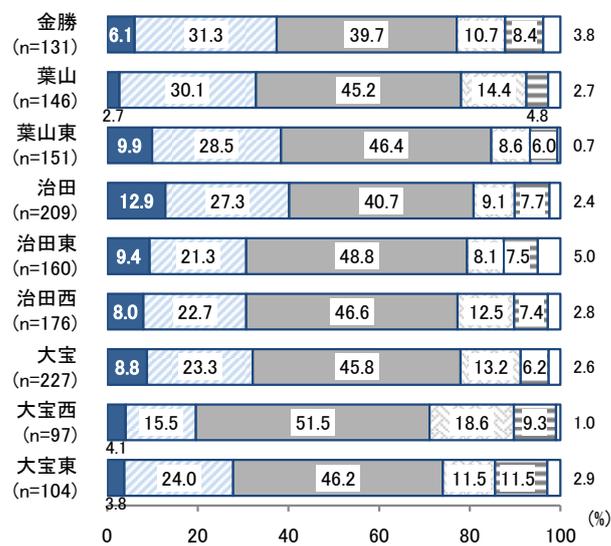
[9. 人権に関する講演会や研修会に積極的に参加したい]の『そう思わない』は、“大宝西”で51.6%と最も高く、“葉山東”(29.8%)と21.8ポイントの差となっています。

[10. 命の大切さ、人間の尊厳、人間らしい生き方を学ぶのも人権学習である]は、学区別でみても傾向に大きな違いはありません。

1. 地区別懇談会や講演会・研修会は、人権問題の正しい理解に役立っている



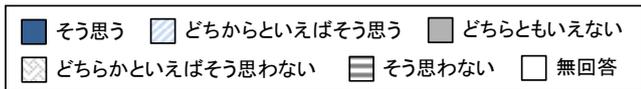
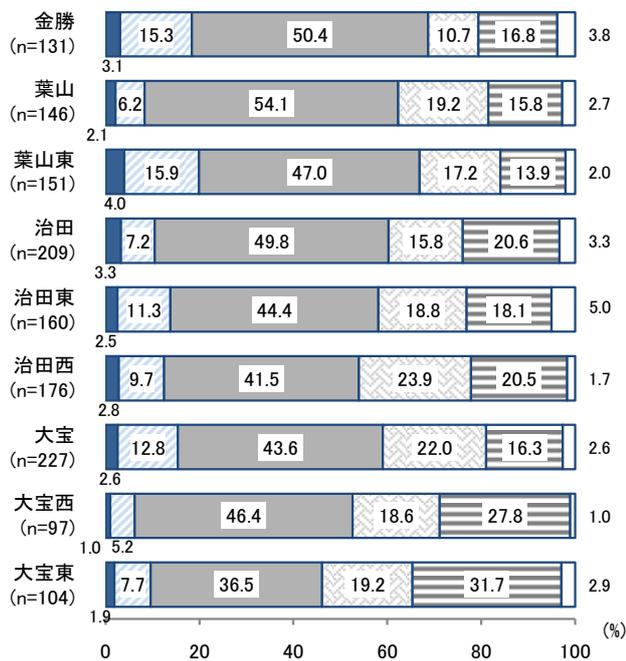
2. あらゆる人権問題について、今後もっと学びたい



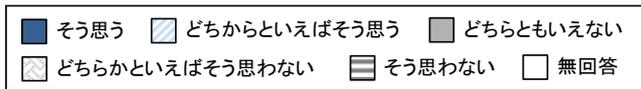
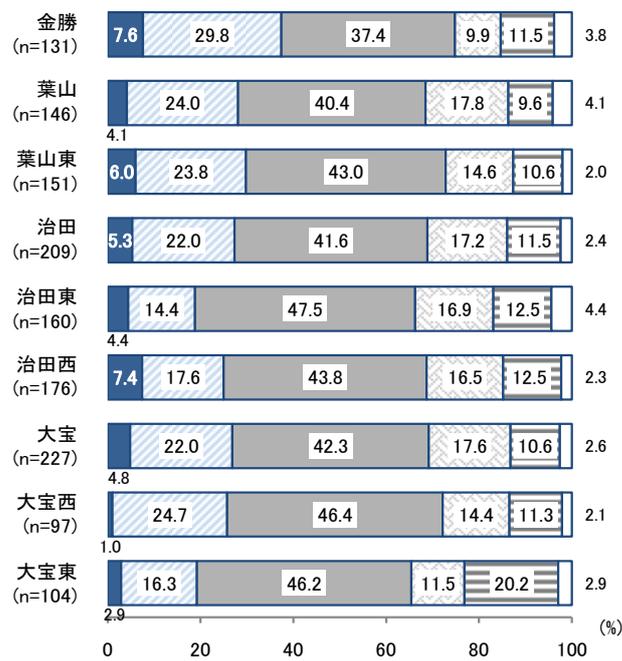
■ そう思う □ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない □ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない □ 無回答

■ そう思う □ どちらかといえばそう思う ■ どちらともいえない □ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない □ 無回答

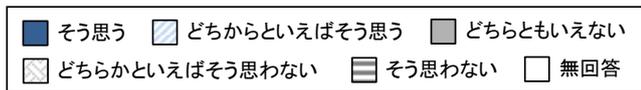
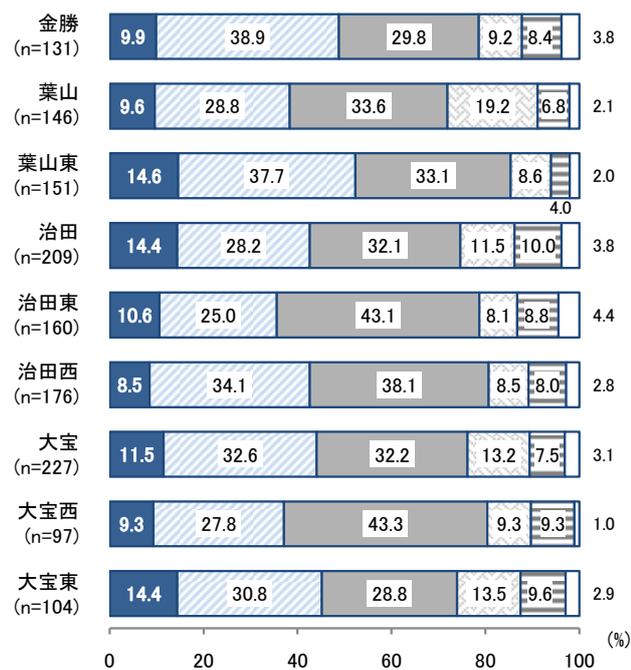
3. 地区別懇談会に積極的に参加したい



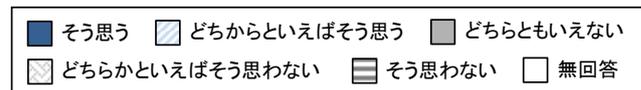
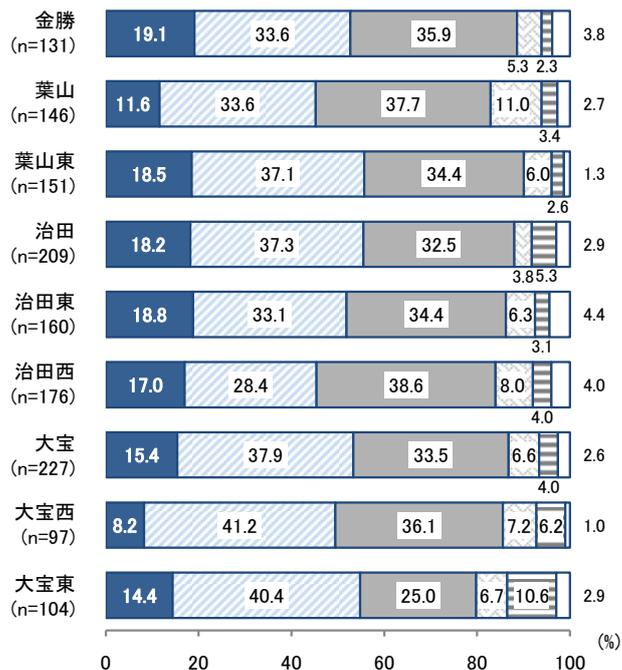
4. 駅や量販店での街頭啓発・啓発資料(品)の配布は、人権問題についての関心や理解を深めるために効果的である



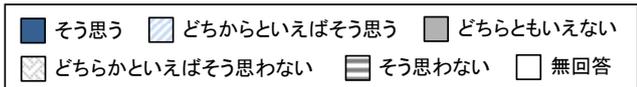
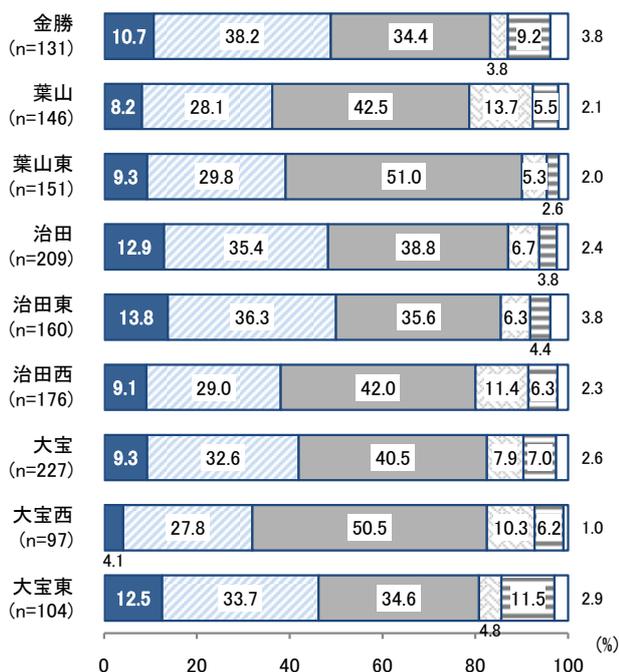
5. 学校での人権学習は、差別解消に役立つ



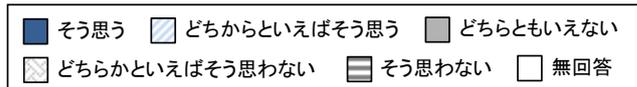
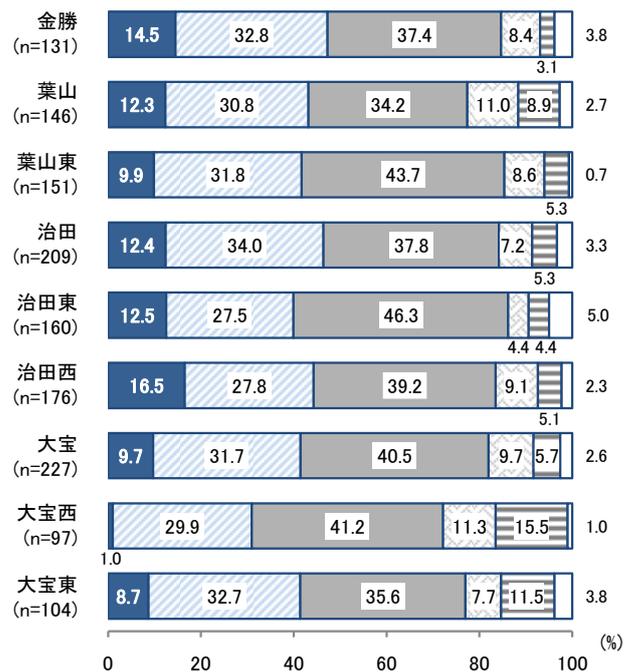
6. あらゆる人権問題について、積極的な教育・啓発を行うべきである



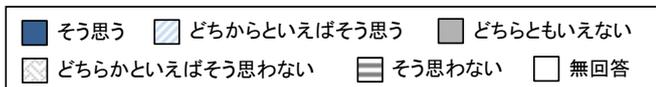
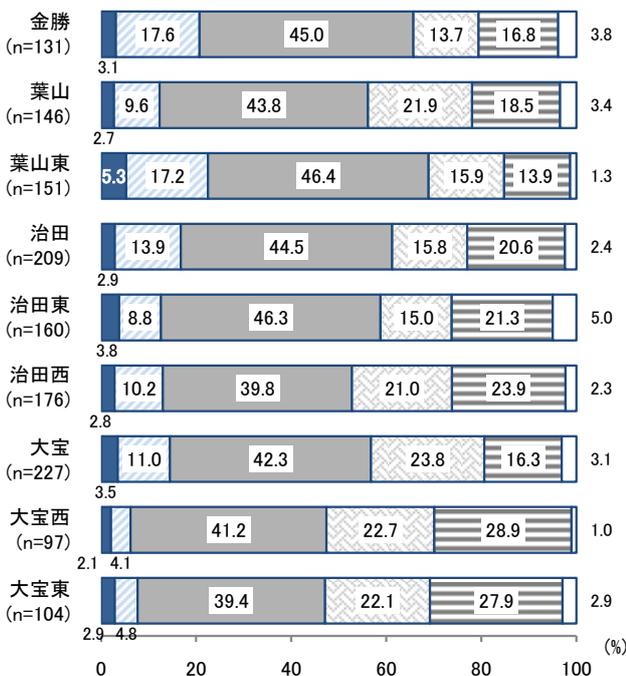
7. 家族でもっと人権問題について話し合うべきだ



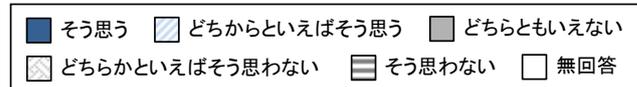
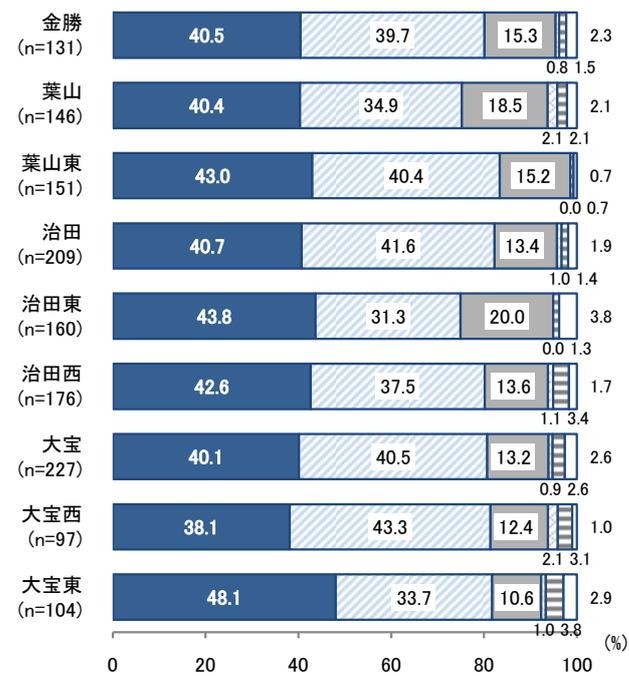
8. 学校で人権問題について、学習の機会をもっと増やすべきだ



9. 人権に関する講演会や研修会に積極的に参加したい



10. 命の大切さ、人間の尊厳、人間らしい生き方を学ぶのも人権学習である

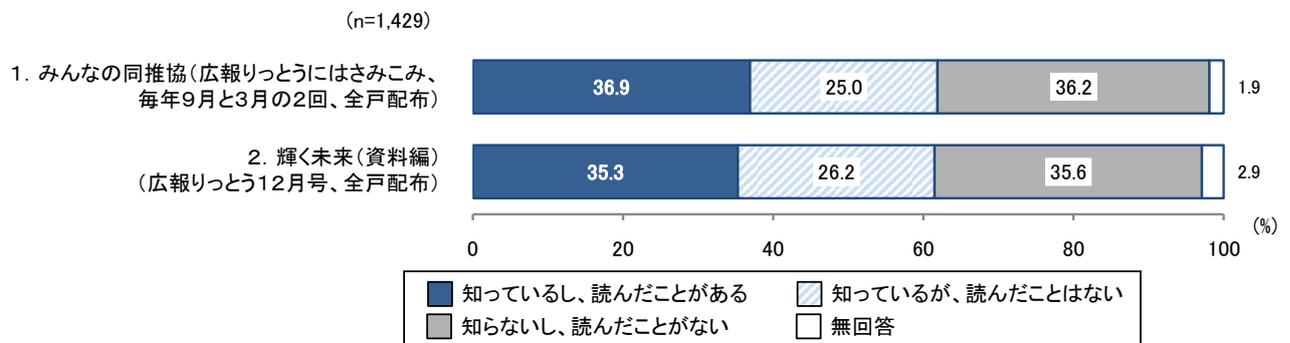


(2) 広報紙の認知度

問10 (1) 栗東市では、あらゆる差別をなくしていくために、毎年、さまざまな広報誌を発行しています。あなたは次の広報誌を知っていますか。また読んだことがありますか。
(それぞれ1つだけに○)

栗東市の広報誌について、[1. みんなの同推協(広報りっとうにはさみこみ、毎年9月と3月の2回、全戸配布)]は、「知っているし、読んだことがある」が36.9%と最も多く、次いで「知らないし、読んだことがない」が36.2%、「知っているが、読んだことはない」が25.0%となっています。

[2. 輝く未来(資料編)(広報りっとう12月号、全戸配布)]は、「知らないし、読んだことがない」が35.6%と最も多く、次いで「知っているし、読んだことがある」が35.3%、「知っているが、読んだことはない」が26.2%となっています。

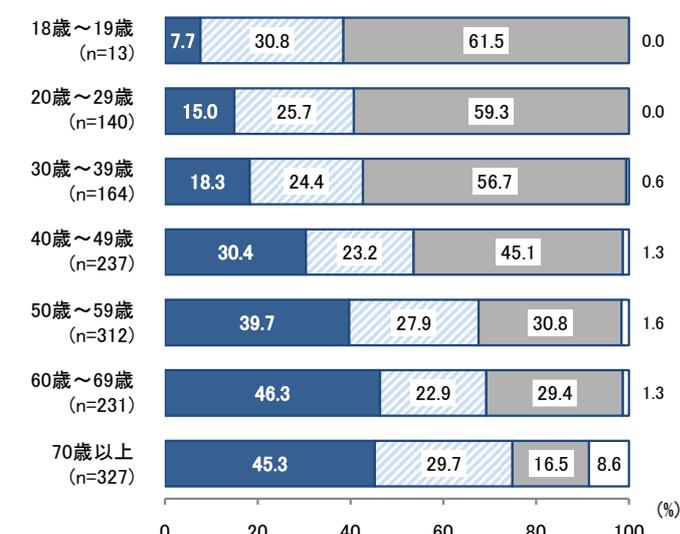
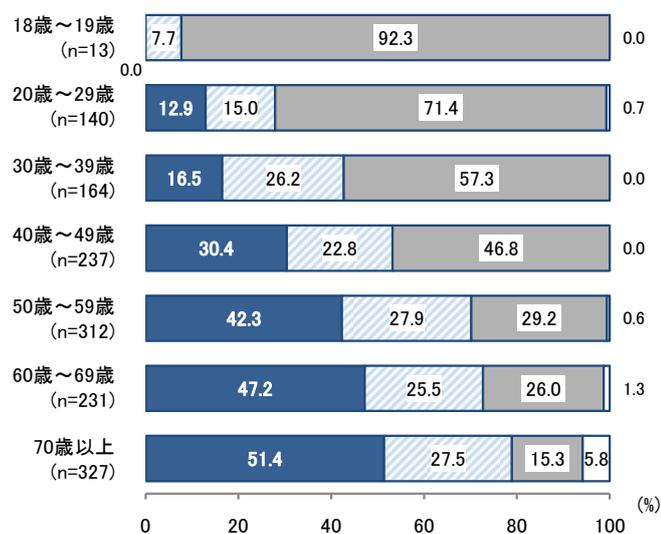


【年齢別】

年齢別でみると、広報誌の認知度（「知っているし、読んだことがある」+「知っているが、読んだことはない」）は高齢になるほど高い傾向にあり、「知っているし、読んだことがある」割合は、[1. みんなの同推協（広報りっとうにはさみこみ、毎年9月と3月の2回、全戸配布）]は“70歳以上”で51.4%と最も高く、[2. 輝く未来（資料編）（広報りっとう12月号、全戸配布）]は“60歳～69歳”で46.3%と最も高くなっています。

1. みんなの同推協（広報りっとうにはさみこみ、毎年9月と3月の2回、全戸配布）

2. 輝く未来（資料編）（広報りっとう12月号、全戸配布）



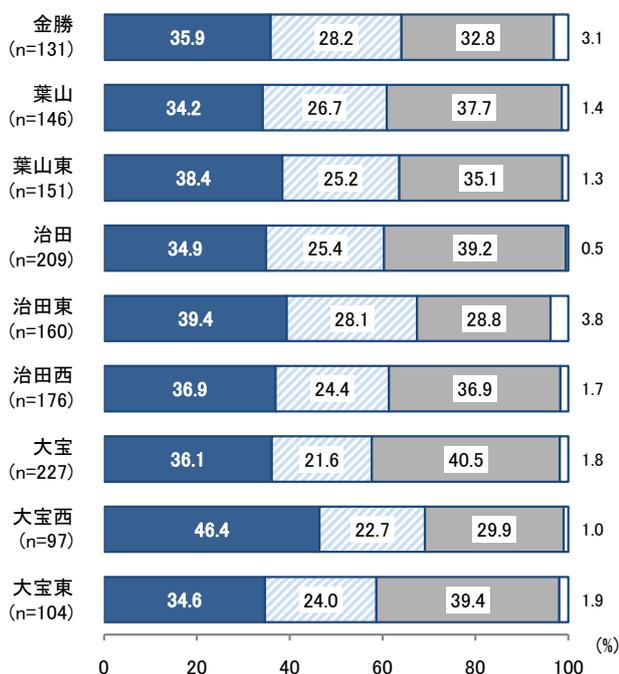
知っているし、読んだことがある
 知っているが、読んだことはない
 知らないし、読んだことがない
 無回答

知っているし、読んだことがある
 知っているが、読んだことはない
 知らないし、読んだことがない
 無回答

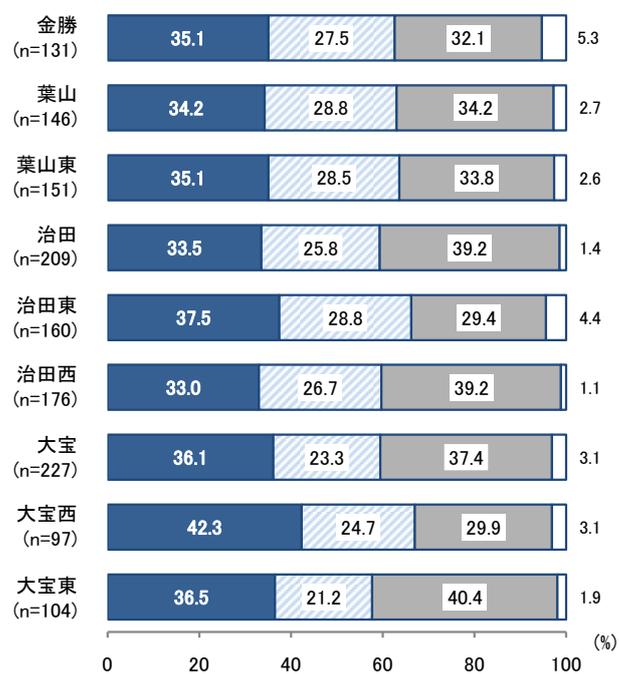
【学区別】

学区別でみると、[1. みんなの同推協（広報りっとうにはさみこみ、毎年9月と3月の2回、全戸配布）]の「知っているし、読んだことがある」割合は、“大宝西”で46.4%と最も高く、次いで“治田東”で39.4%となっています。[2. 輝く未来（資料編）（広報りっとう12月号、全戸配布）]の「知っているし、読んだことがある」割合は、“大宝西”で42.3%と最も高く、次いで“治田東”で37.5%となっています。

1. みんなの同推協（広報りっとうにはさみこみ、毎年9月と3月の2回、全戸配布）



2. 輝く未来（資料編）（広報りっとう12月号、全戸配布）



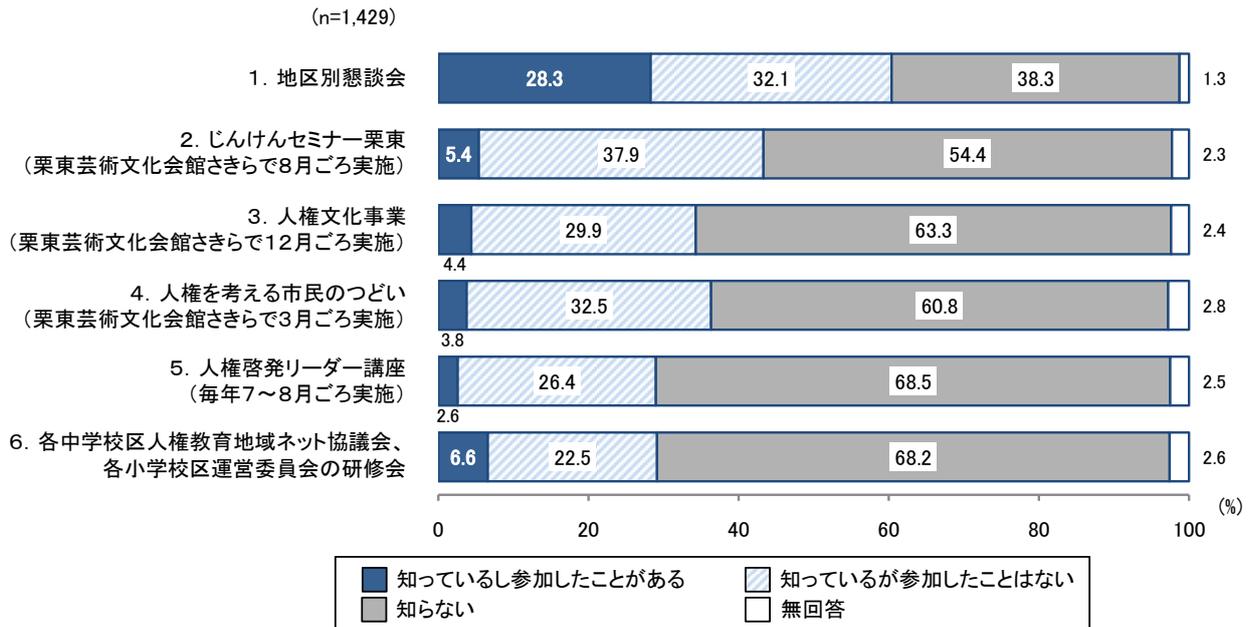
■ 知っているし、読んだことがある □ 知っているが、読んだことはない
 ■ 知らないし、読んだことがない □ 無回答

■ 知っているし、読んだことがある □ 知っているが、読んだことはない
 ■ 知らないし、読んだことがない □ 無回答

(3) 事業の認知度

問10 (2) 栗東市では、あらゆる差別をなくしていくために、毎年、さまざまな事業を実施しています。あなたは次の事業を知っていますか。また参加したことがありますか。(それぞれ1つだけに○)

栗東市が実施している事業について、「知っているし参加したことがある」割合は、[1. 地区別懇談会]で28.3%と最も高くなっています。一方「知らない」割合は、[5. 人権啓発リーダー講座(毎年7～8月ごろ実施)]が68.5%と最も高くなっています。

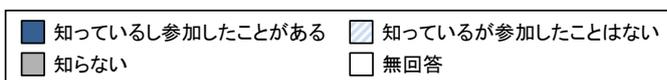
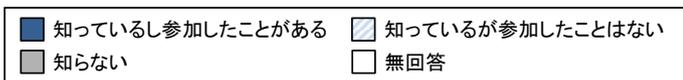
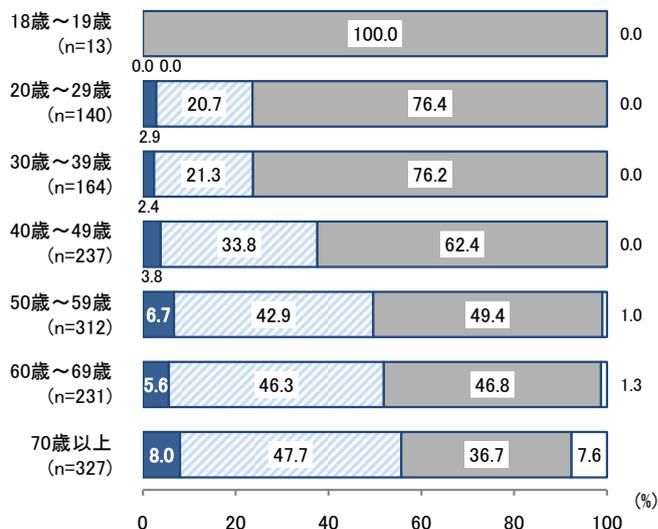
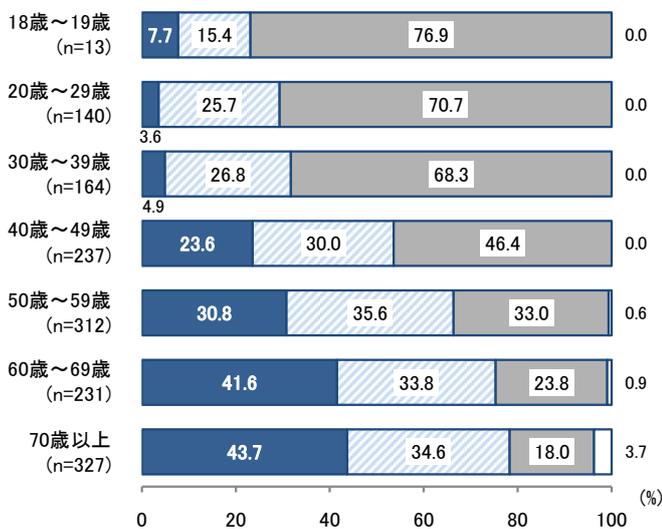


【年齢別】

年齢別でみると、事業の認知度（「知っているし参加したことがある」+「知っているが参加したことはない」）は、[6. 各中学校区人権教育地域ネット協議会、各小学校区運営委員会の研修会]は、“40歳～49歳”で38.4%、“50歳～59歳”で33.3%となっています。それ以外の事業では、認知度は高齢になるほど高く、また「知っているし参加したことがある」の割合も高齢になるほど高い傾向となっています。

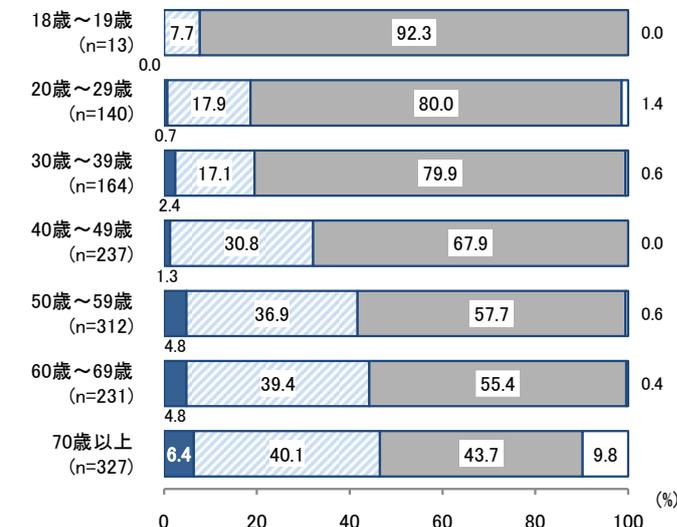
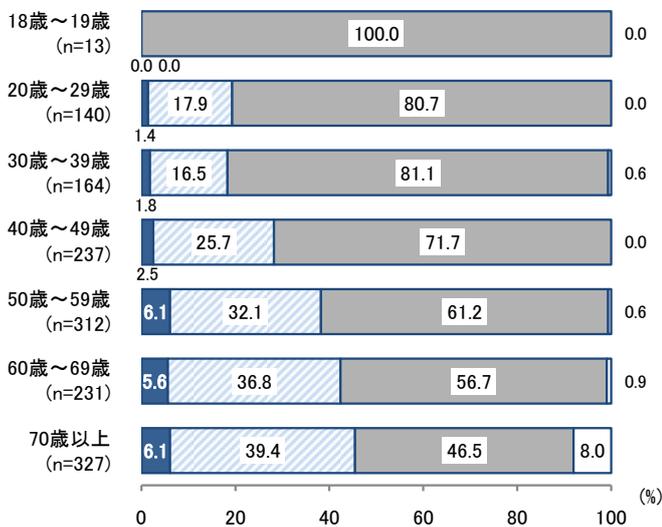
1. 地区別懇談会

2. じんけんセミナー栗東(栗東芸術文化会館さきらで8月ごろ実施)

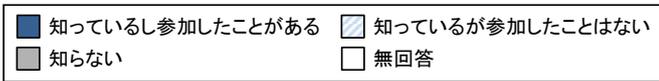
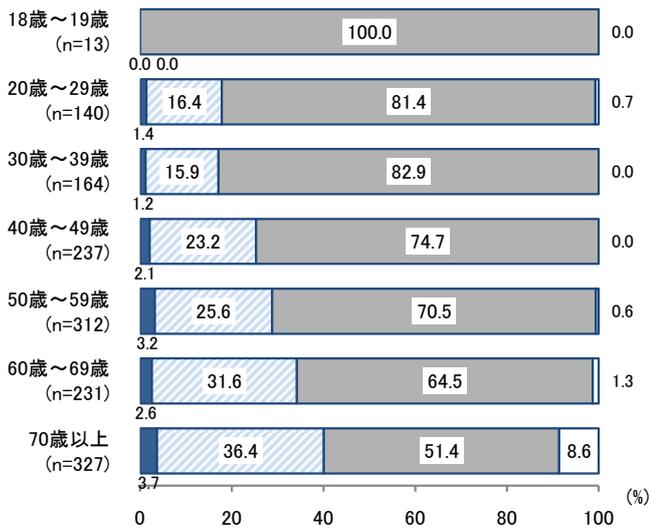


3. 人権文化事業(栗東芸術文化会館さきらで12月ごろ実施)

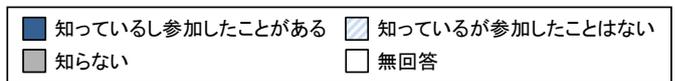
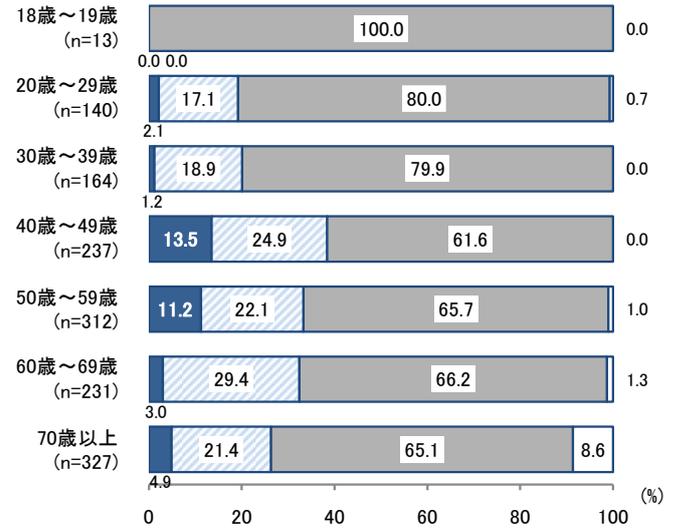
4. 人権を考える市民のつどい(栗東芸術文化会館さきらで3月ごろ実施)



5. 人権啓発リーダー講座(毎年7～8月ごろ実施)



6. 各中学校区人権教育地域ネット協議会、各小学校区運営委員会の研修会



【学区別】

学区別でみると、[1. 地区別懇談会]の「知っているし参加したことがある」割合は、“葉山東”で37.1%と最も高く、“治田”（20.1%）と17.0ポイントの差となっています。

[2. じんけんセミナー栗東（栗東芸術文化会館さきらで8月ごろ実施）]の認知度は、“大宝西”で49.5%と最も高く、“治田東”（39.4%）と10.1ポイントの差となっています。

[3. 人権文化事業（栗東芸術文化会館さきらで12月ごろ実施）]の認知度は、“大宝西”で44.3%と最も高く、“治田”（29.2%）と15.1ポイントの差となっています。

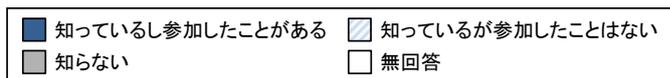
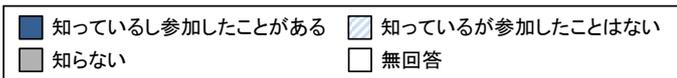
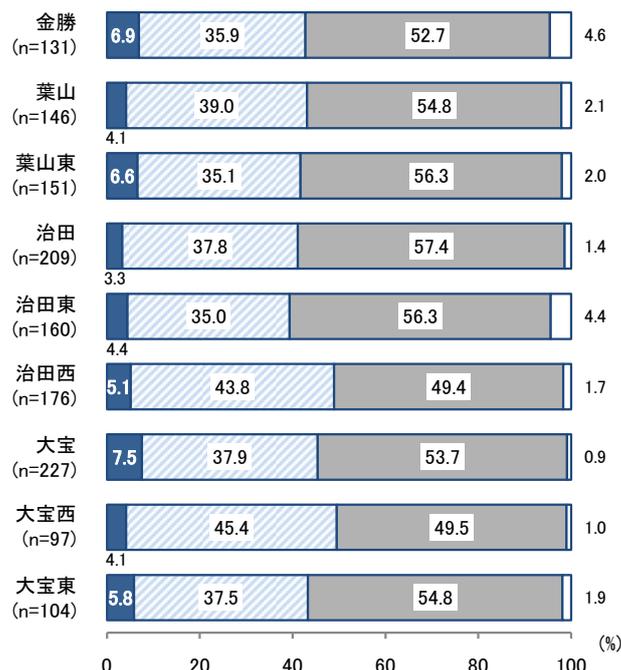
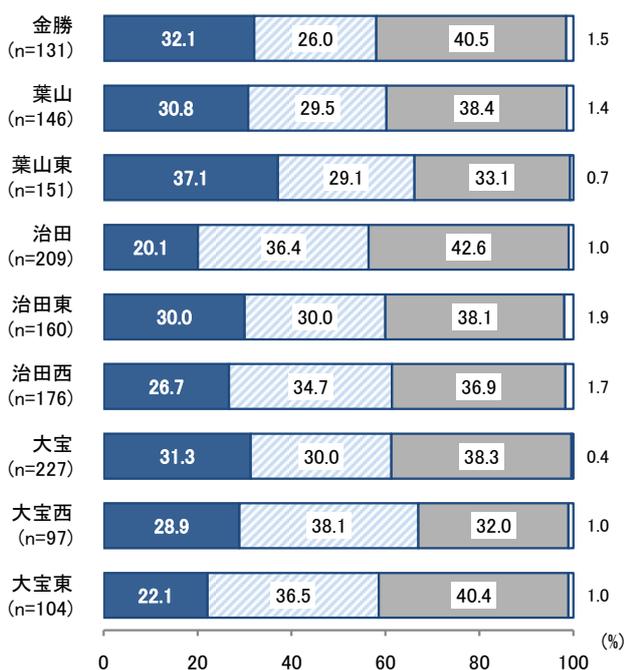
[4. 人権を考える市民のつどい（栗東芸術文化会館さきらで3月ごろ実施）]の認知度は、“大宝西”で46.4%と最も高く、“治田”（31.1%）と15.3ポイントの差となっています。

[5. 人権啓発リーダー講座（毎年7～8月ごろ実施）]は、学区別でみても傾向に大きな違いはありません。

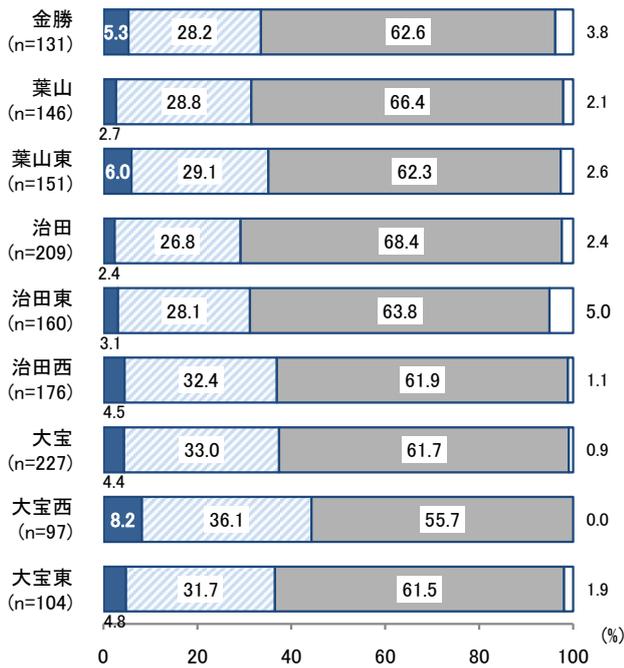
[6. 各中学校区人権教育地域ネット協議会、各小学校区運営委員会の研修会]の認知度は、“大宝西”で38.1%と最も高く、“大宝東”（24.0%）と14.1ポイントの差となっています。

1. 地区別懇談会

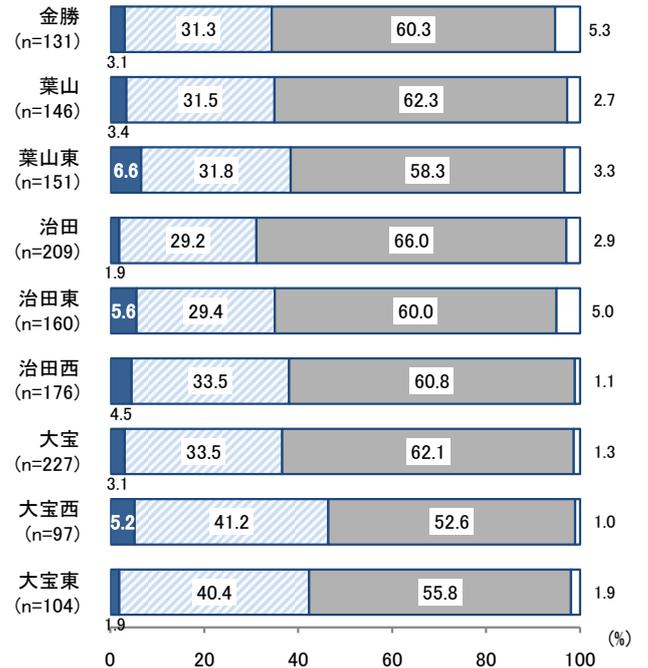
2. じんけんセミナー栗東(栗東芸術文化会館さきらで8月ごろ実施)



3. 人権文化事業(栗東芸術文化会館さきらで12月ごろ実施)



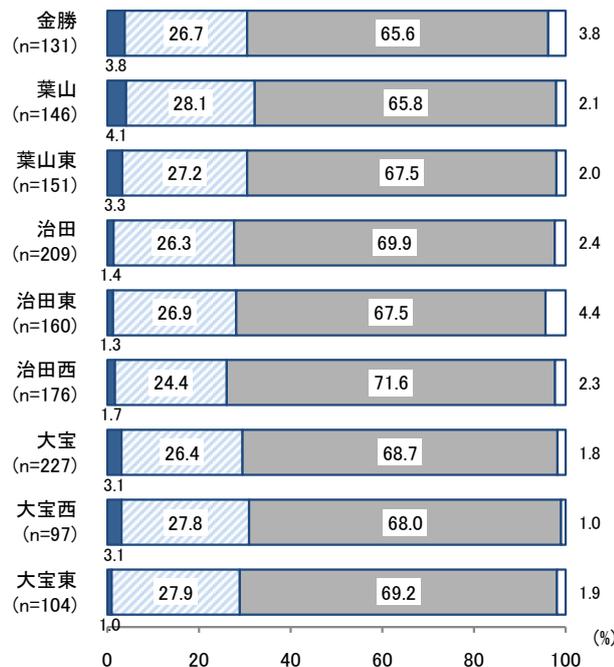
4. 人権を考える市民のつどい(栗東芸術文化会館さきらで3月ごろ実施)



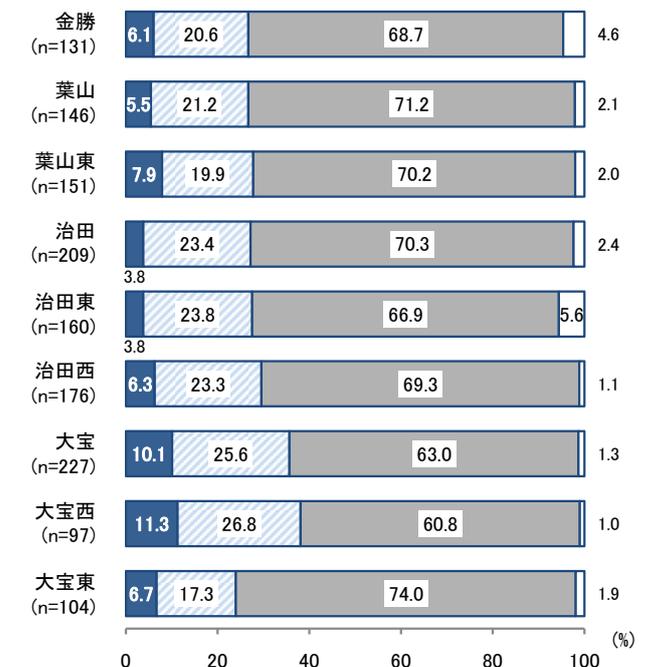
知っているし参加したことがある
 知っているが参加したことはない
 知らない
 無回答

知っているし参加したことがある
 知っているが参加したことはない
 知らない
 無回答

5. 人権啓発リーダー講座(毎年7~8月ごろ実施)



6. 各中学校区人権教育地域ネット協議会、各小学校区運営委員会の研修会



知っているし参加したことがある
 知っているが参加したことはない
 知らない
 無回答

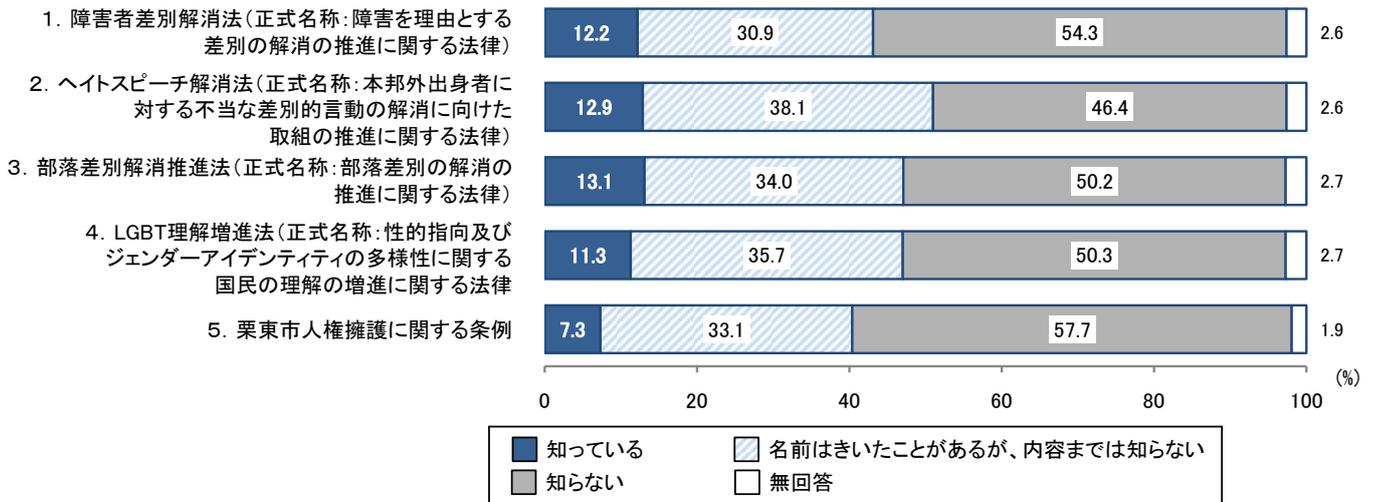
知っているし参加したことがある
 知っているが参加したことはない
 知らない
 無回答

(4) 人権に関わる法律や条例の認知度

問11 あなたは、次の人権に関わる法律や条例などについて、ご存じですか。（それぞれ1つだけに○）

人権に関わる法律や条例などについて、「知っている」と「名前はきいたことがあるが、内容までは知らない」を合わせた『知っている』割合は、[2. ヘイトスピーチ解消法（正式名称：本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律）] で51.0%と最も高くなっています。

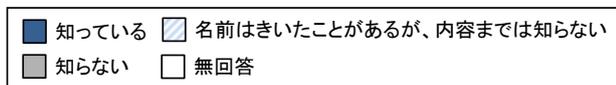
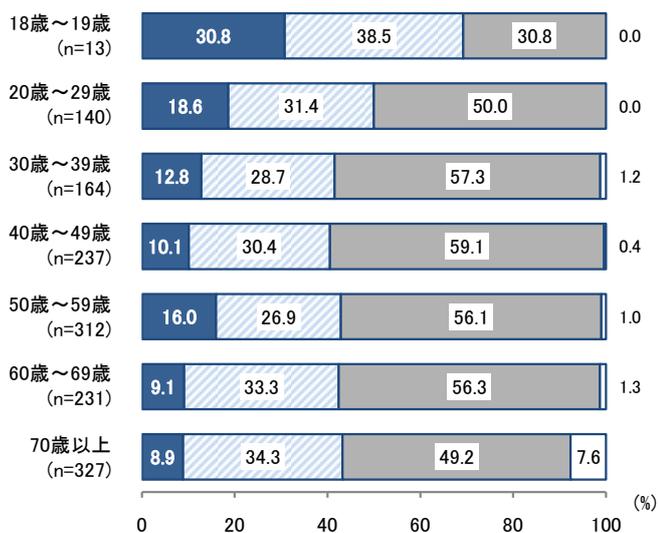
(n=1,429)



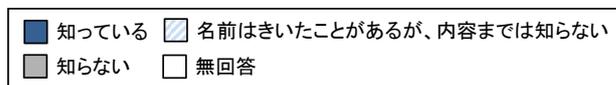
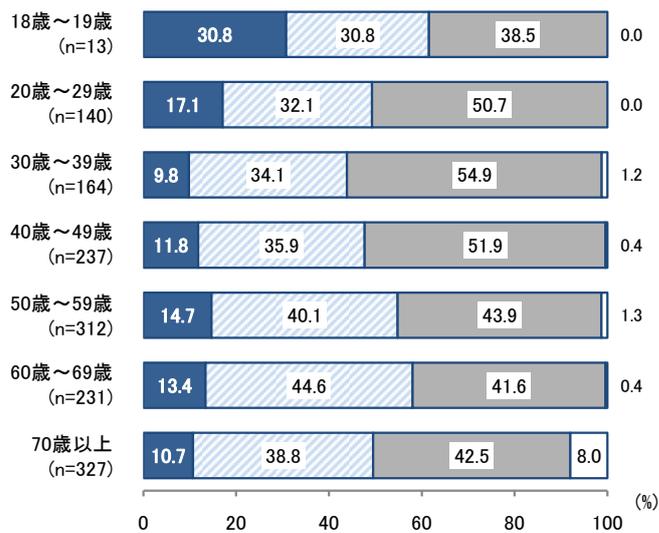
【年齢別】

年齢別でみると、[1. 障害者差別解消法（正式名称：障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律）]の『知っている』割合は、若い世代のほうが高い傾向にあり、“18歳～19歳”で69.3%、“20歳～29歳”で50.0%となっています。[2. ヘイトスピーチ解消法（正式名称：本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律）]の『知っている』は、“18歳～19歳”で61.6%、“60歳～69歳”で58.0%となっています。[3. 部落差別解消推進法（正式名称：部落差別の解消の推進に関する法律）]の『知っている』は、“18歳～19歳”で53.9%、“60歳～69歳”で53.7%となっています。[4. LGBT理解増進法（正式名称：性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律）]の『知っている』は、“18歳～19歳”で61.6%、“20歳～29歳”で52.2%となっています。[5. 栗東市人権擁護に関する条例]の『知っている』割合は高齢になるほど高く、“70歳以上”で55.3%となっています。

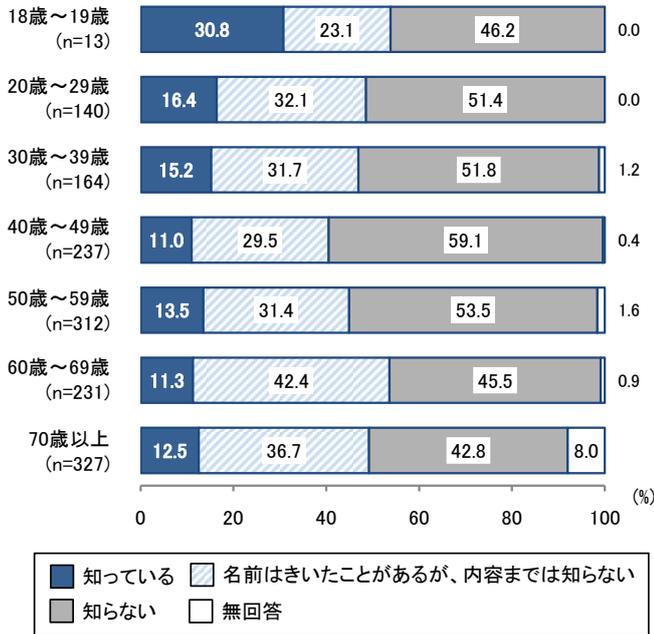
1. 障害者差別解消法(正式名称:障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律)



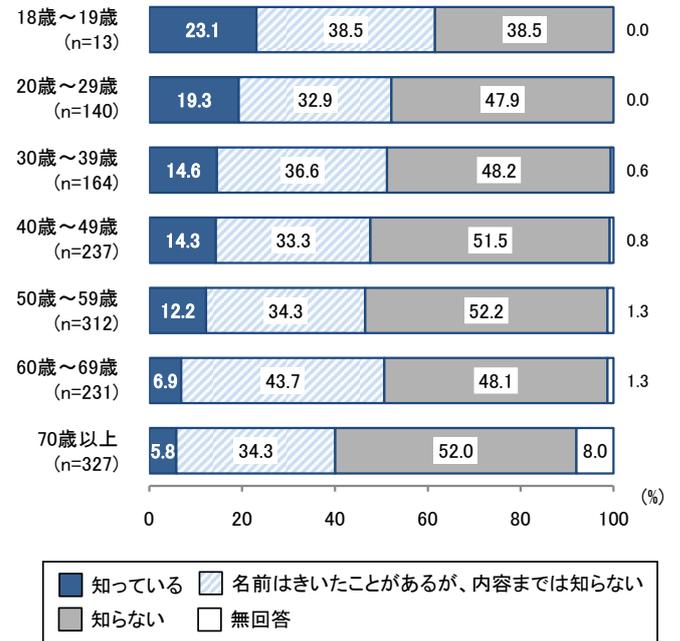
2. ヘイトスピーチ解消法(正式名称:本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律)



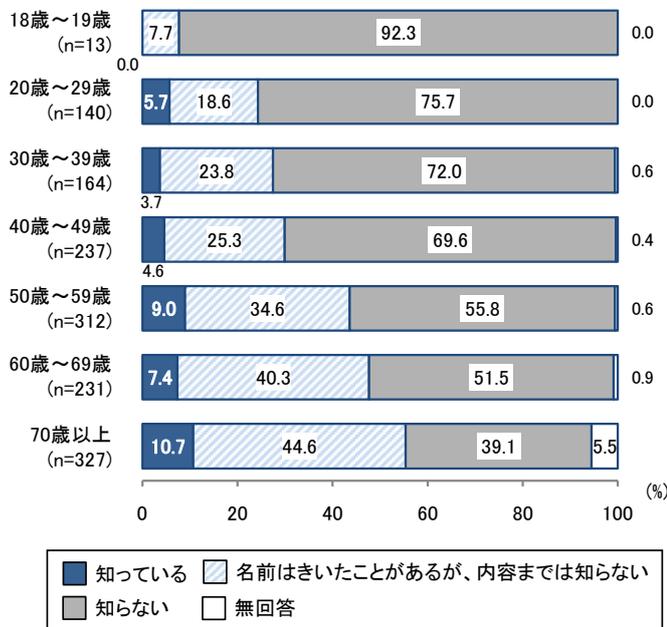
3. 部落差別解消推進法(正式名称:部落差別の解消の推進に関する法律)



4. LGBT 理解増進法(正式名称:性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律)



5. 栗東市人権擁護に関する条例



【学区別】

学区別でみると、[1. 障害者差別解消法（正式名称：障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律）]の「知っている」割合は“金勝”（6.1%）、“大宝西”（8.2%）で低くなっています。

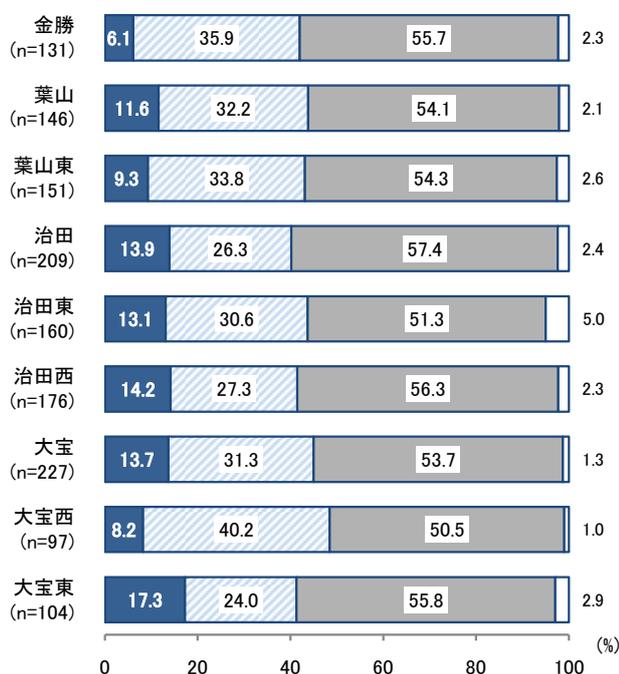
[2. ヘイトスピーチ解消法（正式名称：本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律）]の「知っている」割合は、“葉山東”（7.9%）、“大宝西”（8.2%）で低くなっています。

[3. 部落差別解消推進法（正式名称：部落差別の解消の推進に関する法律）]の「知っている」割合は、“葉山”（6.2%）で低くなっています。

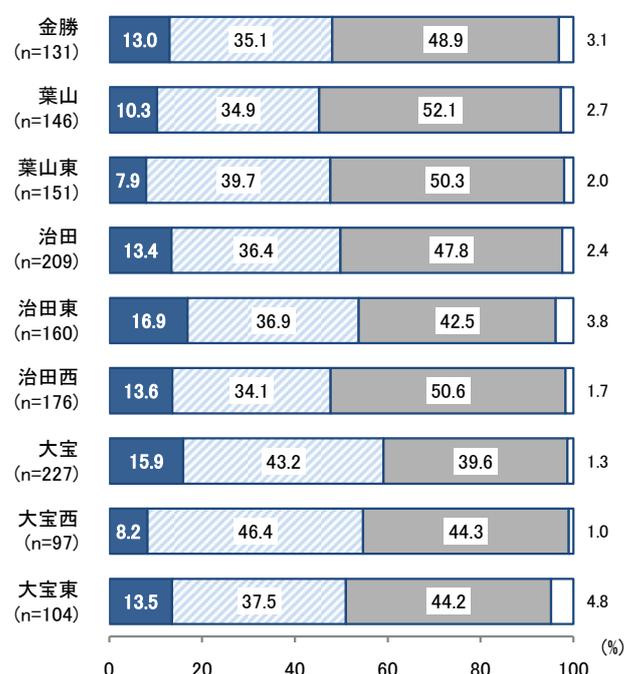
[4. LGBT理解増進法（正式名称：性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律）]の「知っている」割合は、“大宝西”で16.5%と高くなっています。

[5. 栗東市人権擁護に関する条例]の「知っている」割合は、“金勝”“葉山東”で9.9%となっています。

1. 障害者差別解消法(正式名称:障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律)



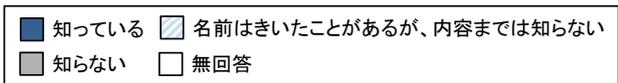
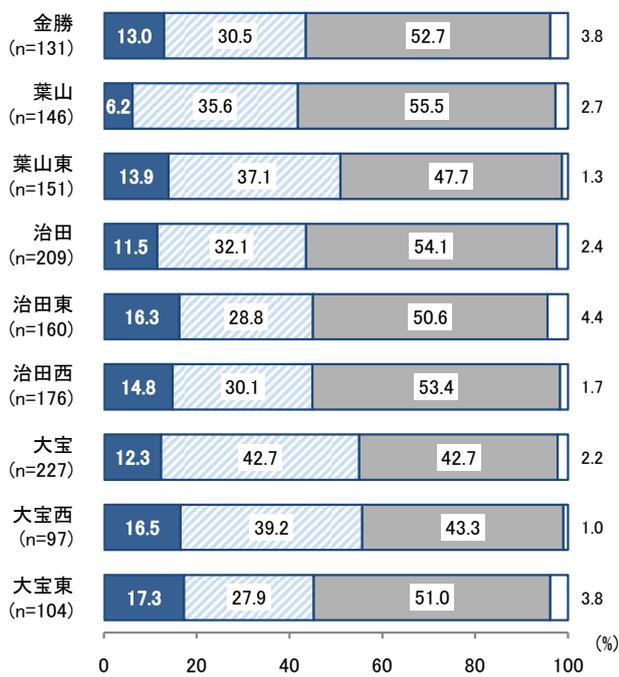
2. ヘイトスピーチ解消法(正式名称:本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律)



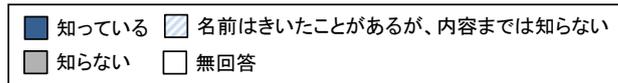
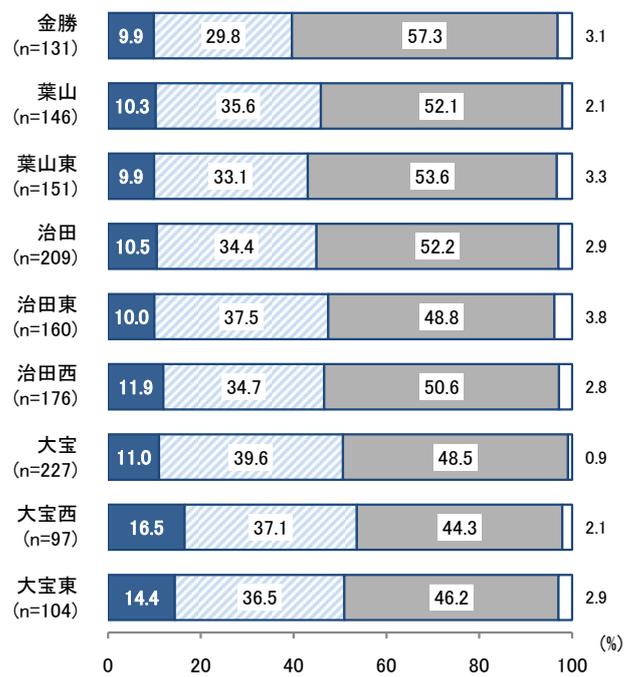
知っている
 名前をきいたことがあるが、内容までは知らない
 知らない
 無回答

知っている
 名前をきいたことがあるが、内容までは知らない
 知らない
 無回答

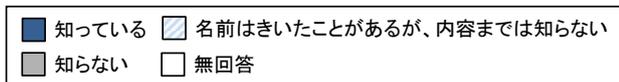
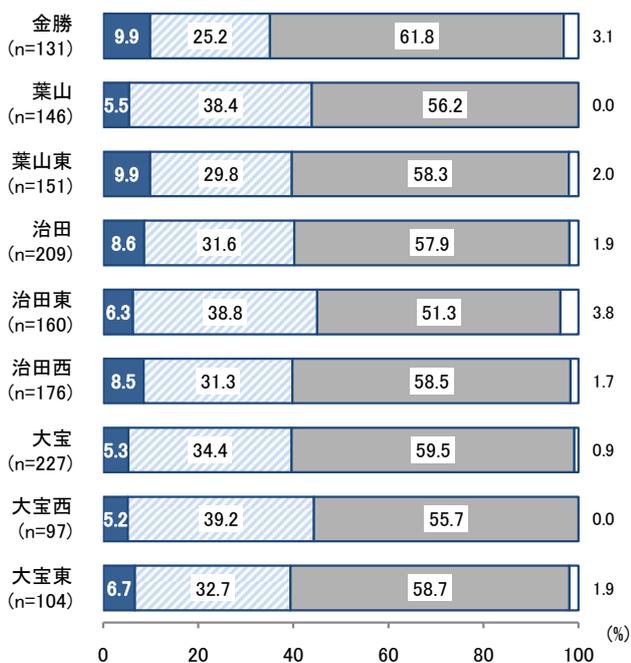
3. 部落差別解消推進法(正式名称:部落差別の解消の推進に関する法律)



4. LGBT 理解増進法(正式名称:性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律)



5. 栗東市人権擁護に関する条例



(5) 人権問題について感じていること（自由記述）

人権問題について日頃からお感じのことや、今まで聞いた話や体験などありましたら、ご自由にお書きください。

人権問題について感じていることについて、250人の方から283件の意見をいただきました。意見の内容を集約・分類した結果は次の通りです。

分野	意見内容	件数
人権問題に対する個人の意識・考え・意見 (82件)	人権や差別について積極的に取り上げないほうがよい、意識しすぎるのもよくない	18
	互いを思いやる心を持つこと、相手を尊重することが大切	9
	人権問題について学び、正しく知ることが必要	8
	差別や偏見はなくなる(なくすことは難しい)	8
	人権問題はよくわからない、身近に感じない	5
	一人ひとりが人権意識を持つことが大切	5
	差別や偏見はあってはならない	4
	人権問題の多様化	4
	人権侵害や差別に対する法による規制・罰則の見直しが必要	4
	最近マイノリティへの配慮が過剰である	3
	人権問題よりも優先すべきものがあると思う	3
	人権問題に関して他人を変えるのは難しいので、自分の考え方が大事である	3
	人権問題について、家庭で親が教えるべきである	2
	世代によって偏見的なものの見方や考え方をする人が多いように感じる	2
その他	4	
人権施策・教育・啓発のあり方 (34件)	教育・啓発、広報の方法の工夫・改善が必要である	8
	子ども・学生・若年層への人権教育の必要性	7
	人権学習を有意義に感じた	5
	特定分野に偏ることなく様々な人権問題を取り上げる必要がある	5
	子どもだけでなく大人・親世代への人権教育の実施	5
	家庭や社会など日常生活でも人権意識を高める話し合いが必要	2
	人権教育や研修に過剰に時間を割かれるのが疎ましい	2

分野	意見内容	件数
同和問題について (37件)	同和教育はかえって差別を意識させている、知らなくて良い	11
	同和地区の差別を身近で見聞きしたり体験したこと、意識したことがある	10
	実際に見たり体験したことはない、まったく知らなかった	7
	同和地区住民たちの意識や態度も問題がある	7
	その他	2
外国人の人権・問題等 について (19件)	ルールを守れない外国人の増加や受け入れに対する不安や不満	14
	差別への反対・共生への意見	5
障害者の人権・問題に ついて (9件)	当事者としての悩み・対峙している問題	5
	その他	4
LGBTQ について (7件)	LGBTQ に関する現状の法に対する不満	4
	LGBTQ への配慮はやりすぎである、窮屈である	3
インターネットによる人 権侵害・問題について (7件)	誹謗中傷への問題提起	5
	新たな人権問題である	2
その他の人権問題に ついて (10件)	いやがらせや人権侵害を受けた経験等	6
	女性問題・男性問題・男女共同参画	4
地区別懇談会につい て (4件)	地区別懇談会そのものへの不信感	2
	地区別懇談会の内容または広報についての改善案	2
人権問題に関する市 の職員、行政への意見 (18件)	行政への意見	12
	市長や市の職員に対する意見	6
人権施策以外の行政 への意見や要望 (17件)	税や公共料金が高いことによる生活の困窮	4
	子育て支援に関すること	4
	バリアフリー化の推進、道路の整備等(段差や傾斜の解消等)	3
	福祉施策や支援に関すること	3
	その他	3
本調査への意見 (15件)	アンケートそのものへの苦言・疑問	7
	設問・構成の改善点の提案	5
	その他	3
その他(24件)		24
合計		283

III 資料 (調査票)

「人権問題に関する市民意識調査」 のご協力について (お願い)

市民の皆さまには、日ごろから市政の推進にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。さて、栗東市ではあらゆる差別や偏見をなくし、一人ひとりが尊重され誰もが参画できるまちづくりをめざして取り組んでいます。

このたび、これまでの人権に関する取組の成果と課題を踏まえ、今後の取組の基礎資料として活用することを目的とし、市民の皆さまの人権にかかわることについてのお考えをお聞かせいただきたく、本調査を実施いたします。

この調査は、市内にお住まいの18歳以上の方3,000名を無作為に選び、質問にお答えいただく方法により実施します。

あなた個人のお名前や回答の内容が公表されることは決してありませんし、個人の秘密は厳守されますので、日頃のお考えをそのままお書きくださるようお願いいたします。

2025 (令和7) 年 9月

○9月30日(火)までにご回答をお願いします。

○回答方法 (どちらか一つをお選びください。)

- ◆ 調査票の郵送により回答
 - ・本調査票に直接ご記入ください。
 - ・記入後は、お名前は書かず返信用封筒に入れて、郵便ポストにご投函ください。切手は不要です。

◆ インターネットによる回答

- ・スマートフォンやパソコン等で、以下の二次元コードを読み取っていただき、質問項目にそって回答してください。



WEB 回答サイト

<https://src.webcas.net/form/pub/src2/252085jk>

専用サイトへのログインの際に、次のID・パスワードを入力してください。

◇ ID ◇パスワード

※IDとパスワードは、調査専用画面に入るための認証キーです。また、紙の調査票とインターネットで同じ方による二重回答を防ぐためです。どの方にもID・パスワードを送付したかは一切記録していませんので、回答者個人を特定するものではありません。

【調査に関する問い合わせ】

栗東市市民部人権擁護課 担当 芝田・井上

TEL : 077-551-0133 FAX : 077-552-5544

E-mail : jinken@city.ritto.lg.jp

人権全般について

問1

世の中のあり方や人間の生き方について次のような意見があります。あなたはどのようなと思いますか。それぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

	そう思う	どちらかといふ	どちらともいえない	どちらかといふ	そう思わない
1. 今の社会では、個人の考え方や生き方が大切にされている	1	2	3	4	5
2. 人権問題は、すべての市民の問題である	1	2	3	4	5
3. 自分の権利を主張して、他人の迷惑を考えない人が増えている	1	2	3	4	5

問2

あなたの身の回りにある解決すべき人権問題はどれですか。あてはまるものを3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

1. 女性に関わる問題 (例)性的嫌がらせ、暴力、賃金格差、役割分担意識					
2. 子どもに関わる問題 (例)いじめ、体罰、児童虐待、性被害					
3. 高齢者に関わる問題 (例)高齢者虐待、介護放棄、悪質商法や詐欺の被害					
4. 障がいのある人に関わる問題 (例)虐待、バリアフリー化の遅れ、就労での不当な扱い					
5. 部落差別に関わる問題 (例)結婚や就職での差別、インターネット上の差別的な書き込み					
6. アイスの人々に関わる問題 (例)言語や文化の継承の問題、結婚や就職での差別					
7. 外国人に関わる問題 (例)アパートへの入居拒否、賃金格差、就労での不当な扱い					
8. HIV、ハンセン病、新型コロナウイルスなどの感染症患者などに関わる問題 (例)採用拒否、元患者やその家族に対する差別、インターネット上の誹謗中傷					
9. 刑を終えて出所した人やその家族に関わる問題 (例)就職や住居の確保が困難である、悪意のあるうわさの流布、家族に対する偏見等					
10. 犯罪被害者やその家族に関わる問題 (例)生命、身体、財産上の直接的な被害、メディアの過剰取材、周囲の無理解や偏見					
11. インターネットによる人権侵害に関わる問題 (例)誹謗中傷、プライバシーの侵害、個人情報流出					
12. 北朝鮮当局によって拉致された被害者等に関わる問題 (例)多くの人が拉致され、未だに帰国できない人々が多く存在する問題					
13. ホームレスに関わる問題 (例)無理解による偏見や差別、嫌がらせ、暴行					
14. LGBTQ等といった性の多様性に関わる問題 (例)同性パートナーとの入居拒否、性自認や性的指向を理由とする偏見や差別					
15. 性的サービスや労働の強要など人身取引に関わる問題 (例)性的搾取、強制労働					
16. 震災などの災害に起因する人権問題 (例)避難所等でのプライバシーや女性・高齢者への配慮不足、風評に基づく嫌がらせ					
17. その他の問題(具体的に:)					
18. 特になし					

問3

人権問題や差別に対する意識について、あなたの考えに近いものはどれですか。それぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

	そう思う	どちらかといまは	どちらともいえない	どちらかといまは	そう思わない
1. 差別を受けた人のくやしきは、とても人ごととは思えない	1	2	3	4	5
2. 差別を共になくそうとする態度を身につけたい	1	2	3	4	5
3. 差別された人の訴えや願いにもっと耳をかたむけたい	1	2	3	4	5

	そう思う	どちらかといまは	どちらともいえない	どちらかといまは	そう思わない
4. 人権尊重のまちづくりのための環境をよくするのは行政の責務だ	1	2	3	4	5
5. 差別的言動があったとき、誤りを指摘できる	1	2	3	4	5
6. 栗東市は、基本的人権が尊重されている市である	1	2	3	4	5
7. 差別を解消するために、努力している人々を応援したい	1	2	3	4	5
8. 自分は、差別を解消するために努力している	1	2	3	4	5
9. 差別の解消はむずかしいので、そっとしておいたほうがよい	1	2	3	4	5
10. 差別をしないように人権意識を高め、日常生活に生かしたい	1	2	3	4	5
11. 差別を解消するために何をすればよいかわからない	1	2	3	4	5
12. 一人ひとりが尊重される集団や社会を築くため、リーダーになって努力したい	1	2	3	4	5
13. ささまざまな人権問題の解決には、人を信頼し、認め合える豊かな人間関係づくりが大切である	1	2	3	4	5

部落差別問題について

部落差別問題とは、日本社会の歴史的過程で形づくられた身分差別により、日本国民の一部の人々が、長い間、経済的、社会的、文化的に低い状態に置かれることを強いられ、日常生活のうえで様々な差別を受けるなどしている、我が国固有の人権問題です。

問4

部落差別問題に関する次のような意見について、あなたはどのように思われますか。それぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

	そう思う	どちらかといまは	どちらともいえない	どちらかといまは	そう思わない
■部落差別問題に対する考え					
1. 対象地域 ※1 の人とわかると、意識してはいけないと思ってもついつい意識してしまう	1	2	3	4	5
2. 現在、部落差別問題で一番深刻なことは、就労の安定である	1	2	3	4	5
3. 現在、部落差別問題で一番深刻なことは、結婚についてである	1	2	3	4	5

そう思う	そう思う	どちらかといえは	どちらともいえない	どちらかといえは	どちらともいえない	そう思わない
4. 部落差別問題は、私とは関係ない話だ	1	2	3	4	5	5
5. 部落差別問題は、なくなりつつあり、人々の意識からだんだん消えつつある	1	2	3	4	5	5
6. 部落差別は、大げさに取りあげることでもない	1	2	3	4	5	5
7. 部落差別問題について自分自身に問いかけなければならぬ	1	2	3	4	5	5
8. もし、わが子が対象地域の人とつき合っていたら、悩んでしまう	1	2	3	4	5	5
9. 部落差別問題は近い将来、解決する	1	2	3	4	5	5
■部落差別問題の教育の在り方について						
10. 部落差別問題学習※2は、部落差別を知らない人にまで知らせることになり、差別を広げている	1	2	3	4	5	5
11. 部落差別問題は、人権問題全体の教育・啓発の一環として行うべきである	1	2	3	4	5	5
12. 人権意識を高めるためには、部落差別問題だけをとりあげて教育・啓発を行うのは誤りである	1	2	3	4	5	5
13. 部落差別問題学習を積極的にすすめれば、人々の差別意識や偏見はなくなっていく	1	2	3	4	5	5

※1 「対象地域」とは、旧地域改善対策特別措置法第1条に規定する地域（旧同和地区）という意味です。

※2 「部落差別問題学習」とは、部落差別の現状や歴史、その解決に向けた取組について考える学習の中で、差別をなくす意識や態度、実践力の育成を目指すものです。

問5

(1) あなたが、部落差別について知ったのは、いつ頃ですか。あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

1. 6歳未満（小学校入学以前のとき）)
2. 6歳～9歳未満（小学校1～3年生のとき）	
3. 9歳～12歳未満（小学校4～6年生のとき）	
4. 12歳～15歳未満（中学生のとき）	
5. 15歳～18歳未満（高校生のとき）	
6. 18歳～20歳未満	
7. 20歳以上	
8. はっきり覚えていない	
9. その他（具体的に：)	

(2) あなたが、部落差別問題について、はじめて知ったきっかけは、何からですか。あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

1. 家族（祖父母、父母、きょうだいなど）から聞いた)
2. 親戚の人から聞いた	
3. 近所の人から聞いた	
4. 職場の人から聞いた	
5. 学校の友達から聞いた	
6. 学校の授業で教わった	
7. テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った	
8. インターネットで知った	
9. 同和問題の集会や研修会で知った	
10. 市や県の広報誌や冊子などで知った	
11. その他（具体的に：)	

(3) あなたは、現在でも部落差別があると思いますか。あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

1. 部落差別はいまだにあると思う	→ (4) へ
2. 部落差別はもはや存在しないとと思う	→ 問6へ

問5 (3) で「1. 部落差別はいまだにあると思う」とお答えになった方におたずねします。

(4) 現在でも部落差別が残っているとすれば、その原因はどこにあると思いますか。あてはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. 部落差別に関する正しい知識を持っていない人がいるから)
2. 落書きやインターネット上などで差別を助長する人がいるから	
3. これまでの教育や啓発が十分でなかったから	
4. 昔からある偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから	
5. 地域社会や家庭において偏見が植え付けられることがあるから	
6. 被差別部落が行政から優遇されていたように感じるから	
7. 道路や水道などのインフラ整備が十分でない地域がまだ残っているから	
8. 被差別部落に対するマイナスイメージがまだ残っているから	
9. 教育や啓発をやりすぎたから	
10. その他（具体的に：)	
11. 特になし	
12. わからない	

さまざまな人権問題について

問6

人権の尊重や侵害については、人によってさまざまな意見があります。あなたはどのように思われますか。それぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

	そう思う	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
■女性に関わる問題						
1. 結婚すれば妻は夫の姓を名乗るのが自然だ	1	2	3	4	5	5
2. 世の中はいろいろな場面で男性優位だと感じる	1	2	3	4	5	5
3. 男性は外で働き、女性は家庭を中心に家事・育児を担うのがよい	1	2	3	4	5	5
■子どもに関わる問題						
4. 子どもの意見表明権が制定されたが、子どもの意見を聞く必要はない	1	2	3	4	5	5
5. 子どものしつけのためなら、時には親が体罰を加えることもやむを得ない	1	2	3	4	5	5
6. 病気や障がいなど、ケアを要する家族がいる場合、子どもでも家事や家族の世話、介護などを日常的に担わなければならないのは、しかたのないことだ	1	2	3	4	5	5
■高齢者に関わる問題						
7. 高齢者が暮らしやすくするために、社会の仕組みづくりを進めていく必要がある	1	2	3	4	5	5
8. 認知症で徘徊する高齢者は迷惑をかけるから、行動の自由を制限されても仕方がない	1	2	3	4	5	5
9. 高齢者であるというだけで、仕事の機会や職種が制約されるようなことはあってはならない	1	2	3	4	5	5
■障がいのある人に関わる問題						
10. 障がいのある人に対する不当な扱いを減らし、合理的配慮について考えていく必要がある	1	2	3	4	5	5
11. 補助犬を連れていくことを理由に、入店を断られることは問題である	1	2	3	4	5	5
12. 企業は利潤が第一なのだから、障がい者の雇用が進まなくても仕方がない	1	2	3	4	5	5
■外国人に関わる問題						
13. 外国人の生活習慣や文化への理解や認識を深めていく必要がある	1	2	3	4	5	5
14. 外国人だからという理由で、賃貸住宅への入居を断る不動産業者がいることは問題である	1	2	3	4	5	5
15. 日本に住む外国人は、できるだけ日本の文化や習慣に合わせる努力をすべきである	1	2	3	4	5	5

	そう思う	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
■インターネットに関わる問題						
16. インターネットやSNSによる情報は、差別や偏見を広げることがあるので、注意する必要がある	1	2	3	4	5	5
17. 差別をおおるような書き込みをした人に対し、処罰する法整備が必要だ	1	2	3	4	5	5
18. インターネット上に被差別部落の所在地を載せることは部落差別を助長する深刻な問題行為だ	1	2	3	4	5	5
■性的少数者(性的マイノリティー)に関わる問題						
19. 東京都は、性的少数者(性的マイノリティー)またはLGBTQにとって、暮らしやすい環境だ	1	2	3	4	5	5
20. 性的少数者(性的マイノリティー)またはLGBTQへの配慮がもっと必要だ	1	2	3	4	5	5
21. LGBTQ等といった性の多様性について理解を深め、社会の仕組みづくりを整備していくべきだ	1	2	3	4	5	5
22. LGBTQ等といった性の多様性に対する積極的な教育・啓発が必要である	1	2	3	4	5	5
■その他の人権に関する問題						
23. 災害時や緊急事態宣言時には、一層人権を大切にすることが重要である	1	2	3	4	5	5
24. 犯罪被害者について、報道によってプライバシーが侵害されたり、私生活の平穏が保てなくなるとは問題である	1	2	3	4	5	5
25. 刑を終えて出所した人が、更生した後も、インターネットなどで過去の犯罪歴を隠べられることがあってもやむを得ない	1	2	3	4	5	5

問7

あなたが住宅を選ぶ際の条件について、あなたはどのように思われますか。それぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

	避けると思う	避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらともいえない	どちらかといえば避けないと思う	避けないと思う
1. 近隣に被差別部落がある	1	2	3	4	5	5
2. 近隣に低所得者など生活が困難な人が多く住んでいる	1	2	3	4	5	5
3. 近隣に外国人住民が多く住んでいる	1	2	3	4	5	5
4. 近くに精神病院や障がい者施設がある	1	2	3	4	5	5

人権侵害を受けた経験について

問8

(1) あなたは、ここ5年以内で、差別や人権侵害を受けたことがありますか。あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

1. ある 2. ない →問9へ

問8 (1) で、「1. ある」と答えた方にうかがいます。

(2) それは、どのような場面で、どのような内容でしたか。次の「ア」から「ク」の場面と、「1」から「8」の内容の中で、あてはまるものすべてに○印をつけてください。

【場面】	【内容】
ア. 家庭で	1. あらぬうわさ、悪口で傷つけられた
イ. 地域社会や公共の場で	2. 暴力をふるわれた
ウ. 学校で	3. 強迫・無理強いされた
エ. 職場で	4. 差別待遇を受けた
オ. 行政手続きや行政の対応で	5. 仲間はずし、いじめ、嫌がらせを受けた
カ. 福祉医療サービスで	6. プライバシーを侵害された
キ. インターネット上で	7. ハラスメントを受けた
ク. その他	8. その他
(具体的に:)	(具体的に:)

問8 (1) で、「1. ある」と答えた方にうかがいます。

(3) 差別や人権侵害を受けたときに、どのような対応をされましたか。あてはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. 相手に抗議した	
2. 身近な人に相談した	
3. 所属する会社や学校の相談室などに相談した	
4. 弁護士に相談した	
5. 警察に相談した	
6. 法務局、人権擁護委員に相談した	
7. 県の機関、市役所、役場に相談した	
8. 滋賀県人権センターやNPOなどの民間の相談機関に相談した	
9. 黙ってがまんした	
10. その他 (具体的に:)	

人権教育や啓発の取組に関すること

問9

人権教育に対する考え方について、あなたの考え方に近いものはどれですか。それぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

	そう思う	そう思う くらい	どちらか いはない	どちらとも いえない	どちらか いはない	そう 思わない
1. 地区別懇談会 ※3 や講演会・研修会は、人権問題の正しい理解に役立っている	1	2	3	4	5	5
2. あらゆる人権問題について、今後もっと学びたい	1	2	3	4	5	5
3. 地区別懇談会に積極的に参加したい	1	2	3	4	5	5
4. 駅や量販店での街頭啓発・啓発資料(品)の配布は、人権問題についての関心や理解を深めるために効果的である	1	2	3	4	5	5
5. 学校での人権学習は、差別解消に役立った	1	2	3	4	5	5
6. あらゆる人権問題について、積極的な教育・啓発を行うべきである	1	2	3	4	5	5
7. 家族でもっと人権問題について話し合うべきだ	1	2	3	4	5	5
8. 学校で人権問題について、学習の機会をもっと増やすべきだ	1	2	3	4	5	5
9. 人権に関する講演会や研修会に積極的に参加したい	1	2	3	4	5	5
10. 命の大切さ、人間の尊厳、人間らしい生き方を学ぶのも人権学習である	1	2	3	4	5	5

※3 「地区別懇談会」とは、自治会ごとを実施している人権に関する学習会のことです。(2025年度よりじんけんミーティングに名称変更)

問10

(1) 栗東市では、あらゆる差別をなくしていくために、毎年、さまざまな広報誌を発行しています。あなたは次の広報誌を知っていますか。また読んだことがありますか。それぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

	読んだことがある	知っているが、読んだことはない	知っているが、読んだことはない	読んだことがない
1. みんなの同推協 (広報りっとうにはさみこみ、毎年9月と3月の2回、全戸配布)	1	2	3	3
2. 輝く未来 (資料編) (広報りっとう12月号、全戸配布)	1	2	3	3

(2) 栗東市では、あらゆる差別をなくしていくために、毎年、さまざまな事業を実施しています。あなたは次の事業を知っていますか。また参加したことがありますか。それぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

	知っている	知っているが 参加したことはない	知らない
1. 地区別懇談会	1	2	3
2. じんけんセミナー栗東（栗東芸術文化会館さきらで8月ごろ実施）	1	2	3
3. 人権文化事業（栗東芸術文化会館さきらで12月ごろ実施）	1	2	3
4. 人権を考える市民のつどい （栗東芸術文化会館さきらで3月ごろ実施）	1	2	3
5. 人権啓発リーダー講座（毎年7～8月ごろ実施）	1	2	3
6. 各中学校区人権教育地域ネットワーク協議会、 各小学校区運営委員会の研修会	1	2	3

問11

あなたは、次の人権に関わる法律や条例などについて、ご存じですか。それぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

	知っている	名前はあるが、 内容までは 知らない	知らない
1. 障害者差別解消法 （正式名称：障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律）	1	2	3
2. ハイトスピーチ解消法（正式名称：本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律）	1	2	3
3. 部落差別解消推進法 （正式名称：部落差別の解消の推進に関する法律）	1	2	3
4. LGBT理解増進法（正式名称：性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律）	1	2	3
5. 栗東市人権擁護に関する条例	1	2	3

最後に、あなたご自身のことについておたずねします

A. あなたの年齢は、次のどれに該当しますか。あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

1. 18歳～19歳	2. 20歳～29歳	3. 30歳～39歳	4. 40歳～49歳
5. 50歳～59歳	6. 60歳～69歳	7. 70歳以上	

B. あなたのお住まいの学区はどこですか。あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

1. 金 勝	2. 葉 山	3. 葉山東
4. 治 田	5. 治田東	6. 治田西
7. 大 宝	8. 大宝西	9. 大宝東

C. あなたは、栗東市に生まれて何年になりますか。あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

1. 2年未満	2. 2年以上～5年未満
3. 5年以上～10年未満	4. 10年以上～20年未満
5. 20年以上	

人権問題について日頃からお感じのことや、今まで聞いた話や体験などありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力いただきありがとうございます。ご多用のところ誠に恐縮ですが、
9月30日(火)までにご回答いただきますようよろしくお願いいたします。

栗東市人権問題に関する市民意識調査報告書

令和7年12月

発行：栗東市 市民部 人権擁護課

〒520-3088 栗東市安養寺一丁目13番33号

電話：077-551-0133 FAX：077-552-5544